

鳥取市
後期高齢者の質問票及び健診・医療
データ等の突合分析結果報告書

令和6年3月

鳥取県国民健康保険団体連合会
(健康・医療データ分析センター)

I はじめに	3
II - A) 集計結果（体と心の健康状態）	7
II - B) 集計結果（食習慣・口腔機能）	14
II - C) 集計結果（運動・転倒）	19
II - D) 集計結果（認知機能）	23
II - E) 集計結果（喫煙）	28
II - F) 集計結果（社会参加等）	29
II - G) 集計結果（幸福度）	34
II - H) 集計結果（その他）	38
III) 圏域別集計結果	41
IV) 地区別マップ	53
V) 総評	55

I はじめに

1 目的

後期高齢者を対象に鳥取市が令和4年度に実施した介護予防アンケートにKDBシステムのデータ（健診結果や医療受診状況）を突合したうえで、市全体や圏域ごとに分析を行うことで、優先的に介入すべき介護予防に関する圏域の選定の根拠とする。

2 アンケート実施方法

【対象者】

鳥取市内在住の75歳以上の方（令和4年9月1日時点）で、要介護認定を受けていない方（20,099人）

【配布・回収】

アンケート用紙を郵送にて配布し、返信用封筒で郵送してもらう。

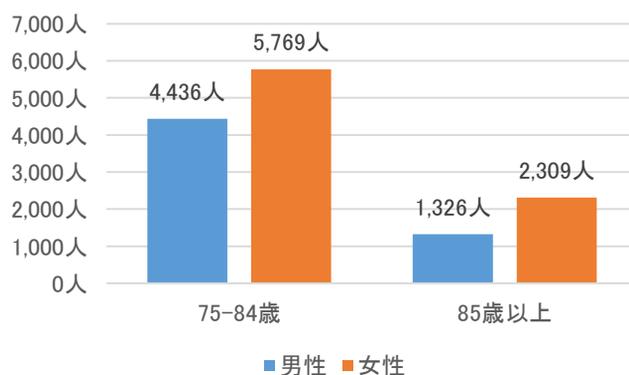
【アンケート期間】

令和4年11月30日から令和4年12月16日

3 アンケート回答状況

13,849人（うち、男性5,762人、女性8,078人、未回答9人）

回答率 69.2%



4 共通事項

【未回答の取り扱い】

原則、未回答は除いて集計する。

未回答には、読み取り不可の場合も含む。

5 アンケート質問ごとの回答状況

1. あなたの現在の健康状態はいかがですか

回答： 13,673 未回答・不明： 176 回答率： 98.73%

2. 毎日の生活に満足していますか

回答： 13,620 未回答・不明： 229 回答率： 98.35%

3. 1日3食きちんと食べていますか

回答： 13,556 未回答・不明： 293 回答率： 97.88%

4. 半年前に比べて固いもの（さきいか、たくあんなど）が食べにくくなりましたか

回答： 13,684 未回答・不明： 165 回答率： 98.81%

5. お茶や汁物等でむせることがありますか

回答： 13,655 未回答・不明： 194 回答率： 98.60%

6. 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

回答： 13,553 未回答・不明： 296 回答率： 97.86%

7. 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか

回答： 13,613 未回答・不明： 236 回答率： 98.30%

8. この1年間に転んだことがありますか

回答： 13,582 未回答・不明： 267 回答率： 98.07%

9. ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか

回答： 13,553 未回答・不明： 296 回答率： 97.86%

10. 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとされていますか

回答： 13,636 未回答・不明： 213 回答率： 98.46%

11. 今日が何月何日かわからない時がありますか

回答： 13,619 未回答・不明： 230 回答率： 98.34%

12. あなたはたばこを吸いますか

回答： 13,694 未回答・不明： 155 回答率： 98.88%

13. 週に1回以上は外出していますか

回答： 13,638 未回答・不明： 211 回答率： 98.48%

14. ふだんから家族や友人と付き合いがありますか

回答： 13,622 未回答・不明： 227 回答率： 98.36%

15. 体調が悪い時に、身近に相談できる人がいますか

回答： 13,463 未回答・不明： 386 回答率： 97.21%

16. 身長と体重を教えてください。（おおよそで構いませんので、数字をご記入ください）

【身長】 回答： 13,484 未回答・不明： 365 回答率： 97.36%

【体重】 回答： 13,503 未回答・不明： 346 回答率： 97.50%

※身長・体重の「未回答・不明」には、「XXX～XXX」のような記載を含む。（集計不可のため）

I はじめに

17. 次の食べ物をどのくらいの頻度で食べていますか。該当する回答1つに○をしてください。

(1) 炭水化物(米、パン、イモ類)

回答： 13,721 未回答・不明： 128 回答率： 99.08%

(2) たんぱく質(肉類、魚介類、卵、牛乳、乳製品、大豆製品)

回答： 13,705 未回答・不明： 144 回答率： 98.96%

(3) 野菜・果物

回答： 13,698 未回答・不明： 151 回答率： 98.91%

18. 現在、あなたは年に1回程度、健診を受診していますか。どちらか1つに○をしてください。

回答： 13,310 未回答・不明： 539 回答率： 96.11%

19. あなたは現在、次のような病気や病気の後遺症をお持ちですか。

該当するものすべてに○をしてください。

回答： 13,415 未回答・不明： 434 回答率： 96.87%

20. 現在、あなたはどれくらいの頻度で外出していますか。

(買い物、趣味の活動、病院受診、畑仕事など) 該当する回答1つに○をしてください。

回答： 12,862 未回答・不明： 987 回答率： 92.87%

21. 次のような集まりに、どのくらいの頻度で参加していますか。

それぞれの集まりで、該当する回答1つに○をしてください。

(1) 介護予防・認知症予防・健康づくりを目的とした集まり(体操、軽い運動、脳トレ等)

この1年間 回答： 12,208 未回答・不明： 1,641 回答率： 88.15%

コロナ前の1年間 回答： 11,009 未回答・不明： 2,840 回答率： 79.49%

(2) スポーツをするための集まり(上記(1)以外)

この1年間 回答： 11,987 未回答・不明： 1,862 回答率： 86.55%

コロナ前の1年間 回答： 10,899 未回答・不明： 2,950 回答率： 78.70%

(3) 趣味活動や学習・教養のための集まり

この1年間 回答： 12,150 未回答・不明： 1,699 回答率： 87.73%

コロナ前の1年間 回答： 11,053 未回答・不明： 2,796 回答率： 79.81%

(4) ボランティアや地域・社会貢献活動のための集まり(町内会での活動も含む)

この1年間 回答： 12,105 未回答・不明： 1,744 回答率： 87.41%

コロナ前の1年間 回答： 11,068 未回答・不明： 2,781 回答率： 79.92%

(5) (1)～(4)以外の住民同士の交流を主目的とした集まり(サロン、コミュニティカフェ等)

この1年間 回答： 11,954 未回答・不明： 1,895 回答率： 86.32%

コロナ前の1年間 回答： 11,215 未回答・不明： 2,634 回答率： 80.98%

22. 経済状況について、それぞれの質問で、該当する回答1つに○をしてください。

(1) 現在、あなたはどれくらいの頻度で収入のある仕事をしていますか

回答： 13,300 未回答・不明： 549 回答率： 96.04%

(2) 現在の暮らしの状況を、経済的にみてどう感じていますか

回答： 13,416 未回答・不明： 433 回答率： 96.87%

I はじめに

23. 以下の質問について、該当する回答1つに○をしてください。

(1) あなたは、近所の人とどの程度のつきあいがありますか

回答： 13,450 未回答・不明： 399 回答率： 97.12%

(2) 自分は他の人達から取り残されていると感じることはありますか

回答： 13,255 未回答・不明： 594 回答率： 95.71%

24. 現在、どの程度幸せですか。「とても不幸せ」を0点、「とても幸せ」を10点として、あてはまる点数1つに○をしてください。

回答： 13,313 未回答・不明： 536 回答率： 96.13%

25. インターネットに関連することについて、それぞれの質問で、該当する回答1つに○をしてください

(1) あなたはスマートフォンやパソコンを使用して、インターネットやSNSを利用していますか

回答： 13,596 未回答・不明： 253 回答率： 98.17%

(2) 同居家族で、スマートフォンやパソコンを使用している方はいますか

回答： 12,868 未回答・不明： 981 回答率： 92.92%

※選択肢にある「3. 不明」は、回答有りとして計上。

26. ご家族について、それぞれの質問で、該当する回答1つに○をしてください。

(1) あなたは現在、一緒に住んでいる（敷地内に住んでいる）方はいますか

回答： 13,637 未回答・不明： 212 回答率： 98.47%

(2) 現在、配偶者はいますか（内縁関係、事実婚含む）

回答： 13,500 未回答・不明： 349 回答率： 97.48%

27. 認知症について、それぞれの質問で、該当する回答1つに○をしてください。

(1) 自分が認知症でないかと不安に思うことがありますか

回答： 13,539 未回答・不明： 310 回答率： 97.76%

(2) 認知症について相談できる人がいますか

回答： 12,668 未回答・不明： 1,181 回答率： 91.47%

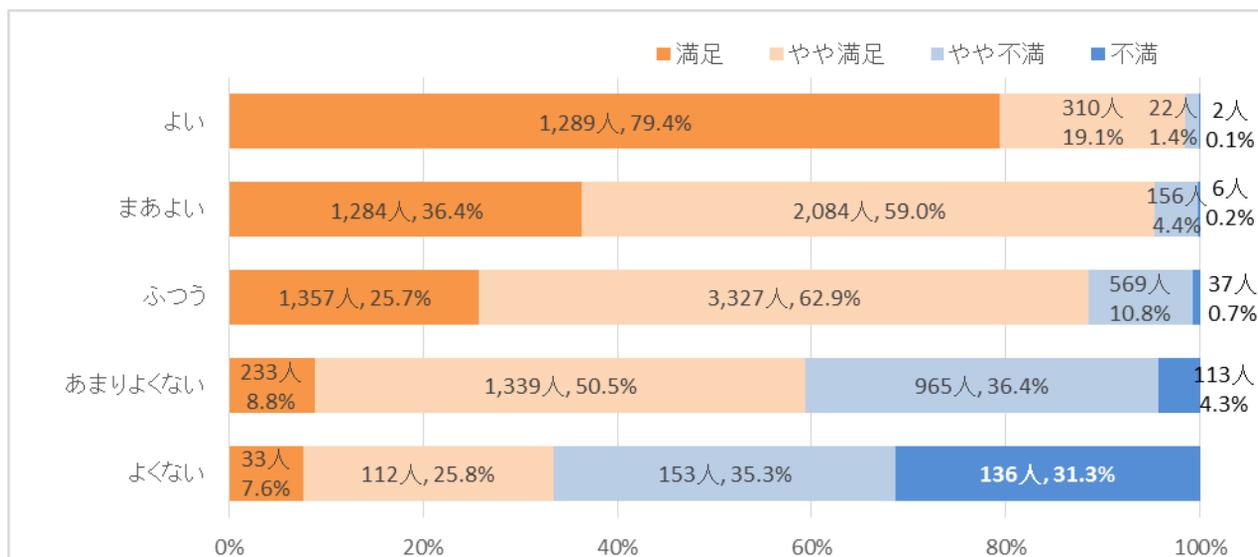
※「未回答・不明」は、記載がなかったものや不明瞭でデータ化できなかったものを集計。

Ⅱ-A) 集計結果（体と心の健康状態）

1. 「1. あなたの現在の健康状態はいかがですか」を回答した人の「2. 毎日の生活に満足していますか」の回答状況

健康状態が「よい」「まあよい」と回答した人の大半が毎日の生活に「満足」「やや満足」と回答しているが、「やや不満」「不満」と回答している人も存在する。

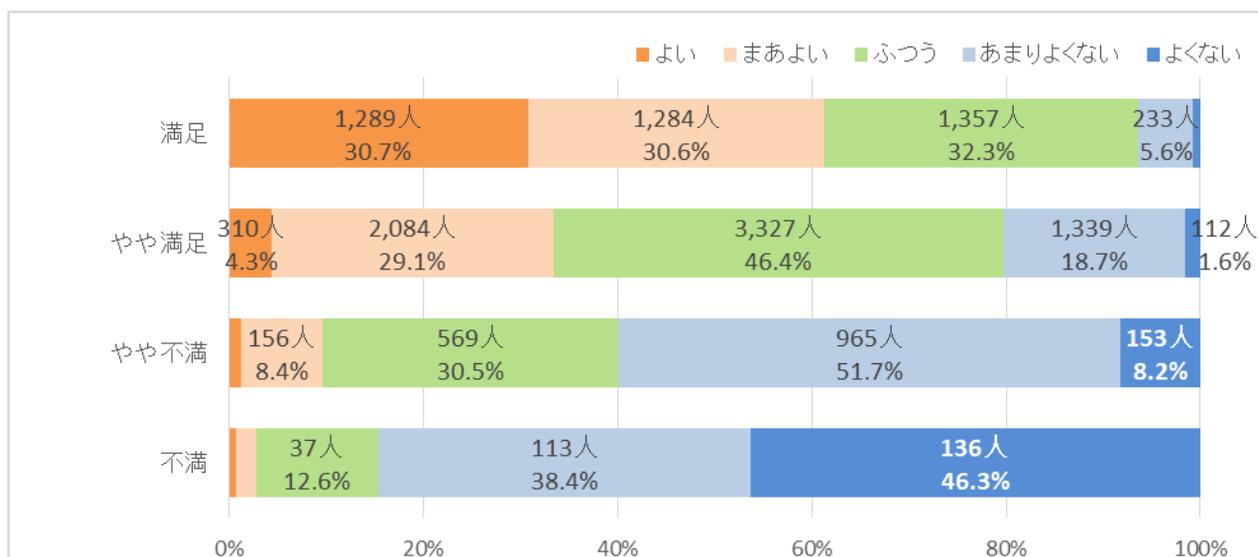
また、健康状態が「よくない」と回答した人の3割が、毎日の生活に「満足」または「やや満足」と回答している。



2. 「2. 毎日の生活に満足していますか」を回答した人の「1. あなたの現在の健康状態はいかがですか」の回答状況

生活に満足している人の95%は健康状態が悪くないと回答している。生活の満足度が下がるほど、健康状態が悪い人の割合が高くなっていく。

生活に不満を抱えている人のうち約15%は、健康状態以外の問題を抱えていると思われる。

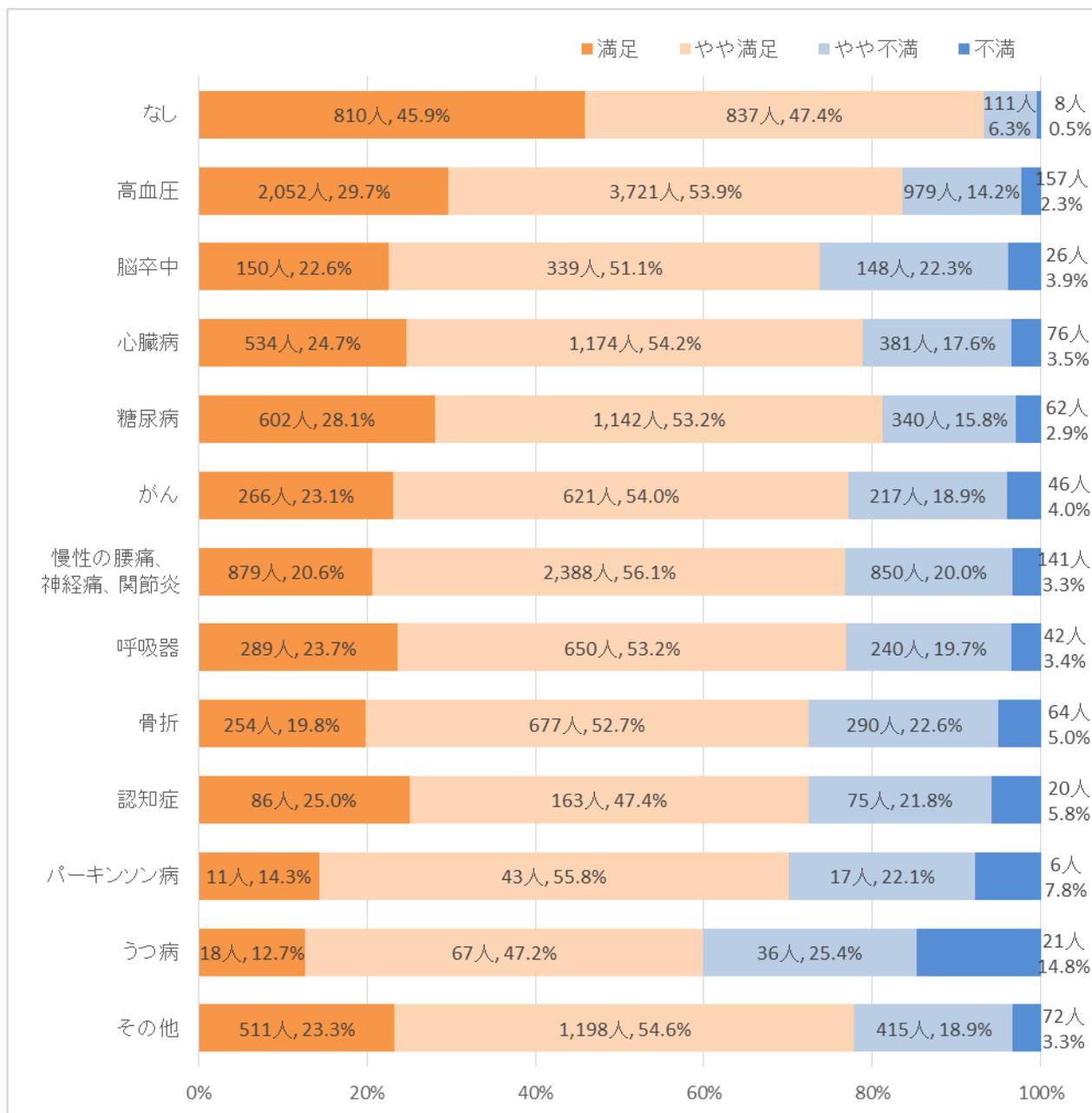


Ⅱ-A) 集計結果（体と心の健康状態）

3. 「19. あなたは現在、次のような病気や病気の後遺症をお持ちですか。」を回答した人の「2. 毎日の生活に満足していますか」の回答状況

病気や後遺症がないと回答した人は、毎日の生活に満足、やや満足と回答している人が多く、90%を超えている。

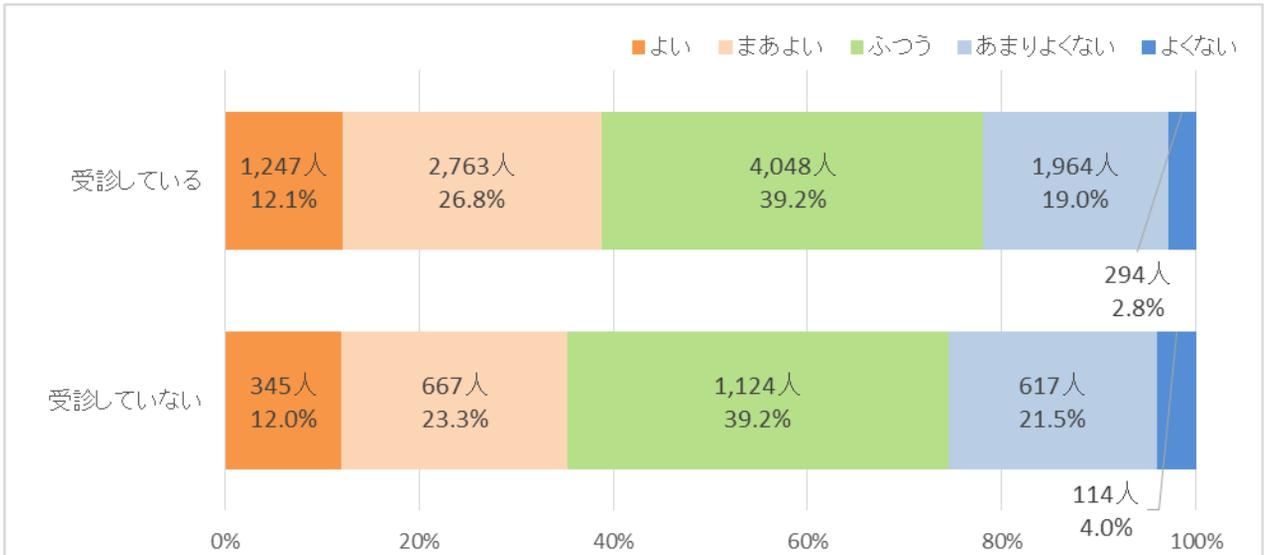
一方、病気や後遺症を持っていると回答している人も、70%以上が満足、やや満足と回答しているものが多い中で、うつ病は満足、やや満足と回答している人が60%を下回っている。



Ⅱ-A) 集計結果（体と心の健康状態）

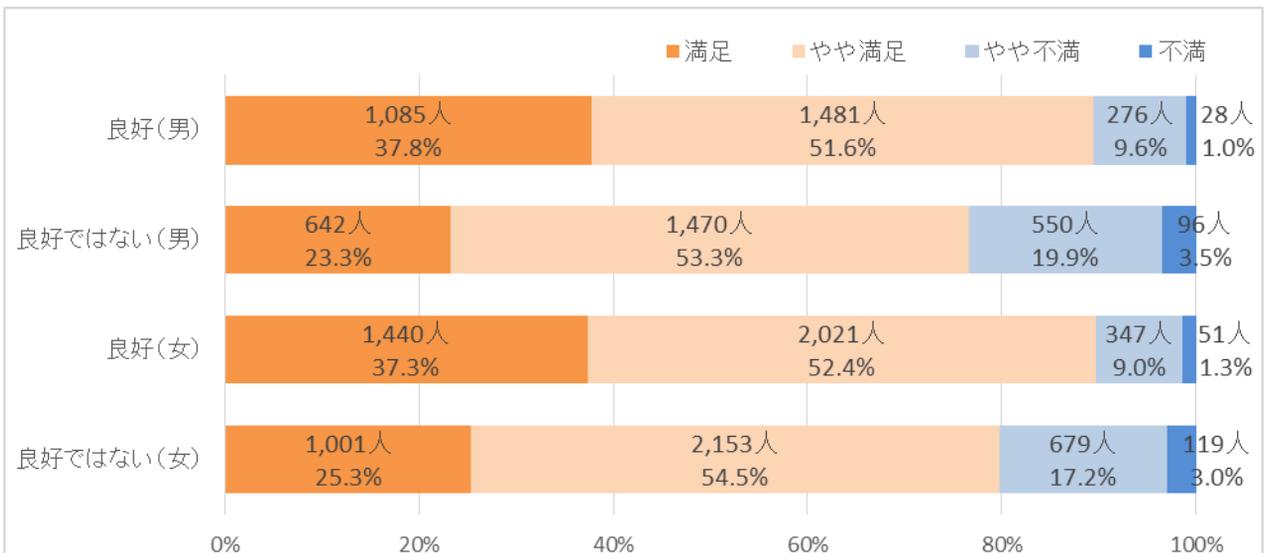
4. 「18. 現在、あなたは年に1回程度、健診を受診していますか。」を回答した人の「1. あなたの現在の健康状態はいかがですか」の回答状況

健診の受診の有無による健康状態の大きな差は出なかった。
健康状態がよく、医療機関を定期受診する必要がないからこそ、年に1度健診を受診する人もいれば、健康状態がよいため健診を不要と考える人もいることが考えられる。



5. 口腔機能が良好な人（「4. 半年前に比べて固いもの（さきいか、たくあんなど）が食べにくくなりましたか」「5. お茶や汁物等でむせることがありますか」の両方に「いいえ」と回答した）の「2. 毎日の生活に満足していますか」の回答状況

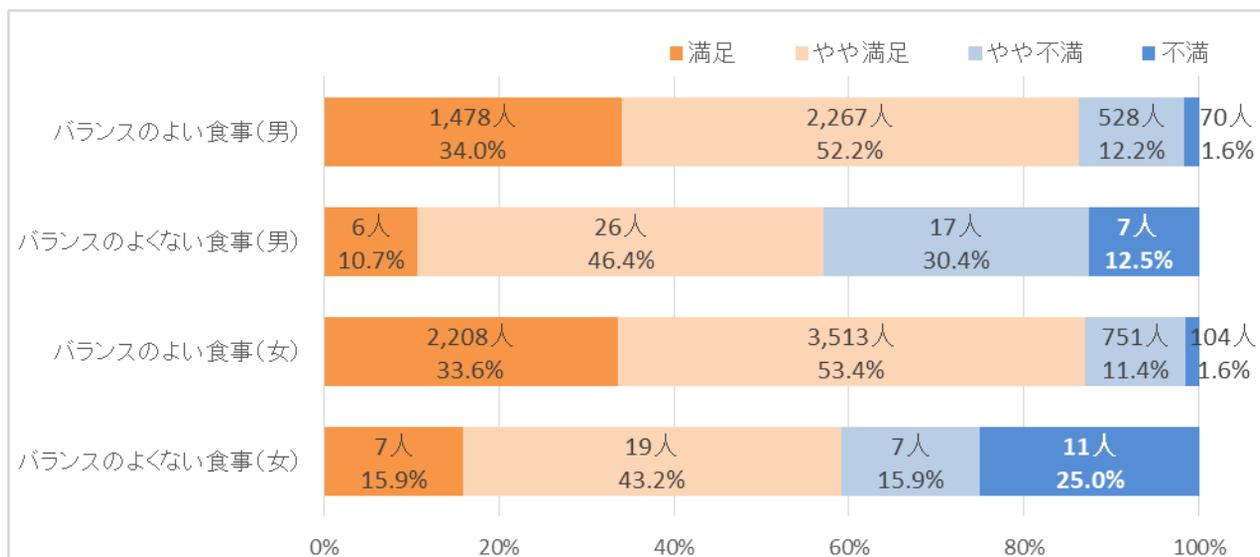
口腔機能が良好な人は、良好ではない人よりも生活に満足している人の割合（やや満足を含む）が、男女ともに10ポイント以上高い。



Ⅱ-A) 集計結果（体と心の健康状態）

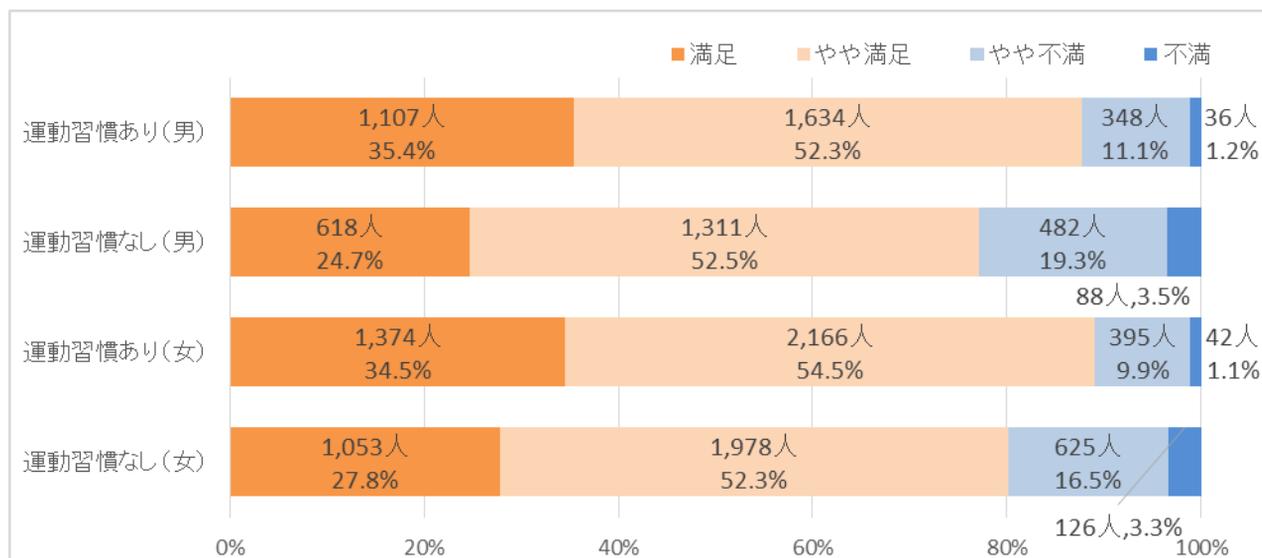
6. バランスのよい食事（炭水化物、タンパク質、野菜・果物をそれぞれほぼ毎日食べている）人の「2. 毎日の生活に満足していますか」の回答状況

バランスのよい食事を意識している人は、生活に満足している人の割合（やや満足を含む）が、男女ともに約30ポイント高い。



7. 運動習慣がある人（「9. ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか」）の「2. 毎日の生活に満足していますか」の回答状況

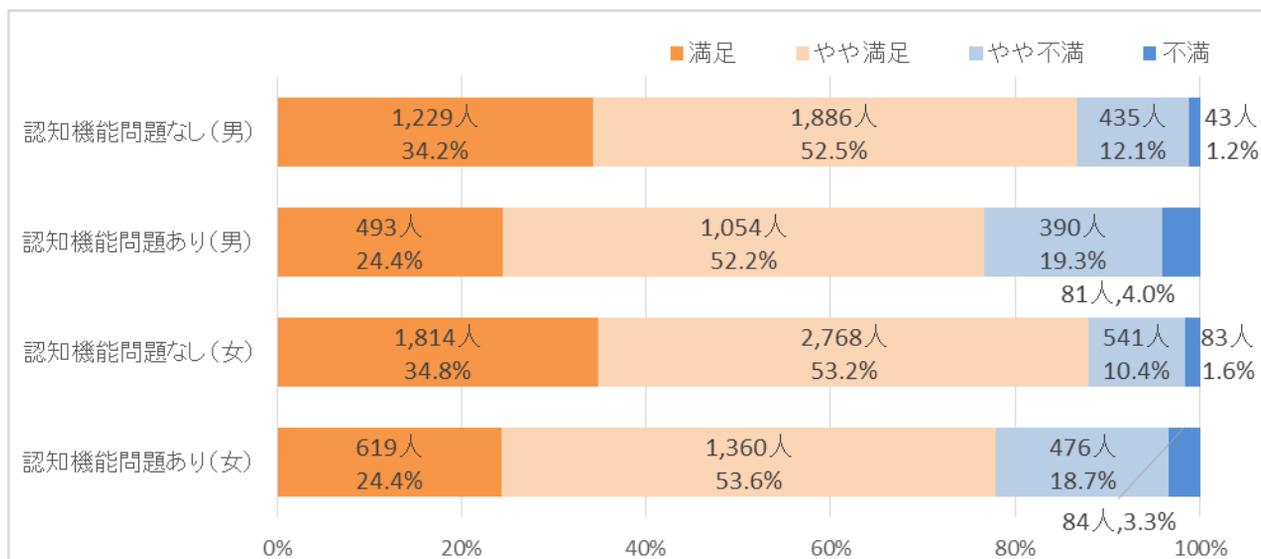
運動習慣がある人は、生活に満足している人の割合（やや満足を含む）が、男女ともに約10ポイント高い。



Ⅱ-A) 集計結果（体と心の健康状態）

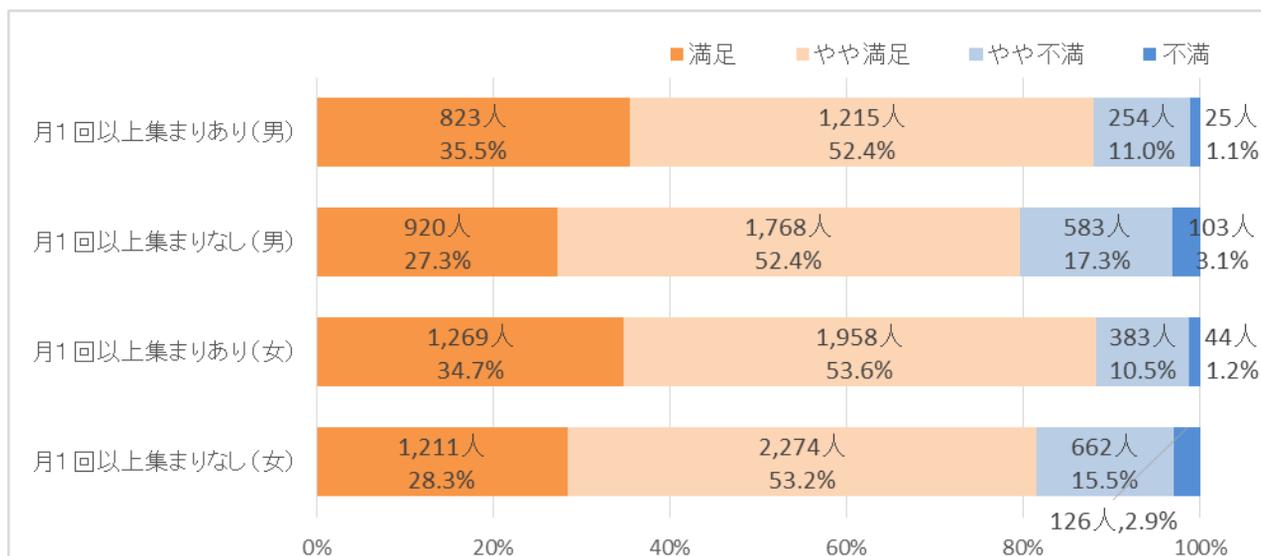
8. 認知機能（「10. 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあると言われていま すか」「11. 今日が何月何日か分からない時がありますか」の両方に「いいえ」と回答した人 を問題なしとする）を回答した人の、「2. 毎日の生活に満足していますか」の回答状況

認知機能が問題ないと感じている人は、生活に満足している人の割合（やや満足を含む）が、男女ともに10ポイント高い。



9. 月1回以上集まりに参加している人と参加していない人の「2. 毎日の生活に満足していますか」の回答状況

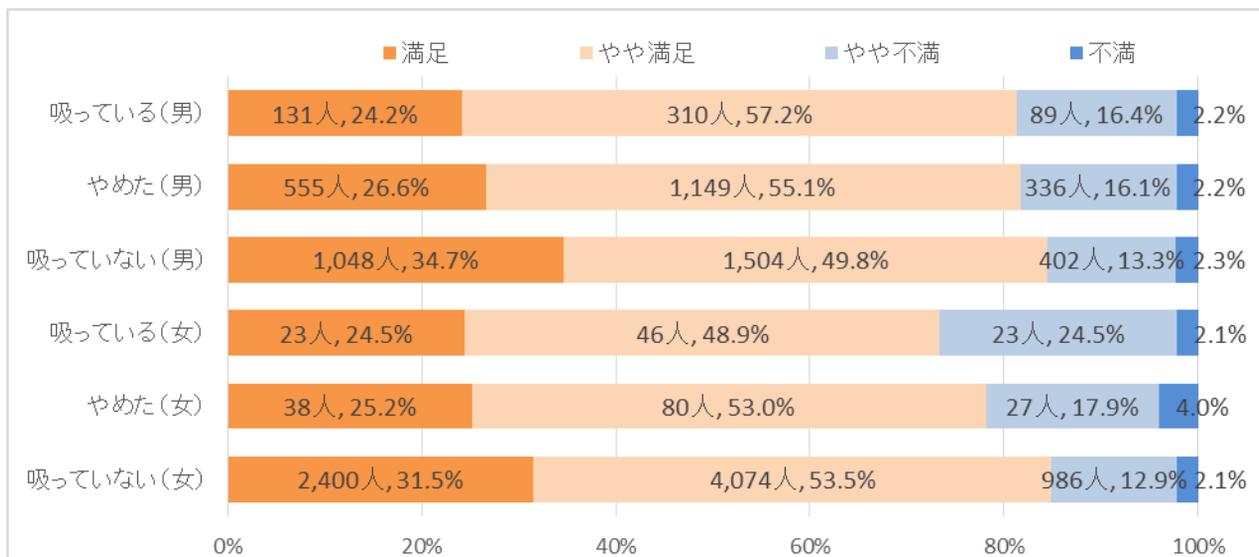
月1回以上集まりに参加する人は、生活に満足している人の割合（やや満足を含む）が、男女ともに5ポイント以上高い。



Ⅱ-A) 集計結果（体と心の健康状態）

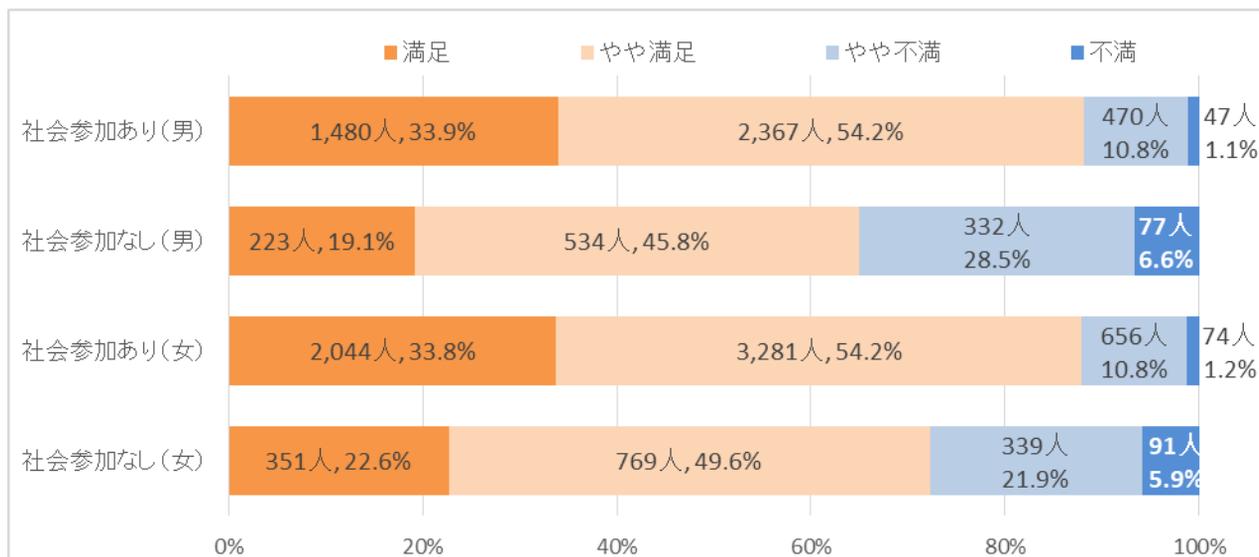
10. 「12. あなたはたばこを吸いますか」の回答した人の「2. 毎日の生活に満足していますか」の回答状況

生活に満足している人の割合（やや満足を含む）は、たばこを吸っていない人が最も高く、やめた、吸っていると回答した人が続く。



11. 社会参加等の設問（13～15すべてに「はい」と回答した人を「社会参加あり」と考える）に回答した人の「2. 毎日の生活に満足していますか」の回答状況

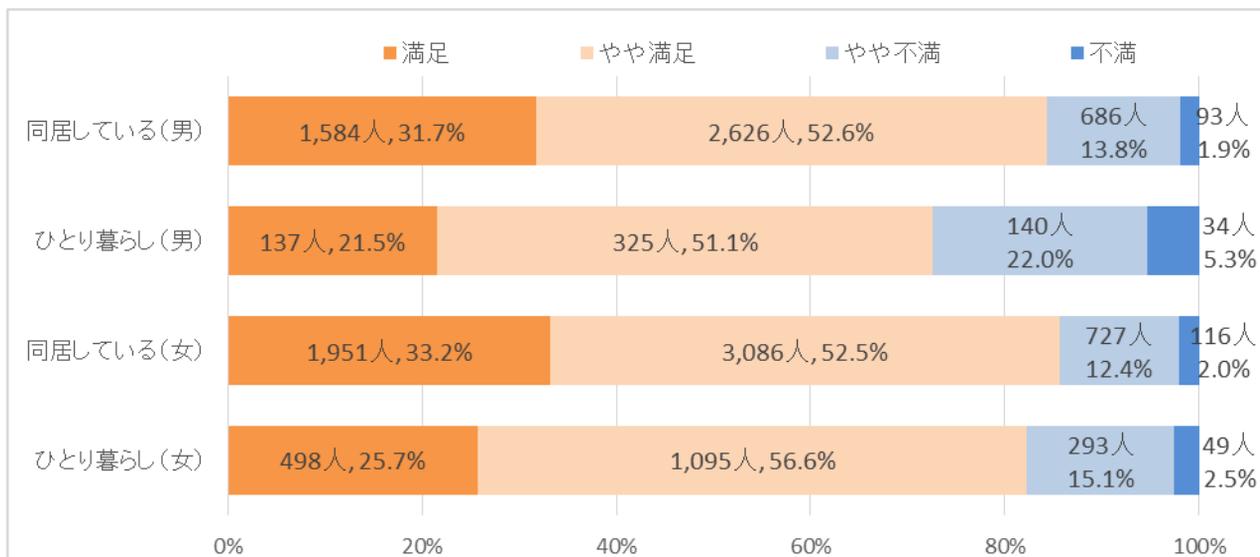
社会参加する人は、生活に満足している人の割合（やや満足を含む）が、男性は20ポイント以上、女性は15ポイント以上高い。



Ⅱ－A) 集計結果（体と心の健康状態）

12. 「26（1）あなたは現在、一緒に住んでいる（敷地内に住んでいる）方はいますか」に回答した人の「2. 毎日の生活に満足していますか」の回答状況

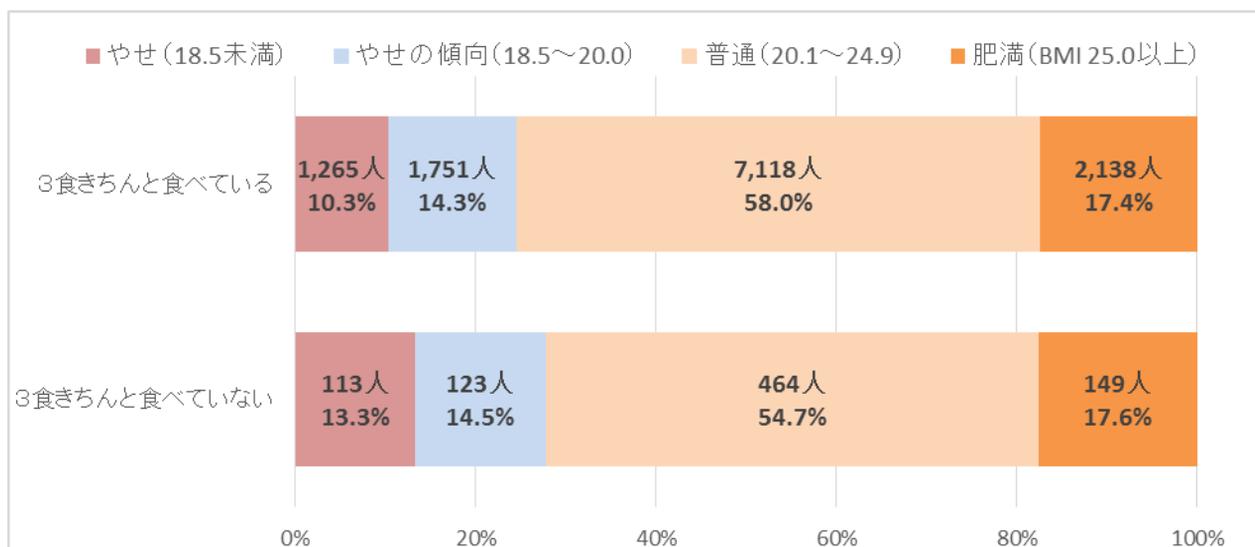
同居している人はひとり暮らしの人と比較すると、生活に満足している人の割合（やや満足を含む）が、男性は12ポイントと高いが、女性は3ポイントと男性に比べると差がほとんどない。



Ⅱ-B) 集計結果（食習慣・口腔機能）

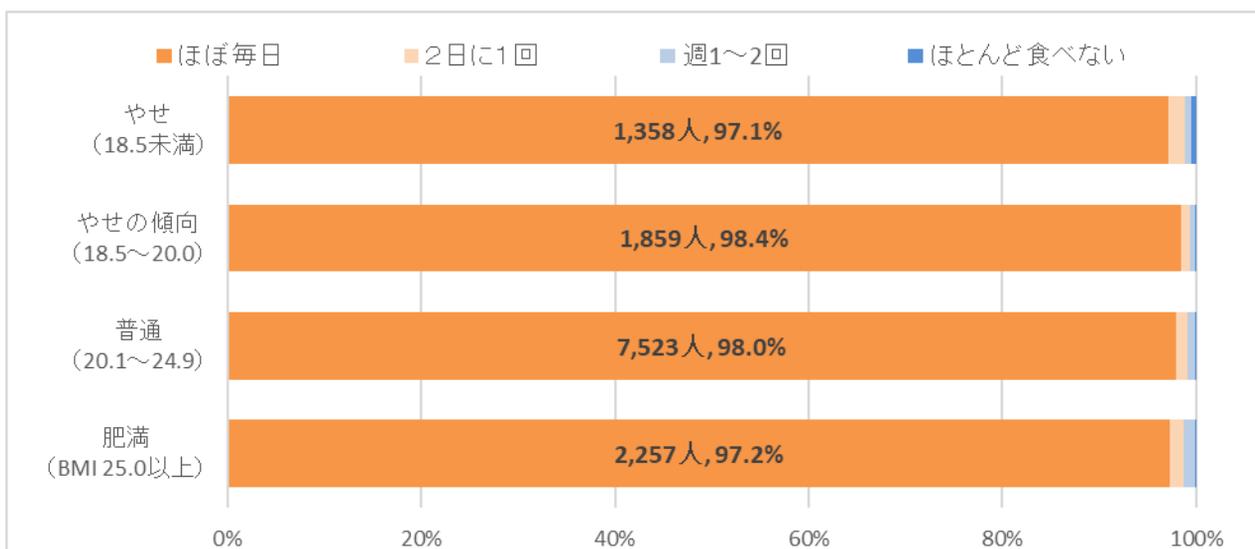
1. 「3. 1日3食きちんと食べていますか」を回答した人のBMI（アンケート）の状況

やせ（BMIが18.5未満）の人の割合が、3食きちんと食べている人のほうが少ない。
なお、3食きちんと食べている人とそうではない人の肥満の割合は差がない。



2. BMI（アンケート）の状況と炭水化物を食べる頻度

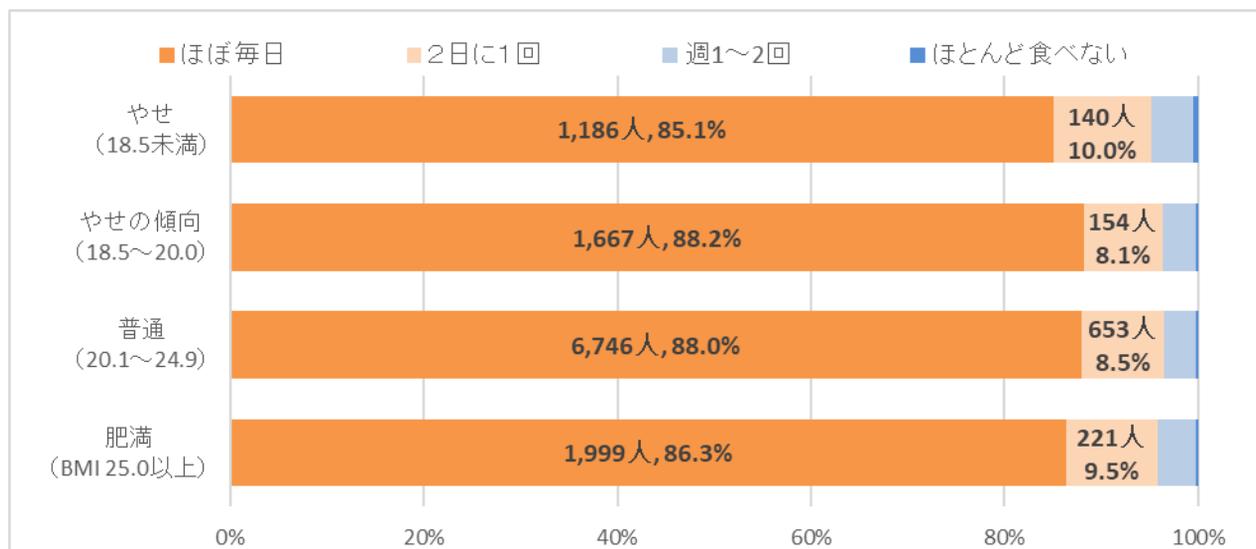
BMIの状況における炭水化物を食べる頻度に大きな差は見られない。



Ⅱ-B) 集計結果（食習慣・口腔機能）

3. BMI（アンケート）とタンパク質を食べる頻度

BMIの状況におけるタンパク質を食べる頻度に大きな差は見られない。



4. BMI（アンケート）と野菜・果物を食べる頻度

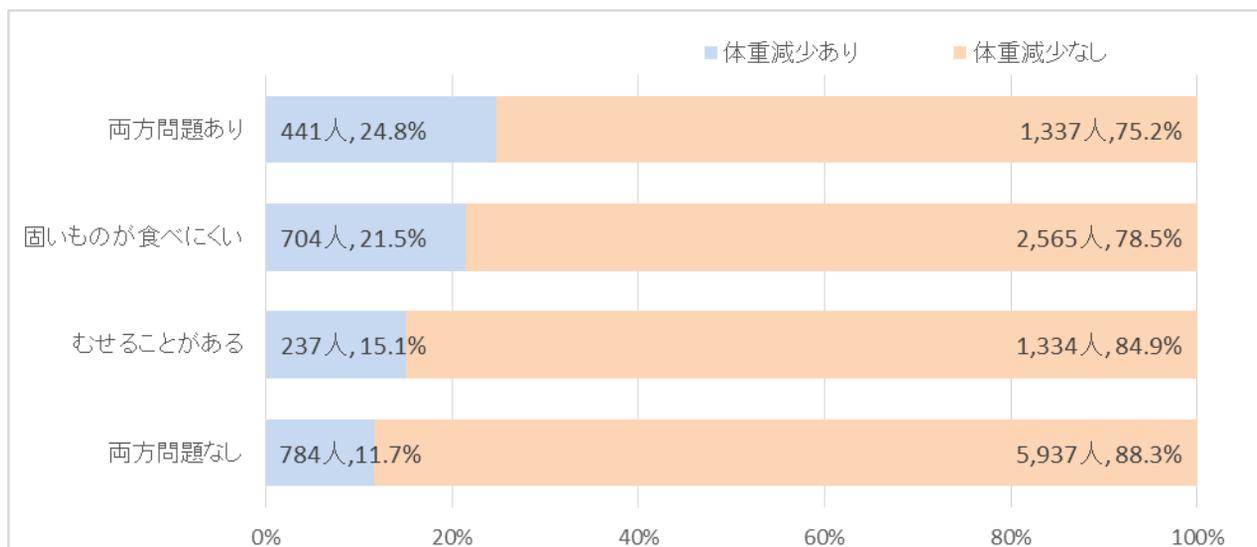
BMIの状況における野菜・果物を食べる頻度に大きな差は見られない。



Ⅱ-B) 集計結果（食習慣・口腔機能）

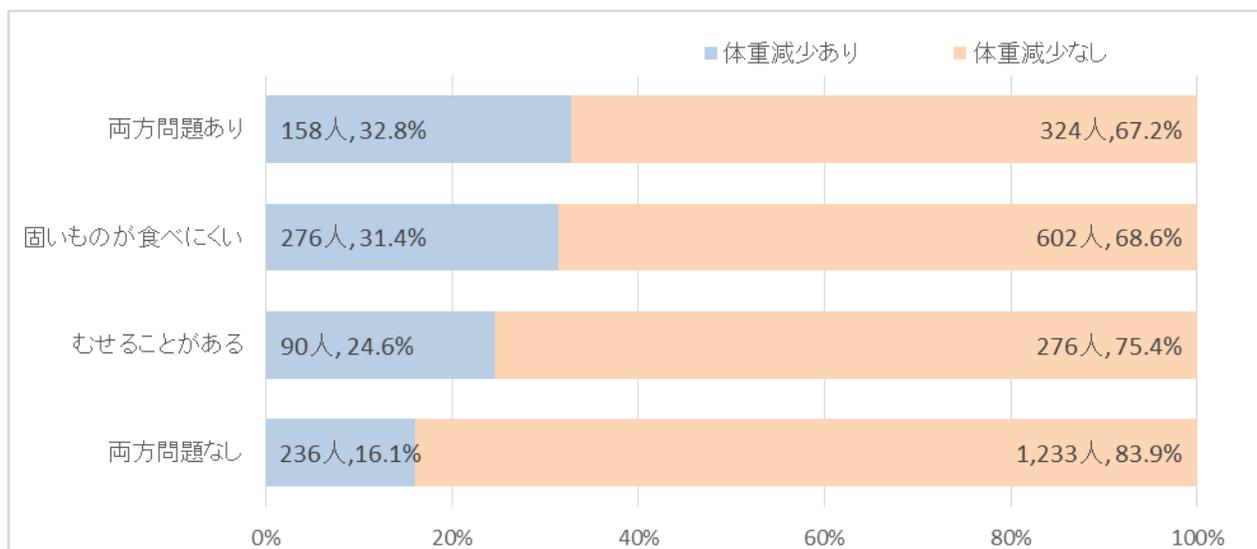
5. 「4. 半年前に比べて固いもの（さきいか、たくあんなど）が食べにくくなりましたか」および「5. お茶や汁物等でむせることがありますか」を回答した人の「7. 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか」の回答状況

口腔機能に問題を抱えていない人よりも、咀嚼機能・嚥下機能の両方の問題を抱えている人のほうが、体重減少（6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少）する人の割合が2倍多い。特に嚥下機能よりも咀嚼機能に問題を抱えるほうが体重減少につながると考えられる。



6. やせの傾向（BMI20以下）が見られる人における、口腔機能と体重減少の関係性

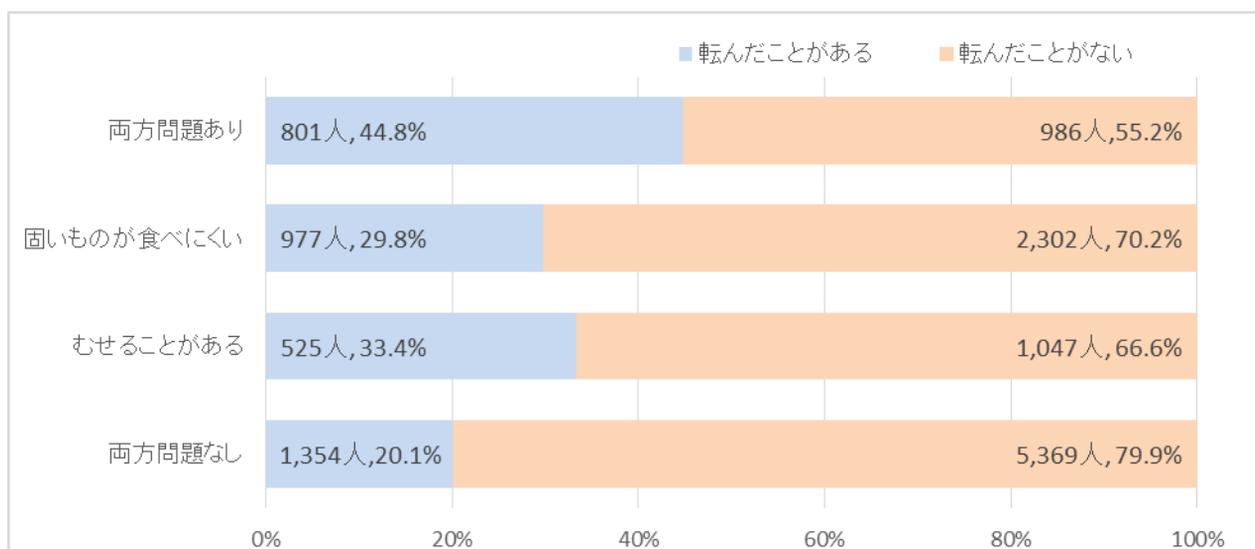
口腔機能に問題を抱えていない人よりも、咀嚼機能・嚥下機能の両方の問題を抱えている人のほうが、体重減少（6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少）する人の割合が2倍多い。特に上図と比較して、やせの傾向にある人のほうが体重減少する人の割合が高い。



Ⅱ-B) 集計結果（食習慣・口腔機能）

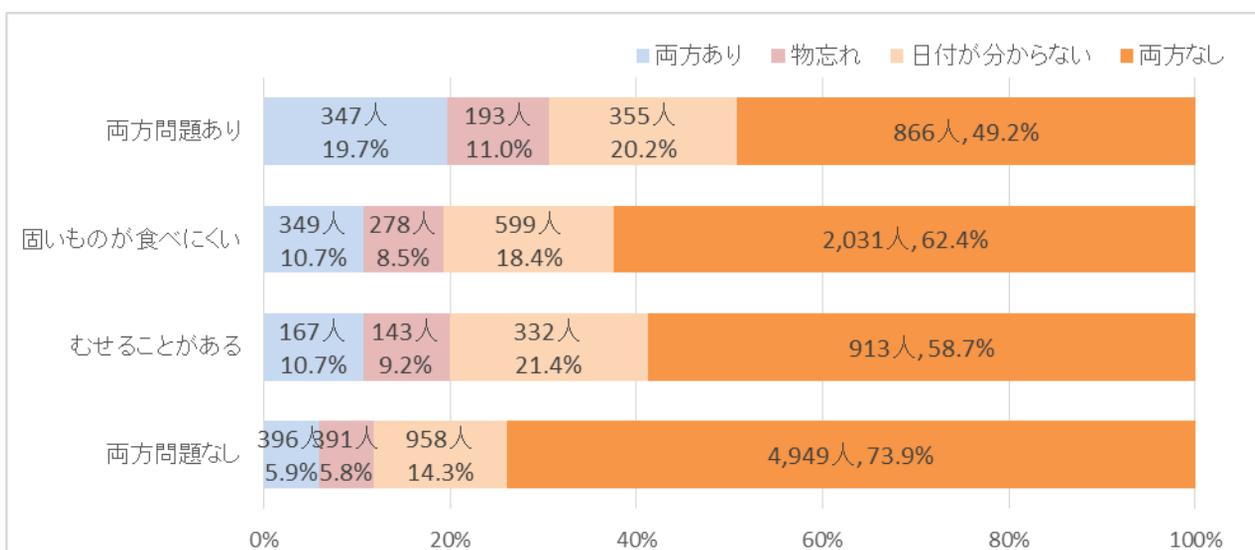
7. 「4. 半年前に比べて固いもの（さきいか、たくあんなど）が食べにくくなりましたか」および「5. お茶や汁物等でむせることがありますか」を回答した人の「8. この1年間に転んだことがありますか」の回答状況

口腔機能に問題を抱えていない人よりも、咀嚼機能・嚥下機能の両方の問題を抱えている人のほうが、転んだことがある人の割合が2倍多い。
特に咀嚼機能よりも嚥下機能に問題を抱えるほうが、やや転倒しやすいと思われる。



8. 「4. 半年前に比べて固いもの（さきいか、たくあんなど）が食べにくくなりましたか」および「5. お茶や汁物等でむせることがありますか」を回答した人の認知機能の回答状況

口腔機能に問題を抱えていない人よりも、咀嚼機能・嚥下機能の両方の問題を抱えている人のほうが、認知機能に問題を抱えている人（設問両方ともに問題があると回答した人）の割合が約3倍高い。

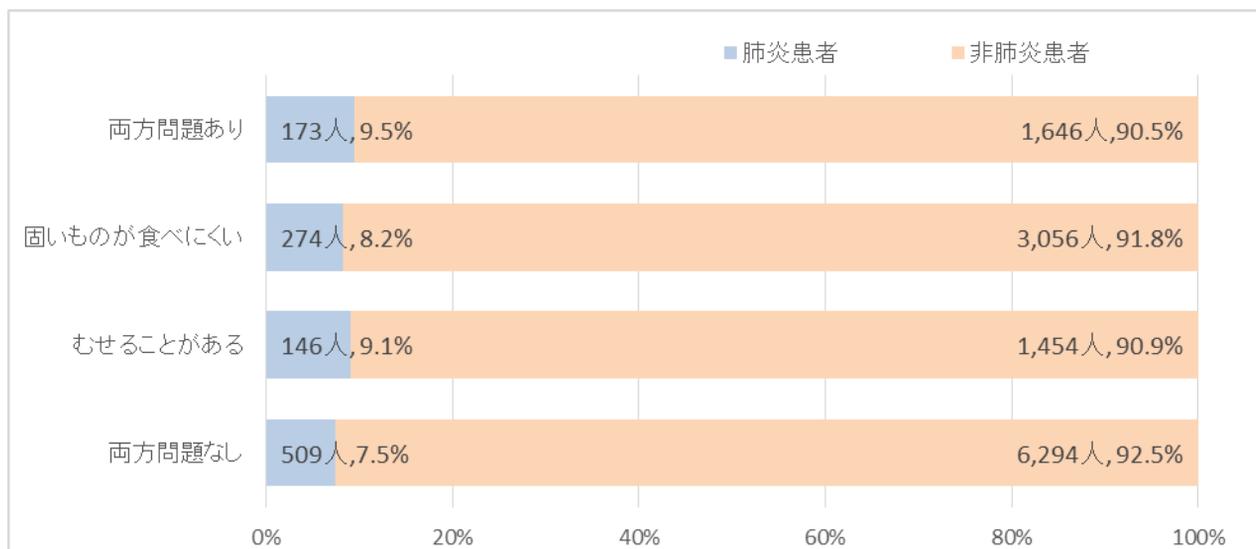


※ 口腔機能は「4. 半年前に比べて固いもの（さきいか、たくあんなど）が食べにくくなりましたか」「5. お茶や汁物等でむせることがありますか」の回答状況から確認している。

Ⅱ-B) 集計結果（食習慣・口腔機能）

9. 口腔機能（「4. 半年前に比べて固いもの（さきいか、たくあんなど）が食べにくくなりましたか」「5. お茶や汁物等でむせることがありますか」）に回答した人の肺炎患者（KDBシステム・肺炎レセプトが令和4年度に存在する者）の割合

両方問題なしと回答した人（口腔機能の状況が良好な人）は肺炎患者割合が最も低いものの、両方問題ありと回答した人との割合の差はわずか2ポイントであり、大きな差は見られない。

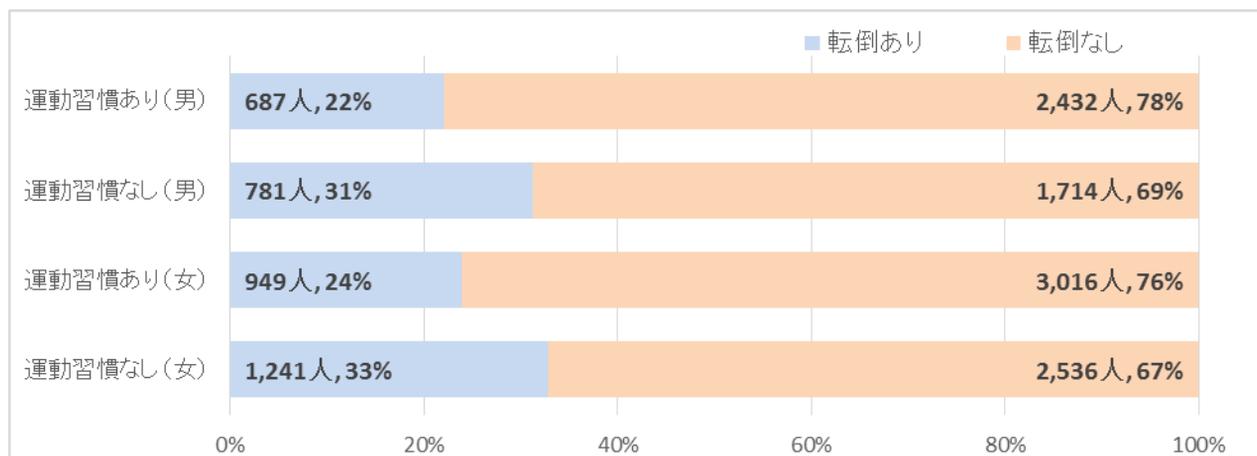
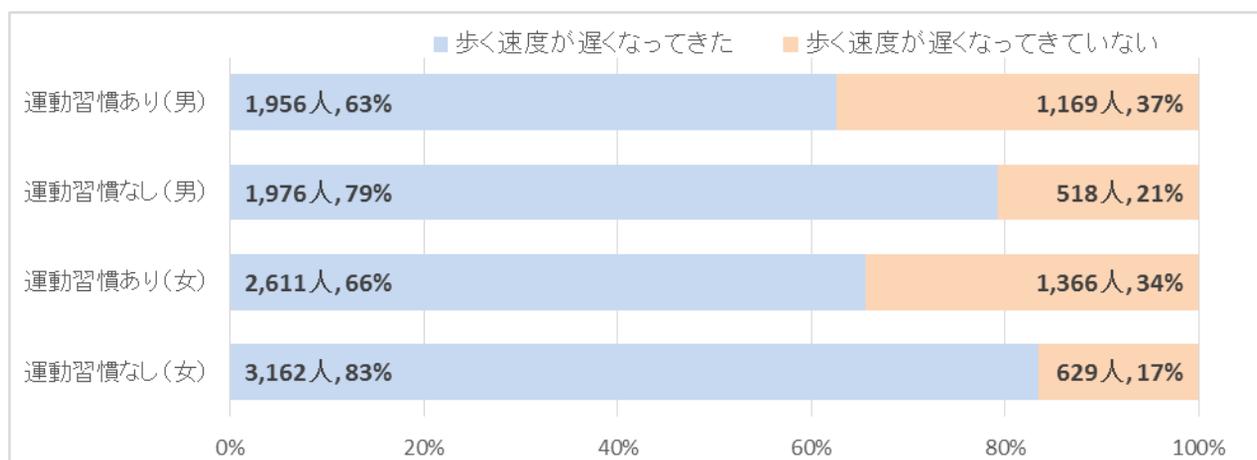
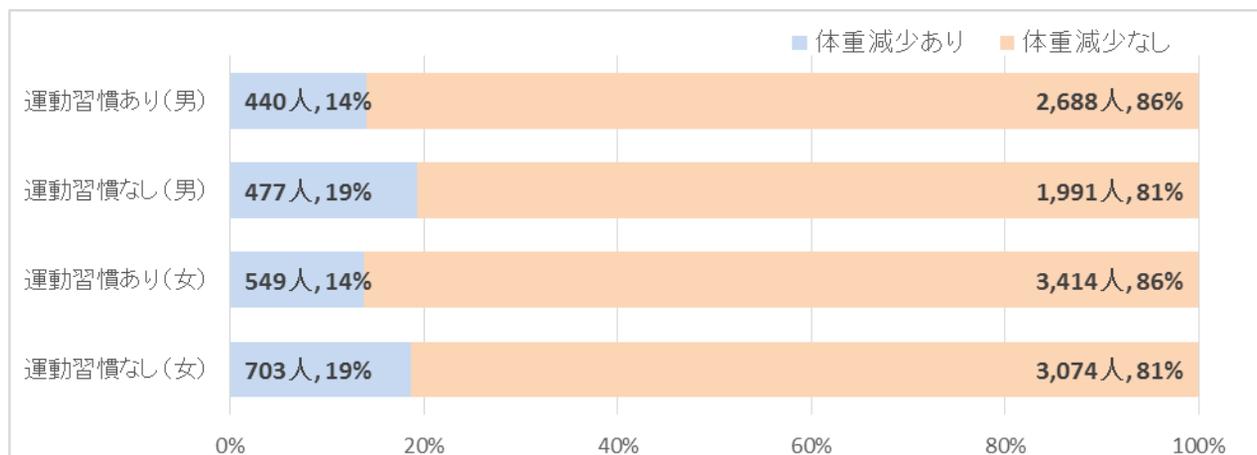


Ⅱ一C) 集計結果 (運動・転倒)

1. 運動習慣がある人(「9. ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか」)の体重減少、歩く速度が遅くなってきたこと、1年間に転んだことの回答状況

運動習慣なしと回答した人は運動習慣ありと回答した人よりも、体重減少した人の割合が5ポイント高い。転倒したことがある人は9ポイント、歩く速度が遅くなってきたと回答した人が15ポイント以上高い。

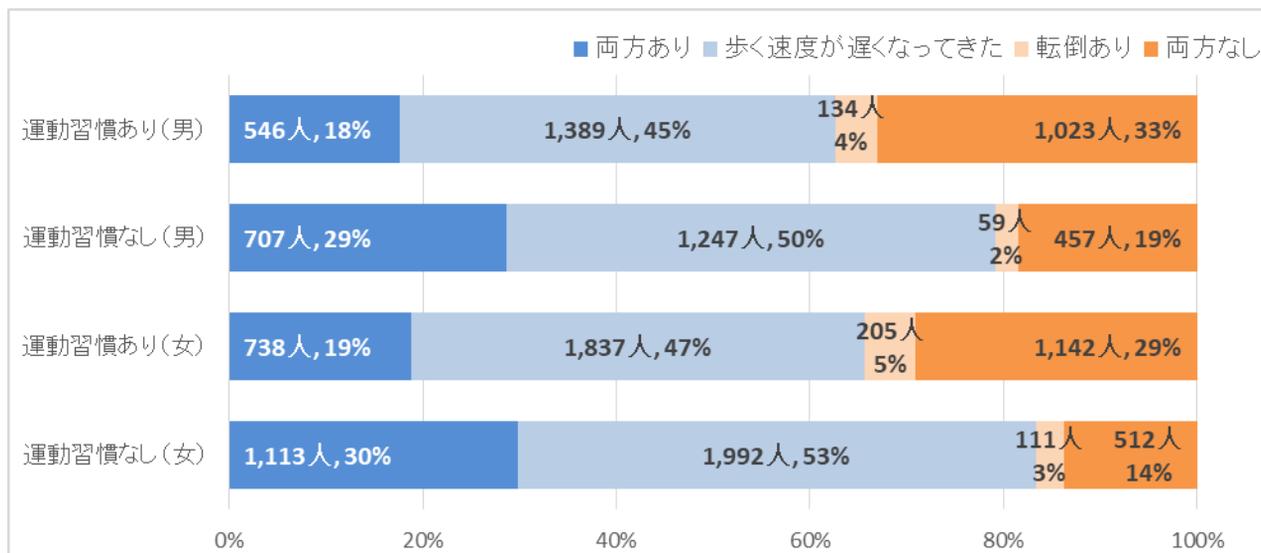
各設問に対する回答に、大きな男女差は見られない。



Ⅱ一C) 集計結果 (運動・転倒)

2. 運動習慣がある人(「9. ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか」)の歩く速度が遅くなってきたこと、1年間に転んだことの回答状況

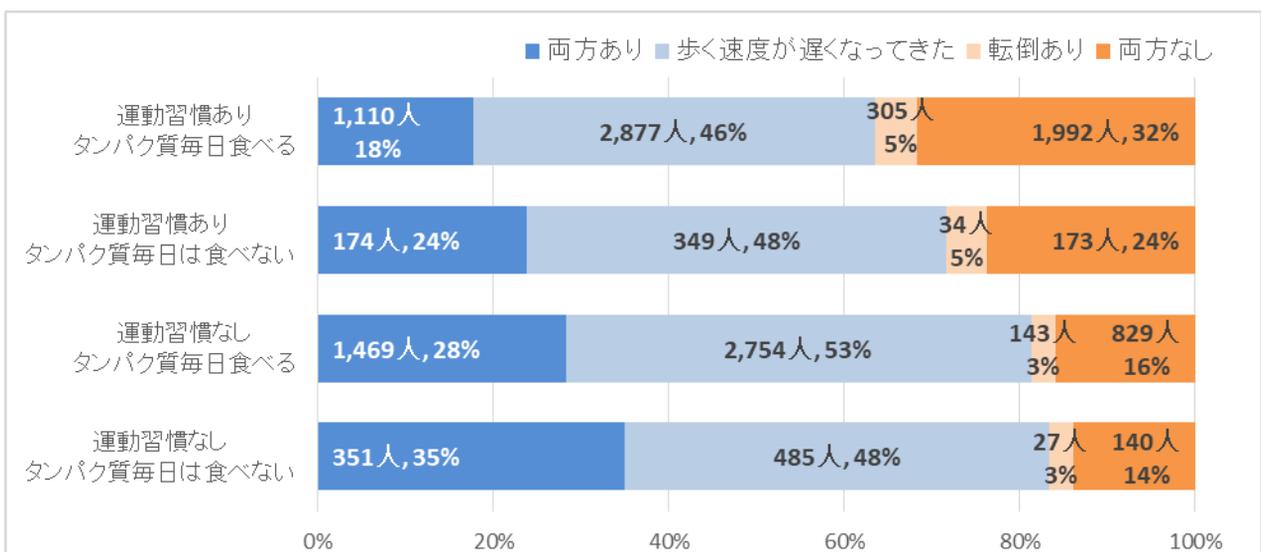
運動習慣のある人は、歩く速度が遅くなってきたこと、1年間に転んだことの両方を「いいえ」と回答した人の割合(グラフにおける「両方なし」)が、運動習慣のない人と比較し、約15ポイント高い。大きな男女差は見られない。



3. 運動習慣とタンパク質を食べる頻度を回答した人の歩く速度が遅くなってきたこと、1年間に転んだことの回答状況

運動習慣があり、タンパク質を毎日食べる人は、歩く速度が遅くなってきたこと、1年間に転んだことの両方を「いいえ」と回答した人の割合(グラフにおける「両方なし」)が、運動習慣がなく、タンパク質を毎日食べない人と比較し、2倍以上高い。

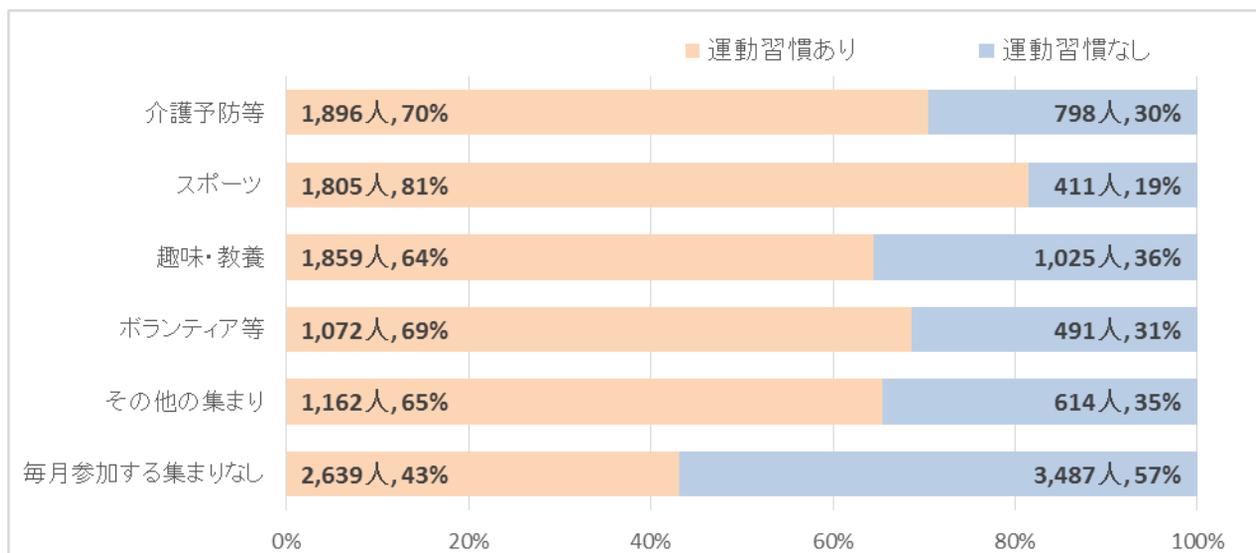
運動教室において、運動の方法や運動習慣の定着を説明することに加えてタンパク質を食べることを含む栄養バランスの良い食事についても説明することが重要であると思われる。



Ⅱ一C) 集計結果（運動・転倒）

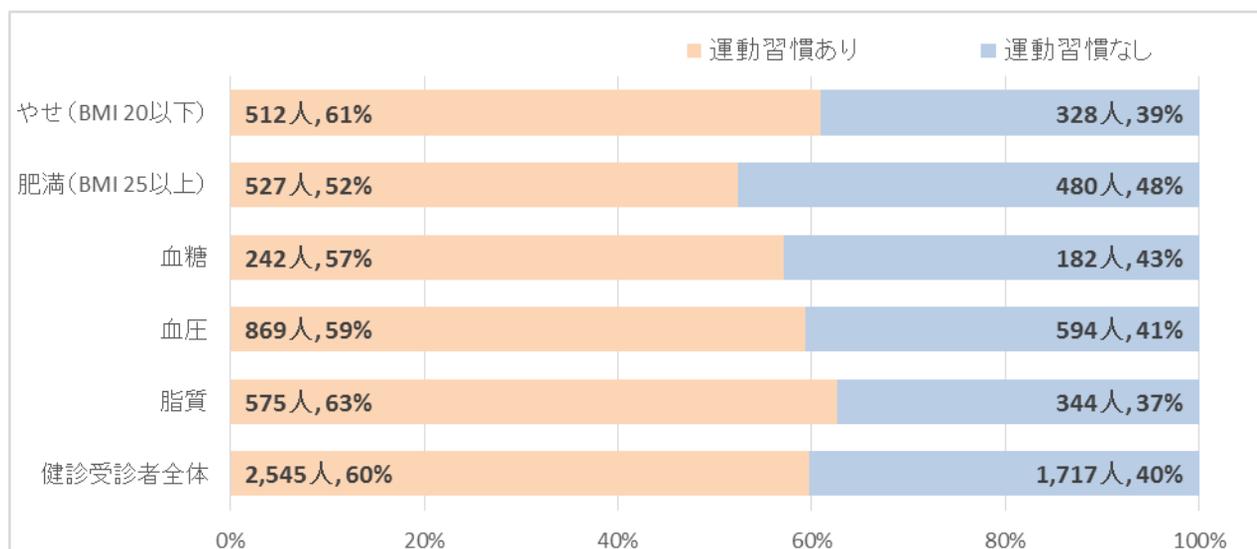
4. 集まりに月1回以上参加する人の運動習慣（「9. ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか」）の回答状況

集まりの種類を問わず、月1回以上集まりに参加する人は運動習慣のある人が多く、20ポイント以上の差がある。



5. 各健診結果の有所見者割合（受診勧奨判定値）と運動習慣（「9. ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか」）の回答状況

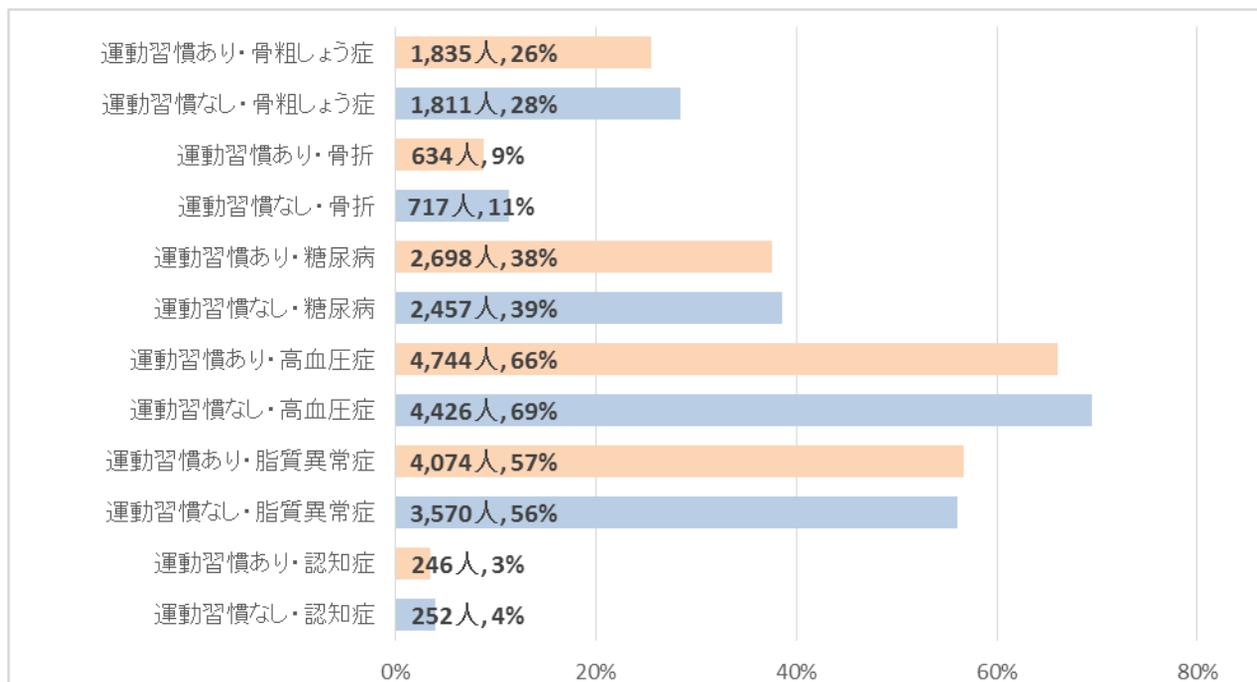
健診受診者全体と比較して、肥満の人における運動習慣ありの人の割合が8ポイント低い。しかし、その他の項目については、数ポイントの差しかいないため、運動習慣だけではなく、食習慣（栄養バランスの良い食事、間食を控えること、減塩など）や飲酒、喫煙の状況など生活習慣全体が関係していると考えられる。



Ⅱ一C) 集計結果 (運動・転倒)

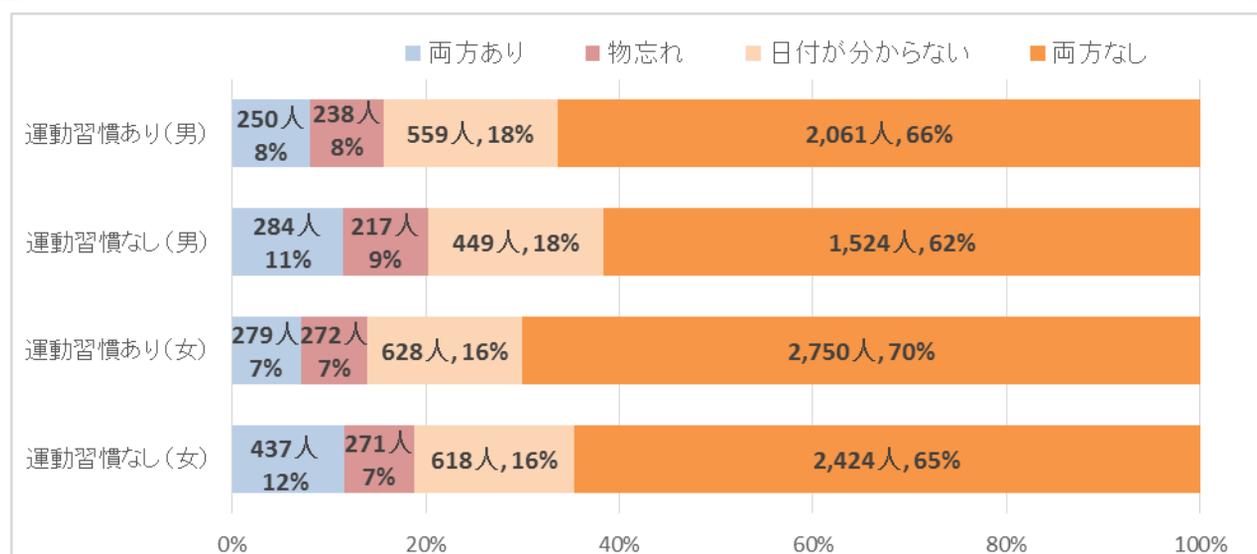
6. 集まりに月1回以上参加する人の運動習慣(「9. ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか」)に対する有病率(KDBシステム・当該疾病のレセプトが令和4年度に存在する者の割合)

運動習慣の有無における有病率に大きな差が見られないが、要介護の認定を受けている者を本集計の対象外としていることが影響していると考えられる。



7. 運動習慣のある人(「9. ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか」)の認知機能(「10. 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあると言われてますか」「11. 今日が何月何日か分からない時がありますか」)の回答状況

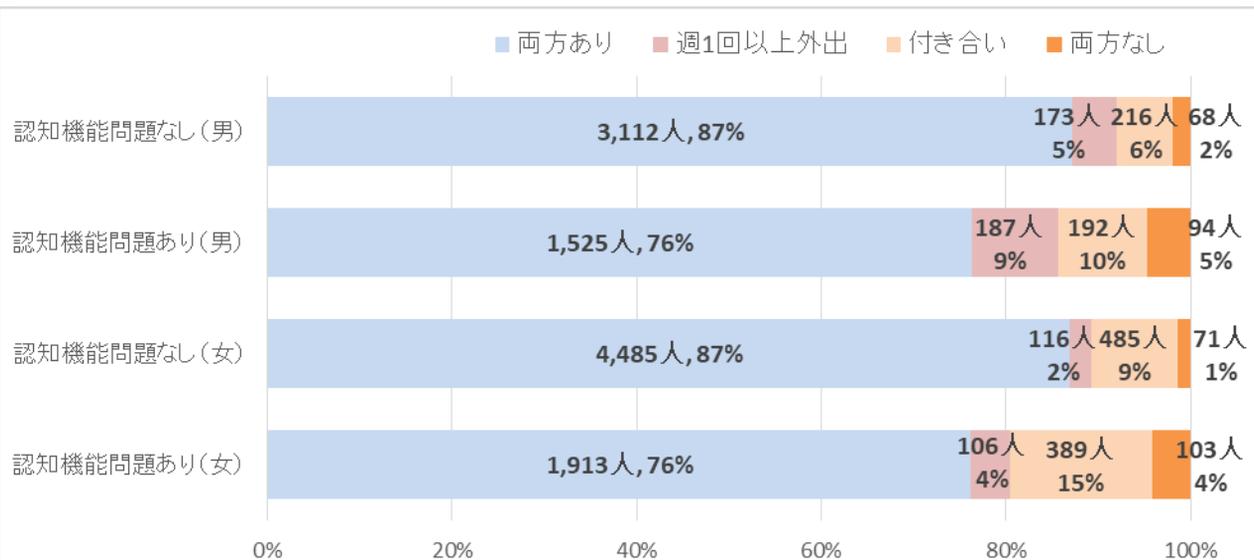
運動習慣がある人は運動習慣なしの人よりも、認知機能に問題ないと回答した人の割合が約5ポイント多い。



Ⅱ-D) 集計結果（認知機能）

1. 認知機能（「10. 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとされていますか」「11. 今日が何月何日か分からない時がありますか」）を回答した人の、「13. 週に1回以上は外出していますか」および「14. ふだんから家族や友人と付き合いがありますか」の回答状況

認知機能に問題なしと回答した人は問題ありと回答した人よりも、「週1回以上外出している」および「ふだんから家族や友人と付き合いがある」と回答した人（両方あり）の割合が10ポイント高い。

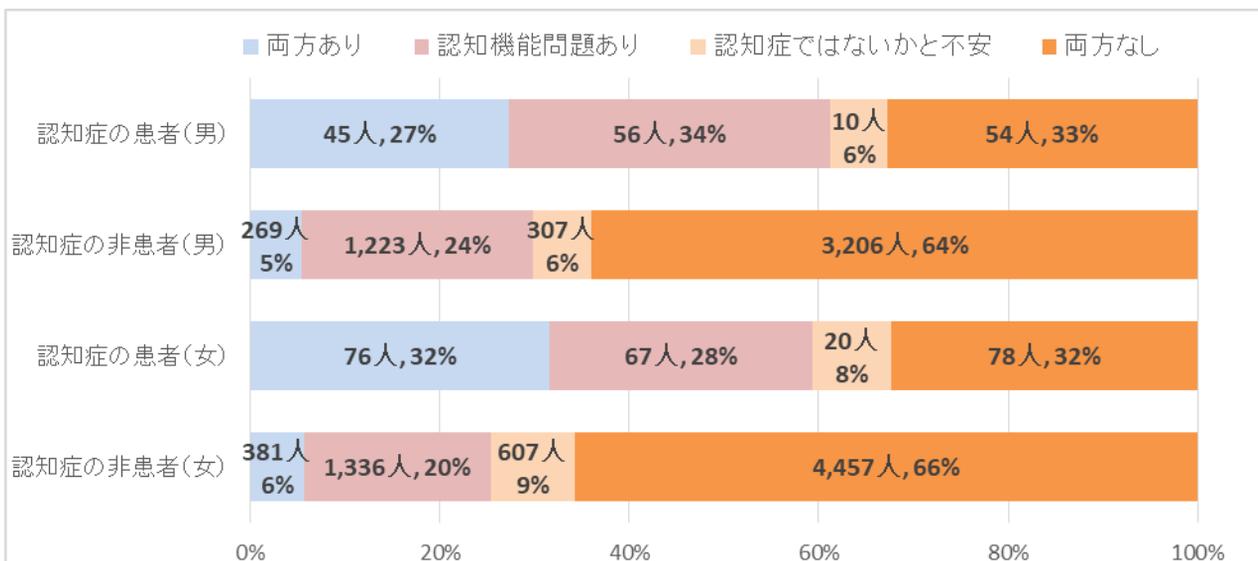


※本アンケートでは、「認知機能問題なし」を、以下の両方に「いいえ」と回答した人とする。

- ・ 10. 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとされていますか
- ・ 11. 今日が何月何日か分からない時がありますか

2. 認知症患者（KDBシステム・認知症のレセプトが令和4年度に存在する者）の認知機能および「27（1）自分が認知症でないかと不安に思うことがありますか」の回答状況

認知症の非患者において、認知機能に問題があり（「10. 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとされていますか」「11. 今日が何月何日か分からない時がありますか」のいずれかに「はい」と回答した人）、さらに「認知症ではないかと不安に思う」人が5%いる。

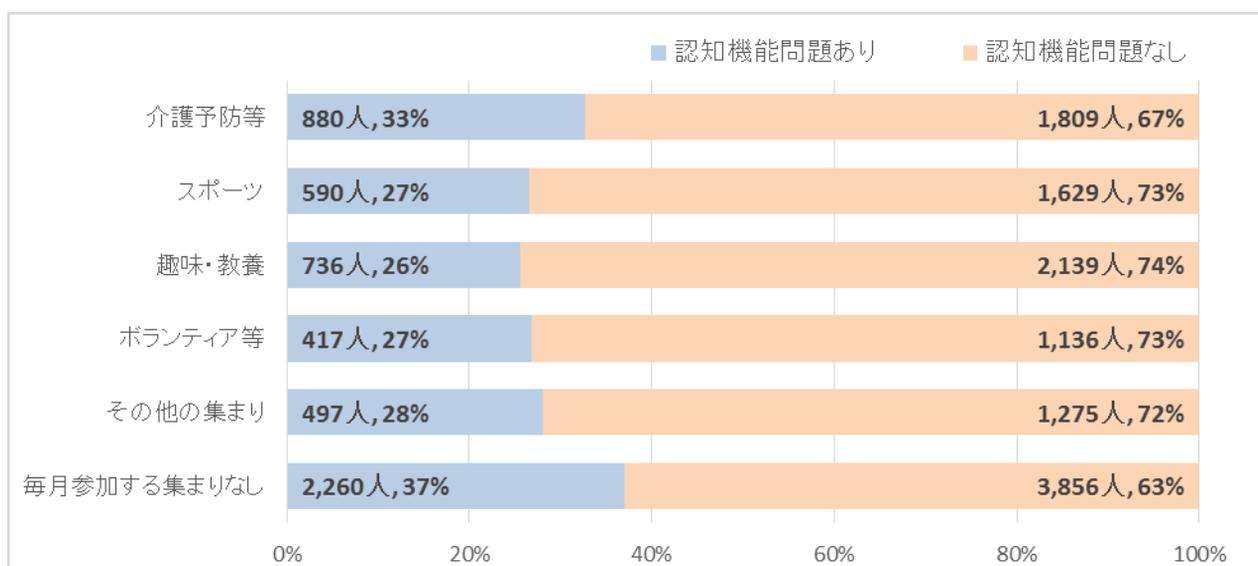


Ⅱ-D) 集計結果（認知機能）

3. 集まりに月1回以上参加する人の認知機能（「10. 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとされていますか」「11. 今日が何月何日か分からない時がありますか」）の回答状況

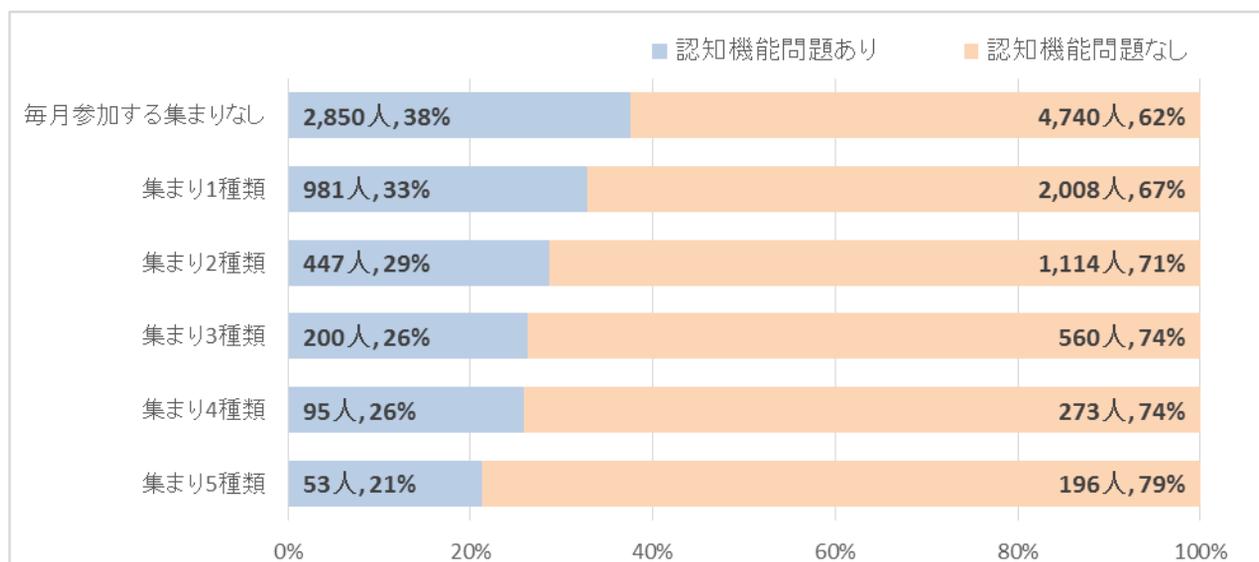
どの集まりにおいても、月に1回以上集まりに参加する人は集まりに参加しない人よりも、認知機能に問題なしと回答した人の割合が多い。

介護予防等の集まりについては、他の集まりに参加する人よりも認知機能の問題を抱えている人の割合が多いが、認知機能を含む介護予防に関心がある人や介護予防を必要と感じるために参加する人もいることが一因と考えられる。



4. 月1回以上参加する集まり（上図）の種類数と認知機能（「10. 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとされていますか」「11. 今日が何月何日か分からない時がありますか」）の回答状況

毎月参加する集まりの種類が多いほど、認知機能に問題ありと回答している人の割合は少なくなっていく。

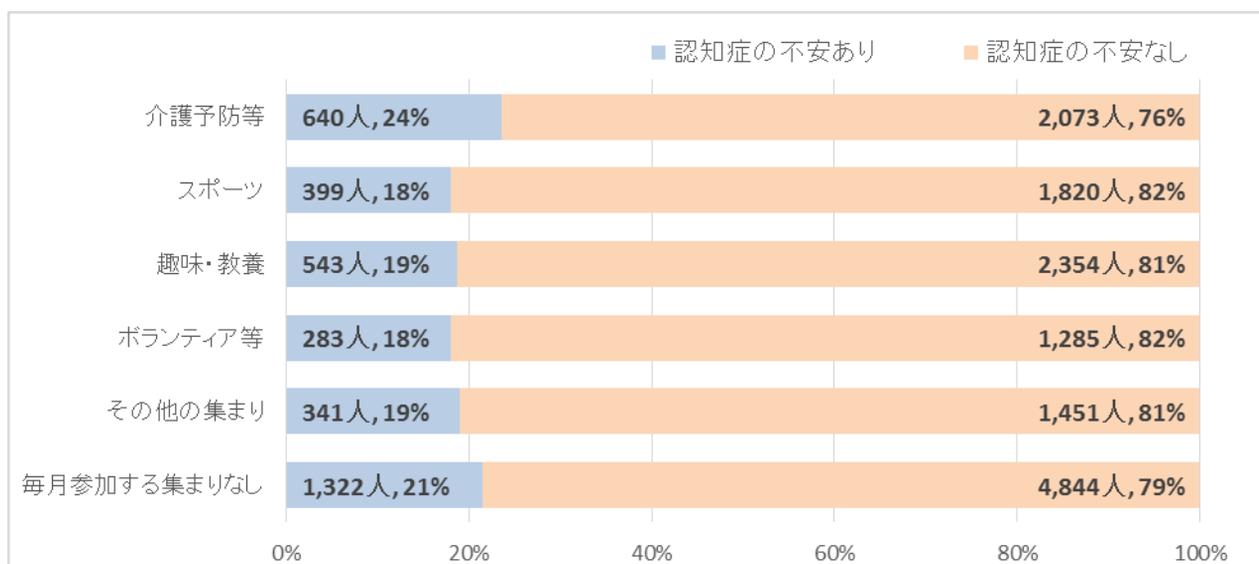


Ⅱ-D) 集計結果（認知機能）

5. 集まりに月1回以上参加する人の「27（1）自分が認知症でないかと不安に思うことがありますか」の回答状況

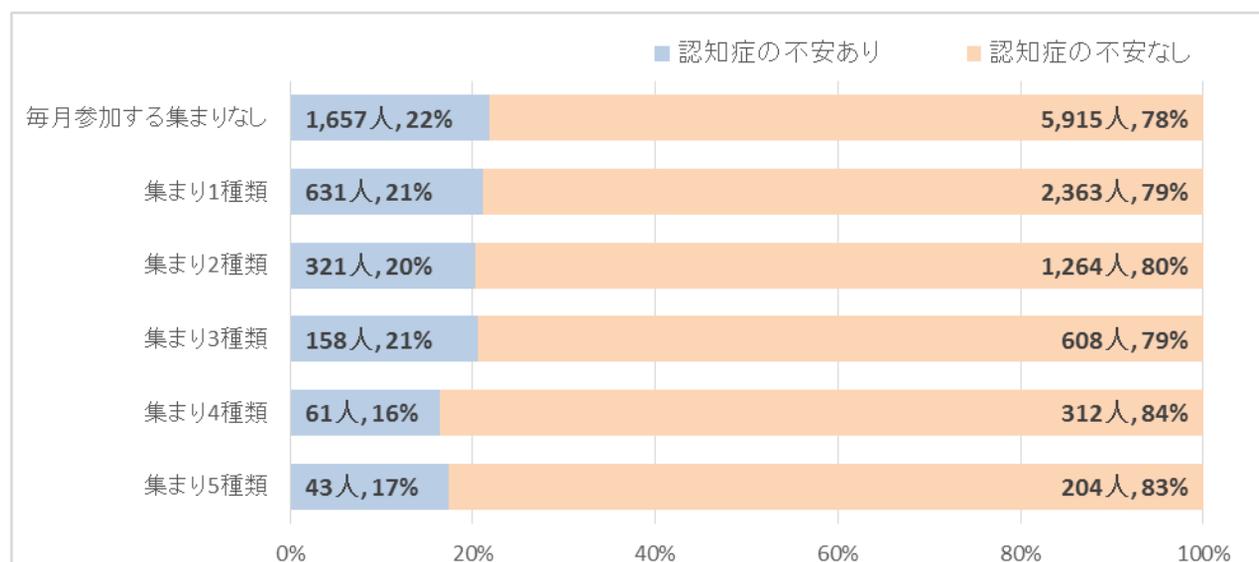
大半の集まりにおいて、月に1回以上集まりに参加する人は集まりに参加しない人よりも、認知症に関する不安を感じている人の割合がやや少なく、集まりの種類に差はない。

介護予防等の集まりについては、集まりに参加しない人よりも認知症に関する不安を感じている人の割合が多いが、認知症に関する不安を感じるために、介護予防等の集まりに参加する人もいることが一因として考えられる。



6. 月1回以上参加する集まりの種類数（上図）と「27（1）自分が認知症でないかと不安に思うことがありますか」の回答状況

集まりに参加しない人と1～2種類の集まりに参加する人は、認知症に関する不安を感じている人の割合に差がないが、集まりに4種類以上参加する人は認知症に関する不安を感じている人の割合が5ポイント以上低い。

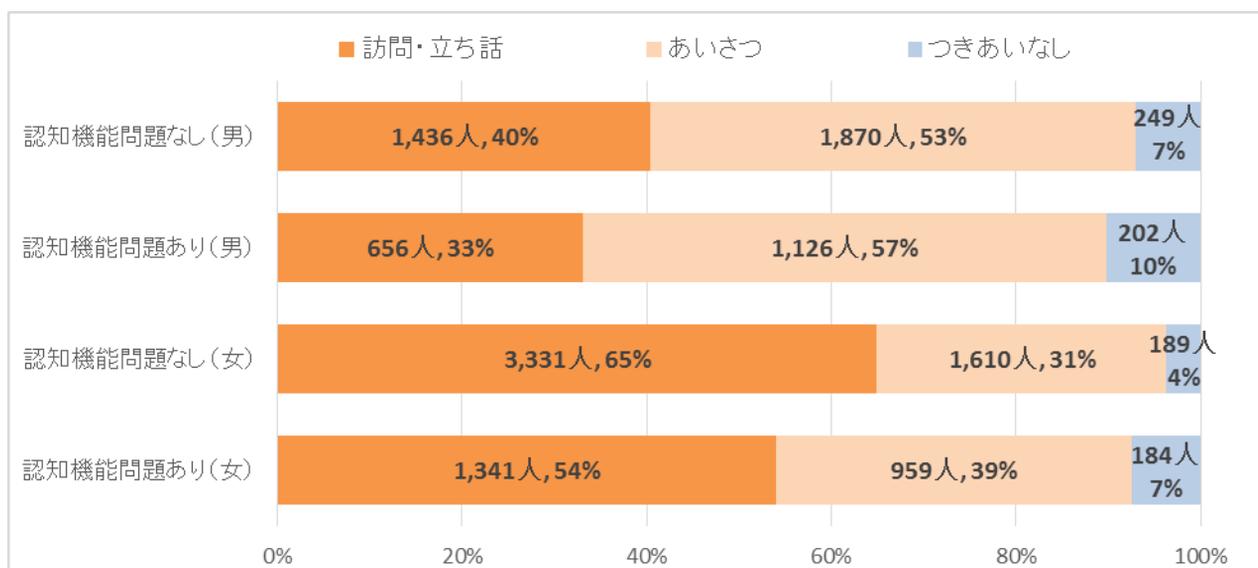


Ⅱ-D) 集計結果（認知機能）

7. 認知機能（「10. 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあると言われていま すか」「11. 今日が何月何日か分からない時がありますか」）を回答した人の、「23（1） あなたは、近所の人とどの程度のつきあいがありますか」の回答状況

男性よりも女性のほうがつきあいが活発であり、お互いに訪問したり、立ち話する人がいる人の割合が女性は20ポイント以上高い。

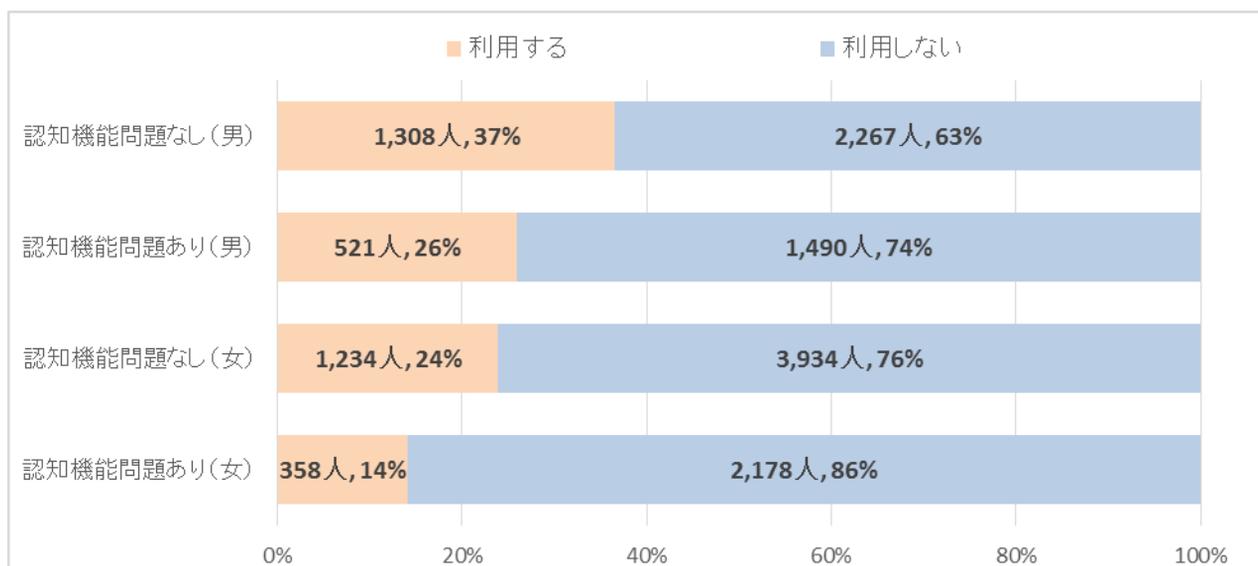
認知機能が問題なしの人は問題ありの人に比べて、お互いに訪問したり、立ち話する人がいる人の割合が男性では5ポイント、女性では10ポイント以上多い。



8. 認知機能（「10. 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあると言われていま すか」「11. 今日が何月何日か分からない時がありますか」）を回答した人の、インターネット やSNSの利用状況の回答状況

女性よりも男性のほうがインターネットやSNSを利用している割合が高く、10ポイント以上高い。

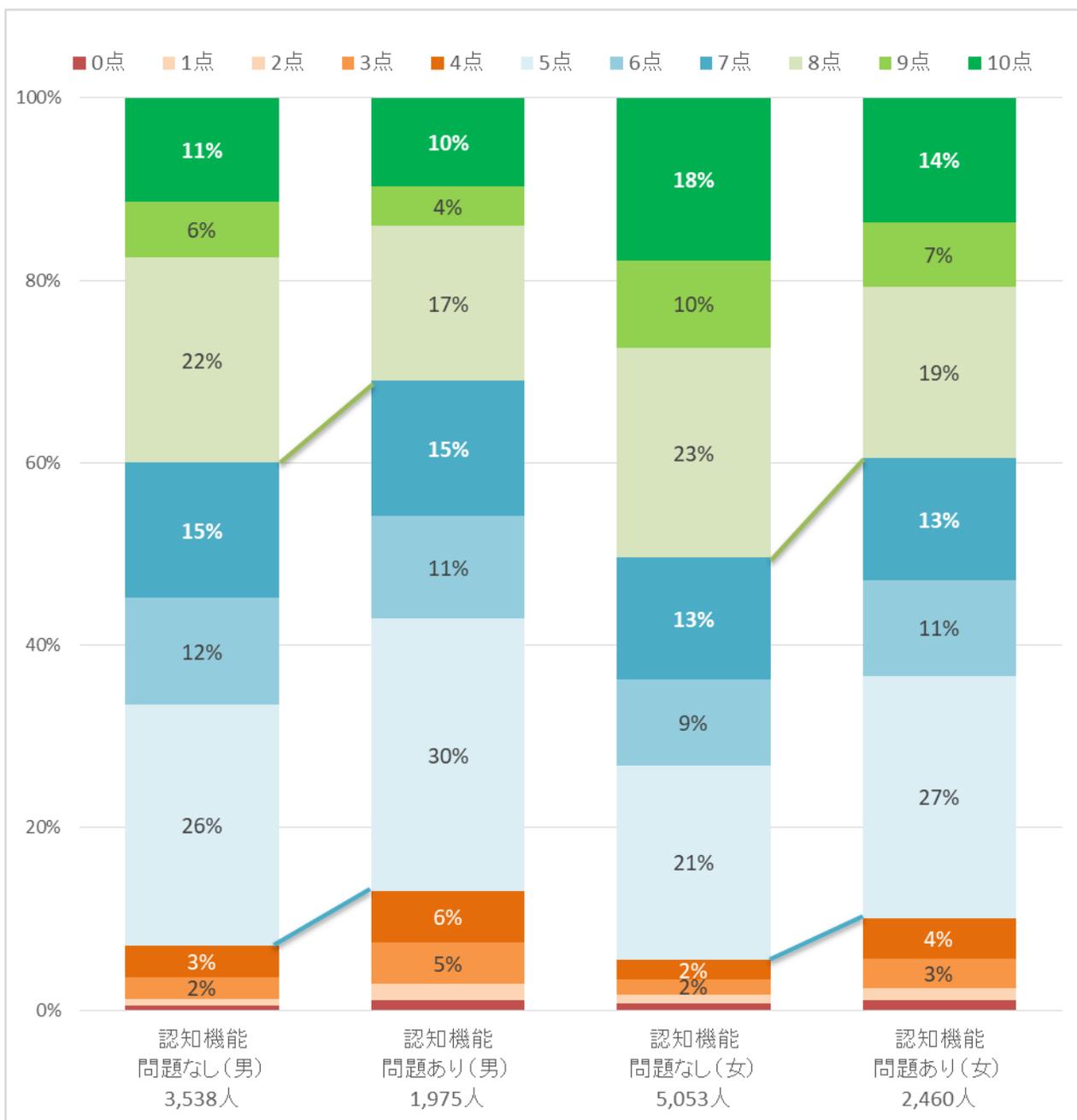
男女ともに、認知機能が問題なしの人は問題ありの人に比べて、インターネットやSNSを利用している人の割合が10ポイントほど高い。



Ⅱ-D) 集計結果（認知機能）

9. 認知機能（「10. 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとされていますか」「11. 今日が何月何日か分からない時がありますか」）を回答した人の、幸福度（「とても不幸せ」を0点、「とても幸せ」を10点とする）の回答状況

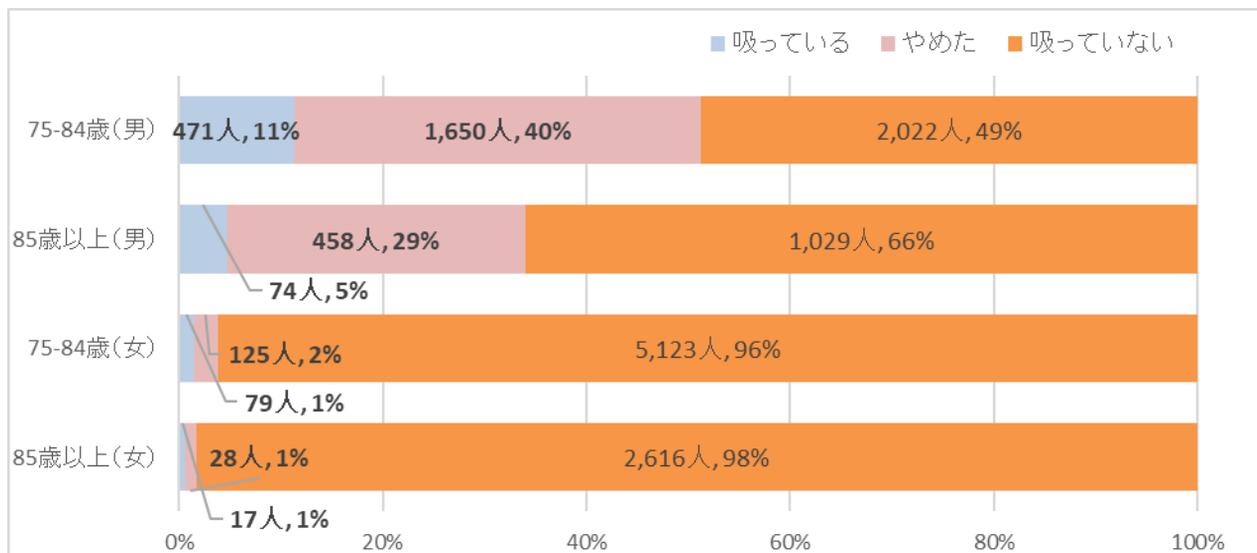
男性よりも女性のほうが幸福度が高い人の割合が多く、認知機能に問題があると回答した人よりも問題なしと回答した人のほうが、男女とも幸福度の高い人（8～10点）が約10ポイント高い。



Ⅱ一E) 集計結果 (喫煙)

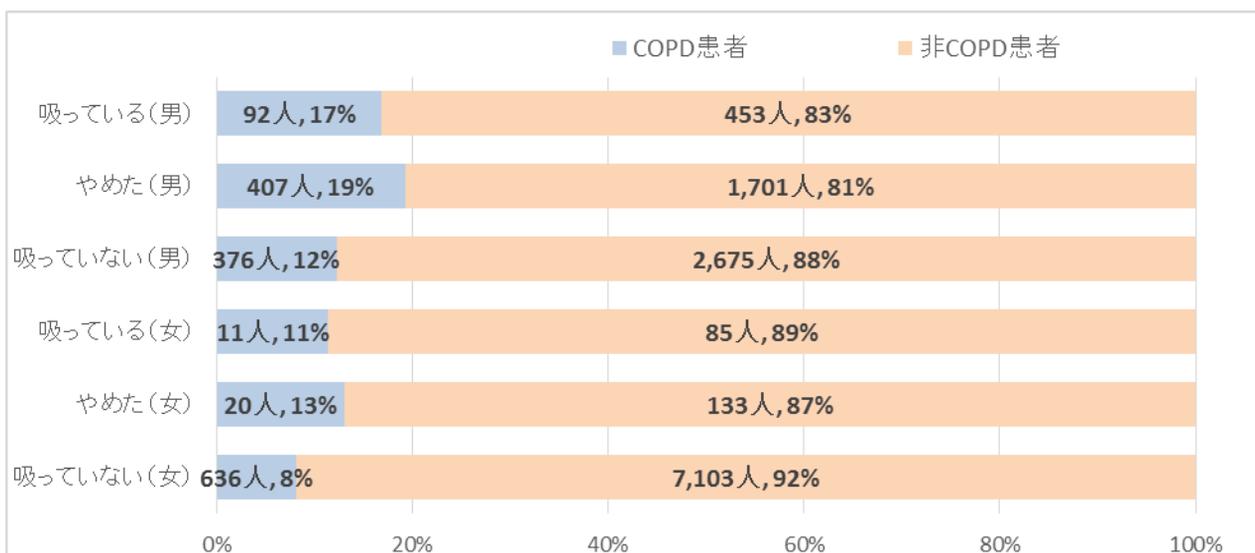
1. 「12. あなたはたばこを吸いますか」に回答状況

喫煙率は女性よりも男性、85歳以上よりも75～84歳のほうが高い。
男性は「吸っている」と「やめた」を加えると、30%を超える。



2. 「12. あなたはたばこを吸いますか」に回答した人のCOPD (慢性閉塞性肺疾患) 有病状況 (KDBシステム・COPDのレセプトが令和4年度に存在する者)

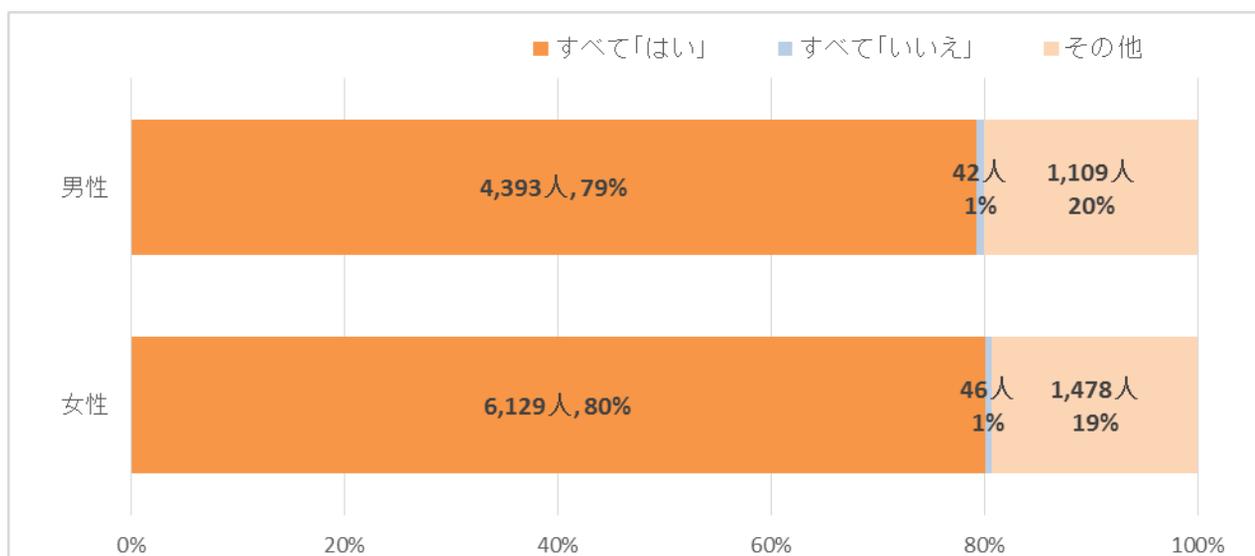
COPD (慢性閉塞性肺疾患) 有病率は、男女ともたばこを吸っていないと回答した人が最も低い。
たばこを「吸っている」と回答した人よりも「やめた」と回答した人のほうがCOPD患者割合がやや高い理由として、COPDや肺がんなどの病気を発症したためにたばこをやめた人も少なくないと考えられる。



Ⅱ一F) 集計結果 (社会参加等)

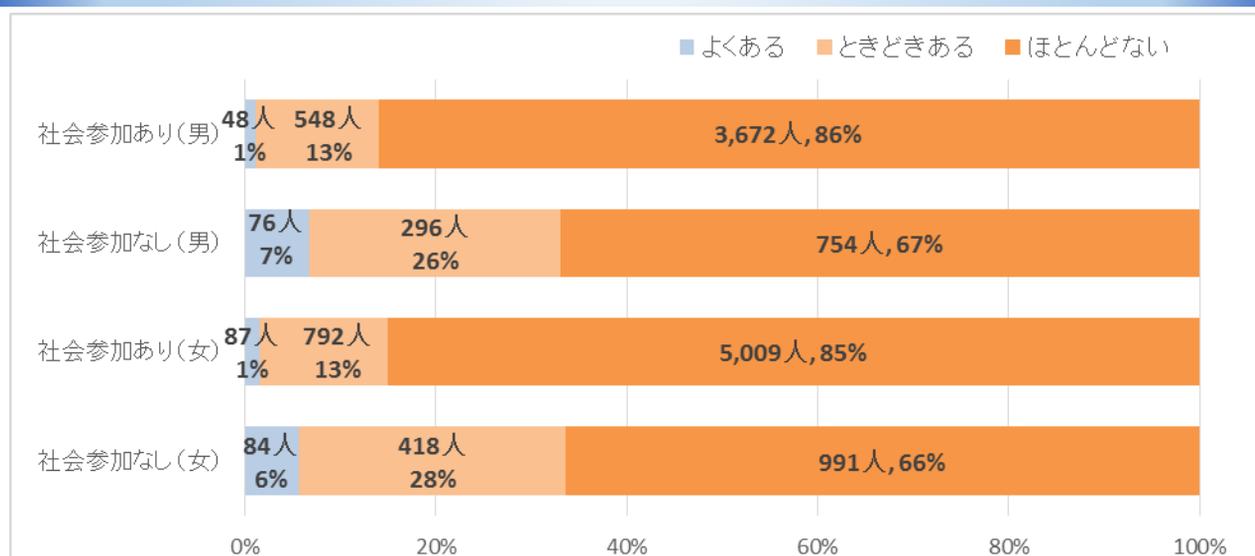
1. 「13. 週に1回以上は外出していますか」、「14. ふだんから家族や友人と付き合いがありますか」、「15. 体調が悪いときに、身近に相談できる人がいますか」の回答状況

80%が週1回は外出し、ふだんから付き合いがあり、身近に相談できる人がいると回答している。一方で、すべてに「いいえ」と回答している人も1%と少ないものの存在する。いずれも回答状況に男女差は見られない。



2. 社会参加等の設問 (13~15すべてに「はい」と回答した人を「社会参加あり」と考える) に回答した人の「23. (2) 自分は他の人達から取り残されていると感じることはありますか」の回答状況

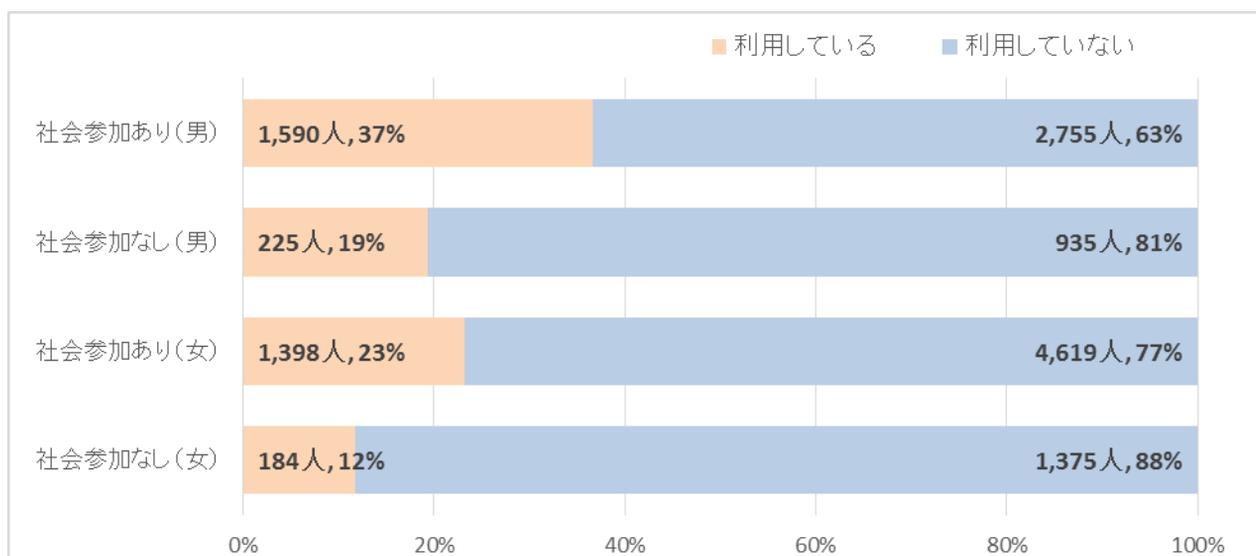
社会参加なしと回答した人よりも社会参加ありと回答した人のほうが、取り残されていると感じることがある人 (「ときどきある」を含む) の割合が約20ポイント低い。いずれも回答状況に男女差は見られない。



Ⅱ-F) 集計結果（社会参加等）

3. 社会参加等の設問（13～15すべてに「はい」と回答した人を「社会参加あり」と考える）に回答した人のインターネットやSNSの利用状況

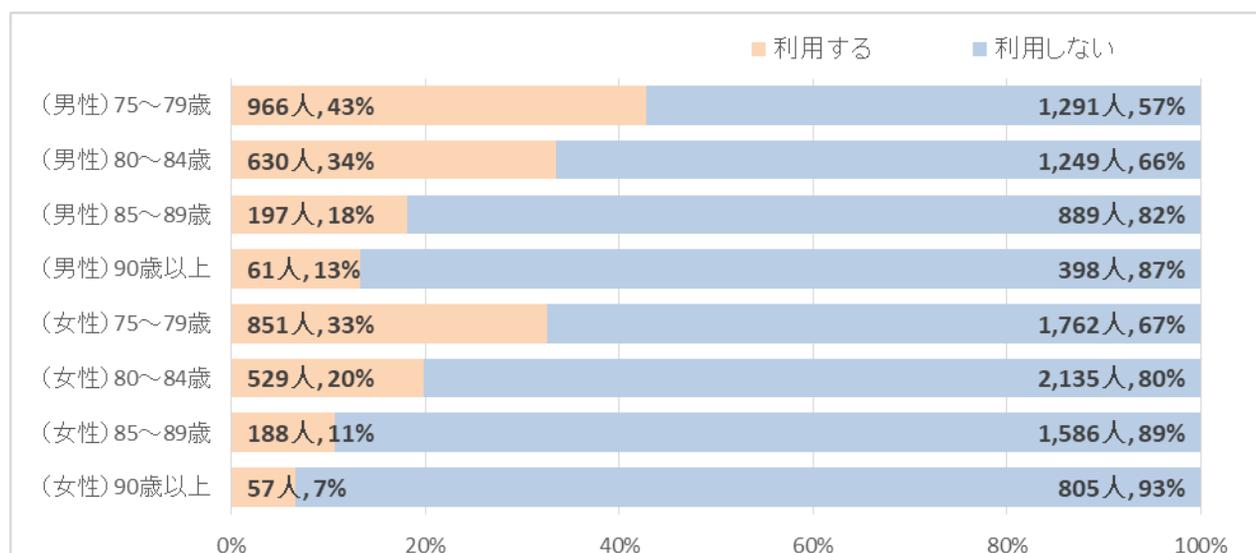
女性よりも男性のほうが、インターネットやSNSを利用している。
社会参加なしと回答した人よりも社会参加ありと回答した人のほうが、インターネットやSNSを利用している人の割合が高く、男性では15ポイント、女性では10ポイント以上高い。



4. 性別・年齢階層別の「25.あなたはスマートフォンやパソコンを使用して、インターネットやSNSを利用していますか」の回答状況

インターネットやSNSの利用状況について、男性の75～79歳、80～84歳、女性の75～79歳については3人に1人以上が利用している。

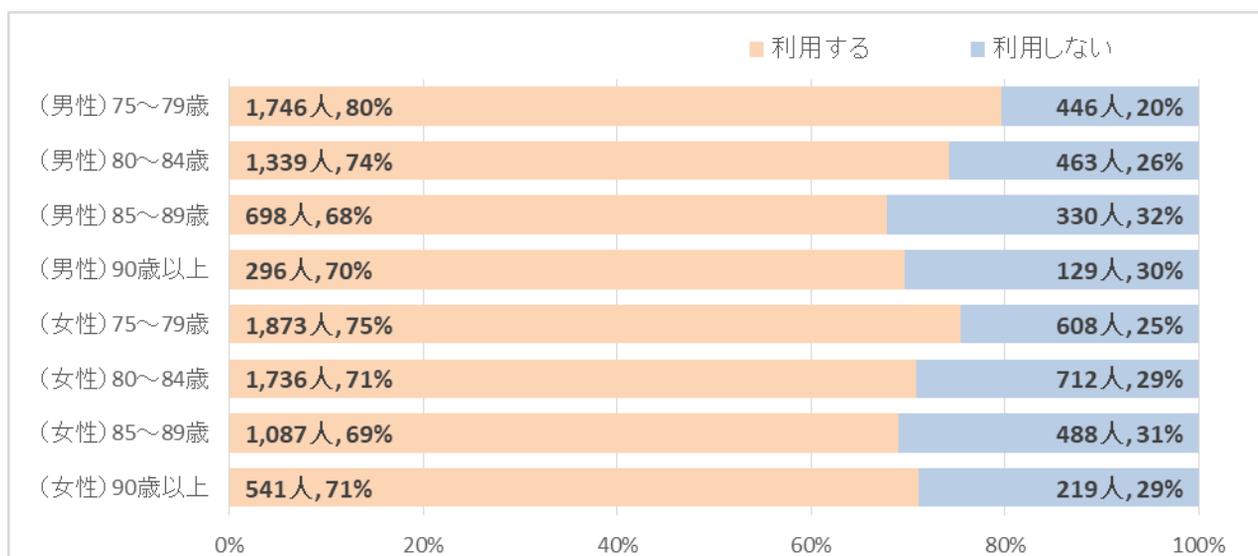
特に男性のほうが利用している人が多く、85～89歳でも約20%がインターネット等を利用している。



Ⅱ一F) 集計結果（社会参加等）

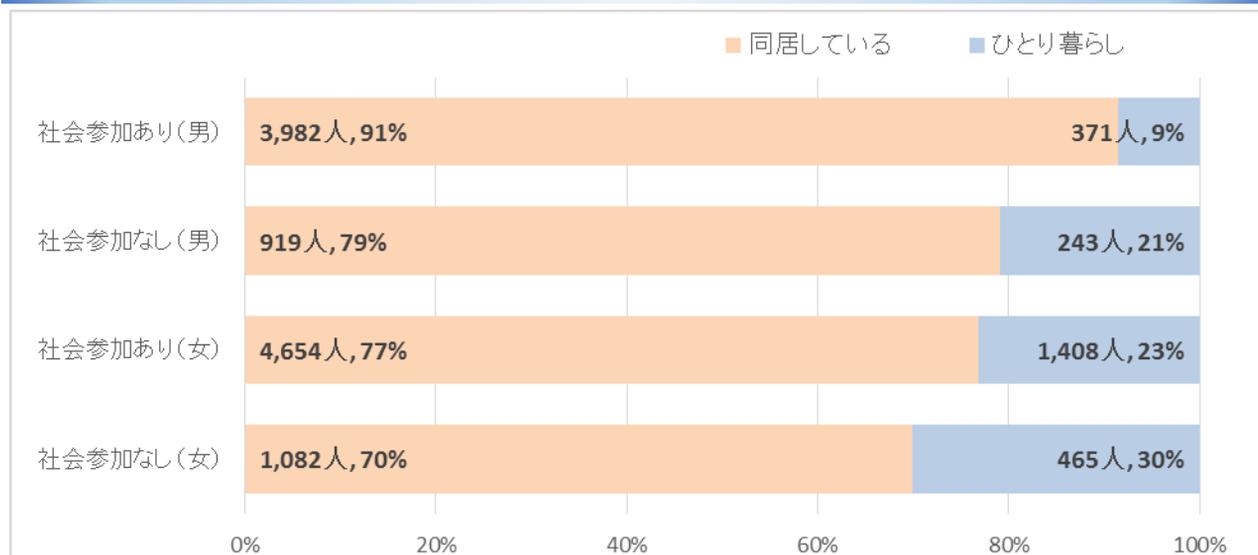
5. 本人または同居の家族がインターネット等を利用できる人の割合

本人がインターネット等を利用できない場合でも、同居の家族が利用できる人を含めて集計すると、どの年齢階層においても、3人に2人は利用できる状況にある。



6. 社会参加等の設問（13～15すべてに「はい」と回答した人を「社会参加あり」と考える）に回答した人の「26（1）あなたは現在、一緒に住んでいる（敷地内に住んでいる）方はいますか」の回答状況

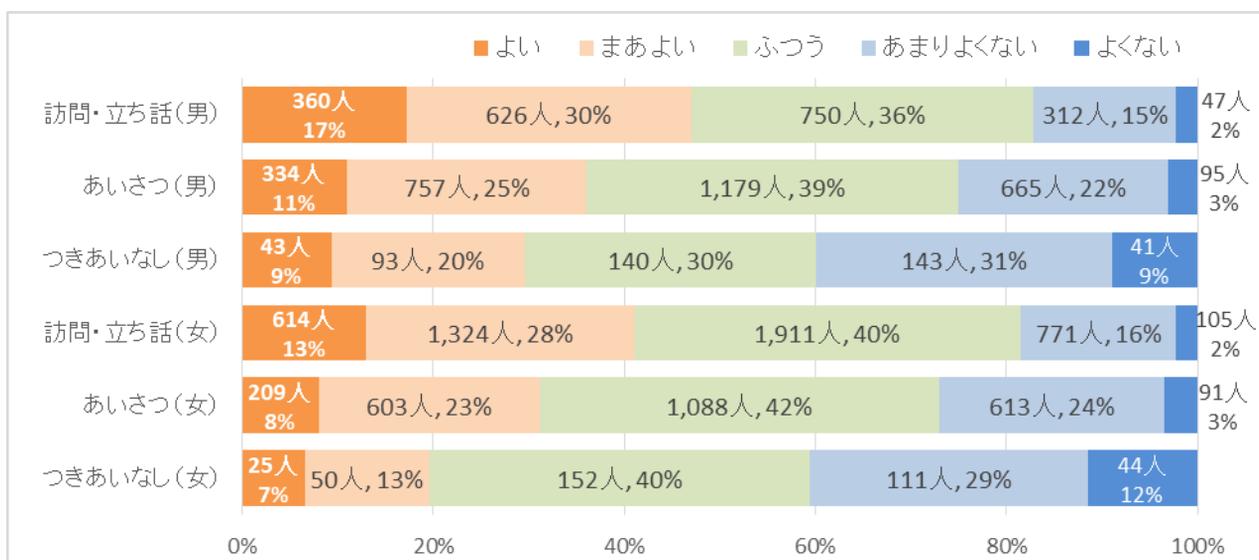
社会参加なしと回答した人よりも社会参加ありと回答した人のほうが、同居している人の割合が高く、男性で10ポイント、女性で5ポイント以上高い。



Ⅱ一F) 集計結果（社会参加等）

7. 「23（1）あなたは、近所の人との程度のつきあいがありますか」に回答した人の、「1. あなたの現在の健康状態はいかがですか」の回答状況

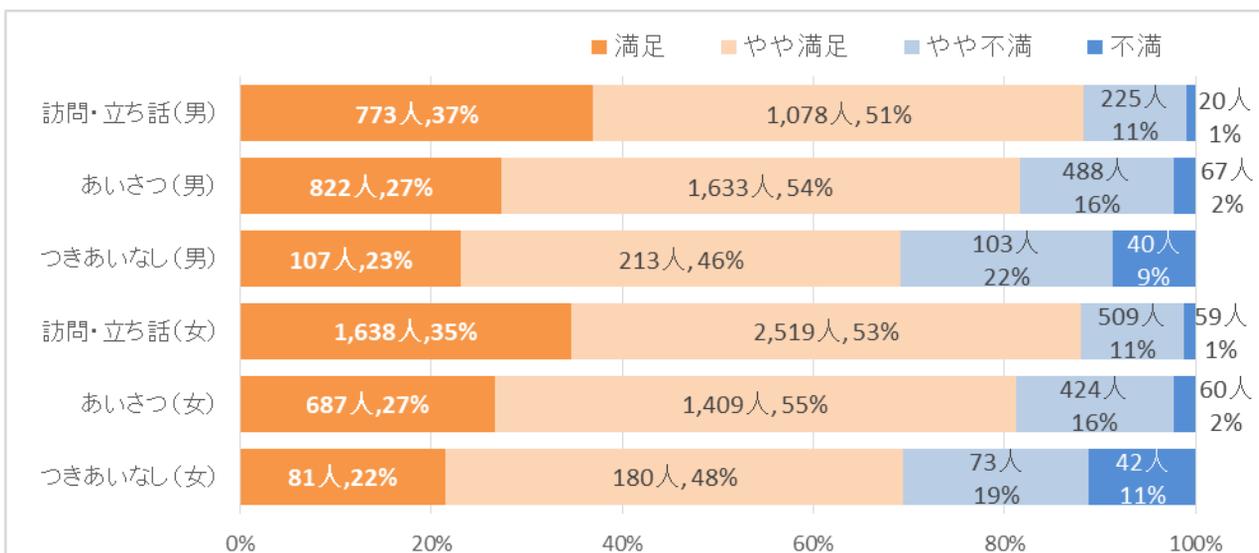
訪問や立ち話をする相手がいる人は健康状態に満足している人の割合が高く、付き合いがない人ほど満足している人の割合が低くなっている。



8. 「23（1）あなたは、近所の人との程度のつきあいがありますか」を回答した人の、「2. 毎日の生活に満足していますか」の回答状況

訪問や立ち話をする相手がいる人は生活に満足している人の割合が高く、付き合いがない人ほど満足している人の割合が低くなっていく。

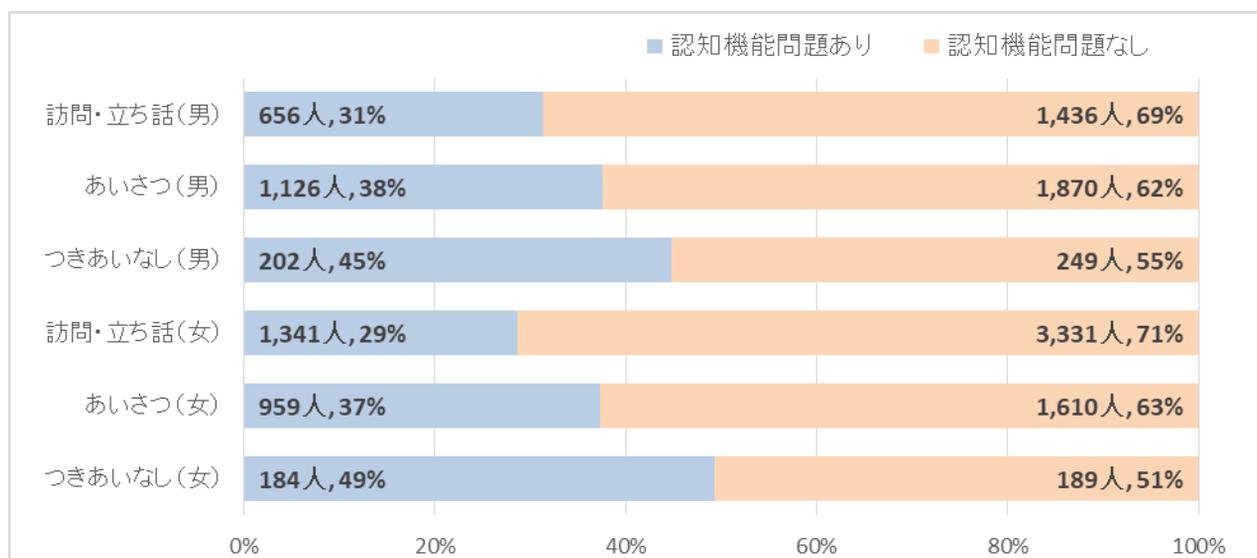
訪問や立ち話をする相手がいる人における、生活に「満足」「やや満足」と回答した人の割合が、つきあいなしと回答した人よりも男女ともに約20ポイント高い。



Ⅱ一F) 集計結果 (社会参加等)

9. 「23 (1) あなたは、近所の人との程度のつきあいがありますか」を回答した人の、7. 認知機能 (「10. 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとされていますか」「11. 今日が何月何日か分からない時がありますか」) の回答状況

訪問や立ち話をする相手がいる人は認知機能に問題があると考えている人の割合が低く、付き合いがない人ほど認知機能に問題があると考えている人の割合が高くなっていく。
男女差はほとんど見られない。



Ⅱ-G) 集計結果（幸福度）

「24. 現在、どの程度幸せですか。（「とても幸せではない」を0点、「とても幸せ」を10点）」の回答から幸福度を以下のグループに分けて、集計を行った。

0～1点
とても幸せではない

2～3点
幸せではない

4～6点
どちらでもない

7～8点
幸せ

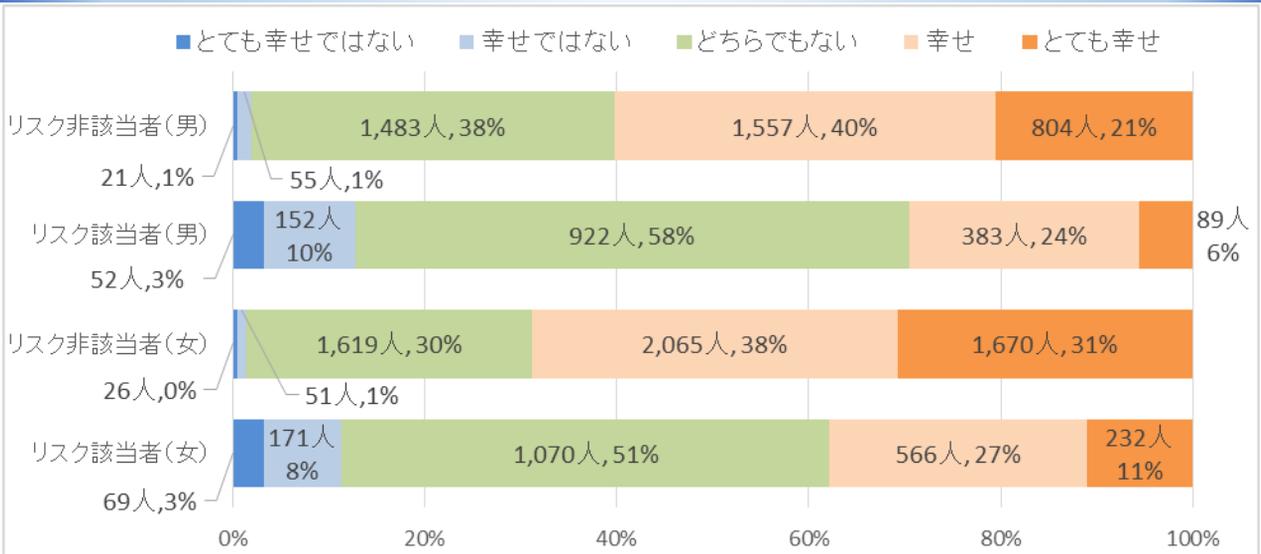
9～10点
とても幸せ

1. 各リスクと幸福度

①心身の健康状態リスク（両方に該当する人）

- あなたの現在の健康状態はいかがですか→「あまりよくない」「よくない」
- 毎日の生活に満足していますか→「やや不満」「不満」

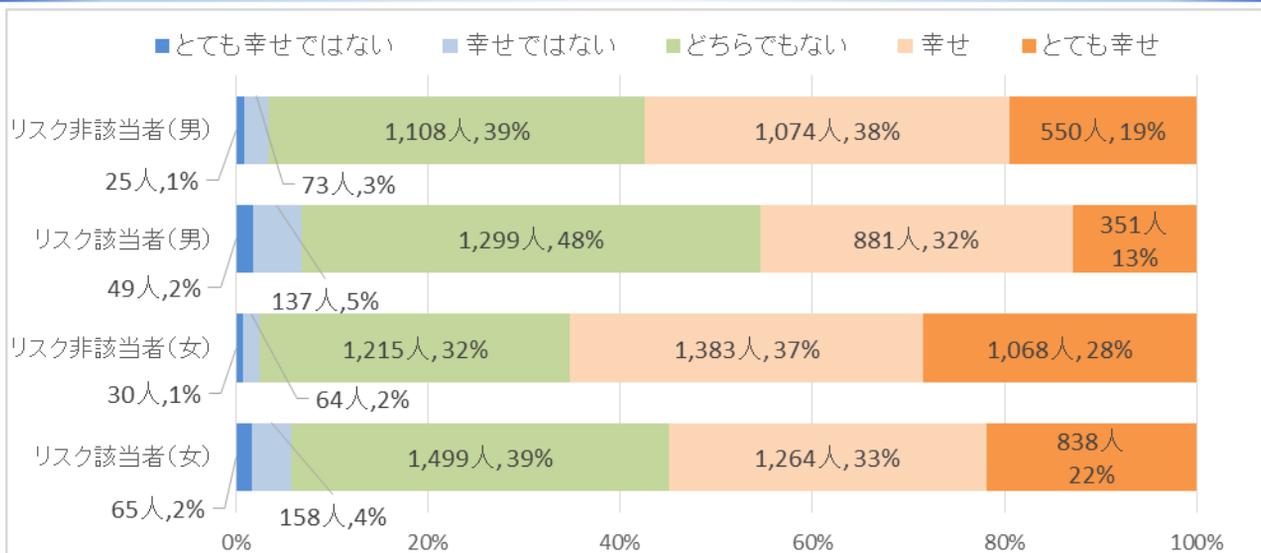
リスク非該当者よりも該当者のほうが、幸せではない、とても幸せではないと回答している人の割合が、約10ポイント高い。



②口腔機能リスク（いずれかに該当する人）

- 半年前に比べて固いもの（さきいか、たくあんなど）が食べにくくなりましたか→「はい」
- お茶や汁物等でむせることがありますか→「はい」

リスク非該当者よりも該当者のほうが、幸せではない、とても幸せではないと回答している人の割合が、2倍ほど高い。



Ⅱ-G) 集計結果（幸福度）

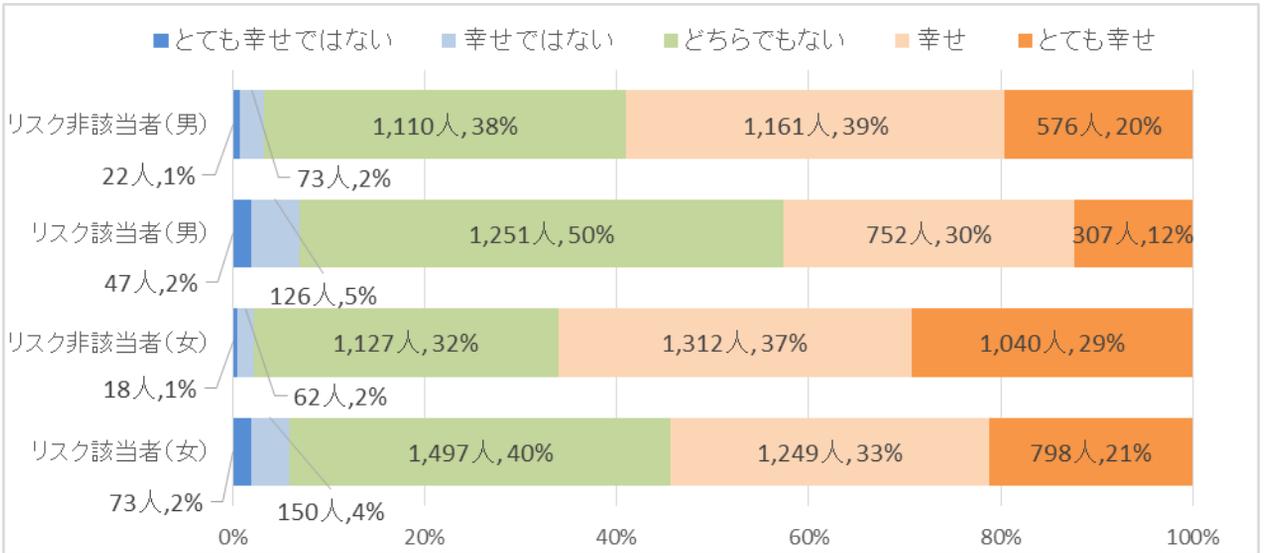
③運動転倒リスク（以下の2項目以上に該当する人）

6. 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか→「はい」

8. この1年間に転んだことがありますか→「はい」

9. ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか→「いいえ」

リスク非該当者よりも該当者のほうが、幸せではない、とても幸せではないと回答している人の割合が、2倍ほど高い。

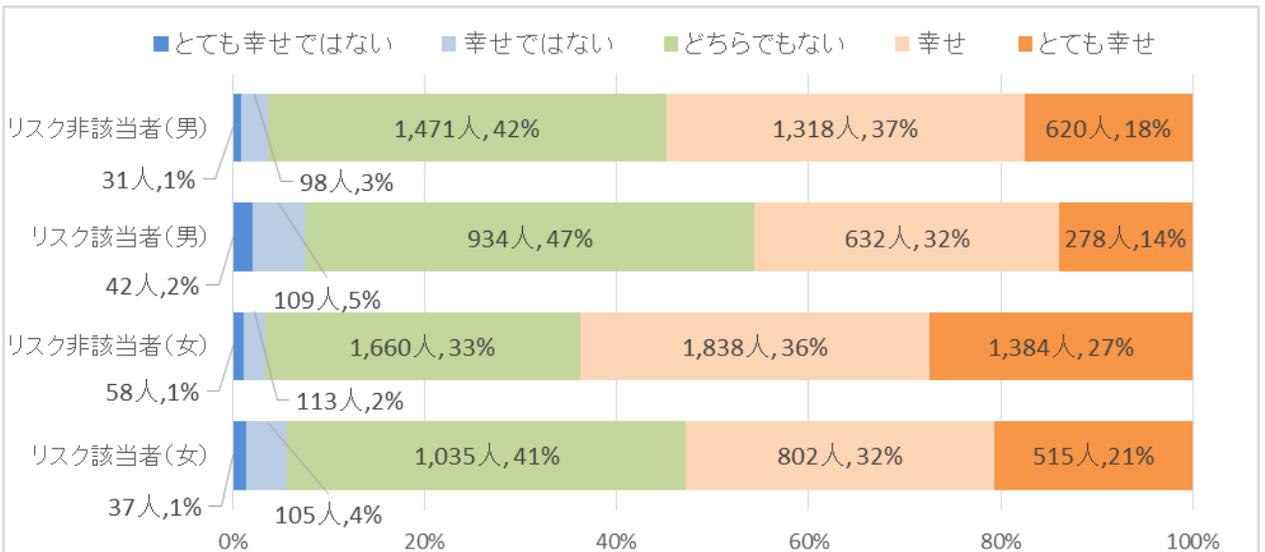


④認知機能リスク（いずれかに該当する人）

10. 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとされていますか→「はい」

11. 今日が何月何日か分からない時がありますか→「はい」

リスク該当者よりも非該当者のほうが、幸せ、とても幸せと回答している人の割合が、10ポイントほど高い。

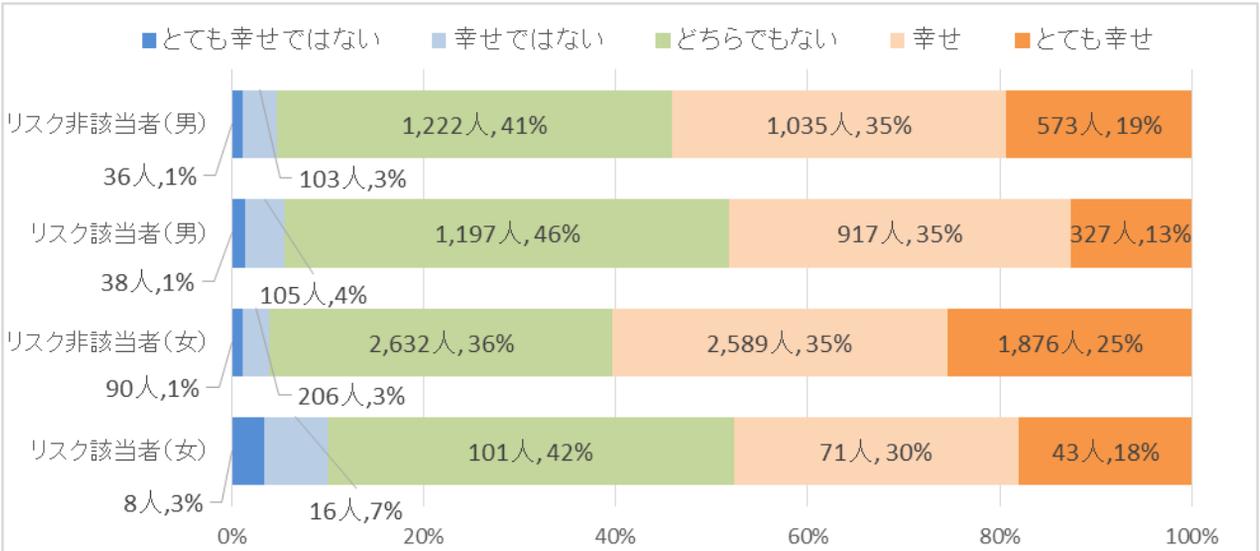


Ⅱ一G) 集計結果（幸福度）

⑤喫煙リスク

12. あなたはたばこを吸いますか→「吸っている」または「やめた」

リスク該当者よりも非該当者のほうが、幸せ、とても幸せと回答している人の割合が、男性では5ポイント、女性では10ポイントほど高い。



⑥社会参加等リスク（いずれかに該当する人）

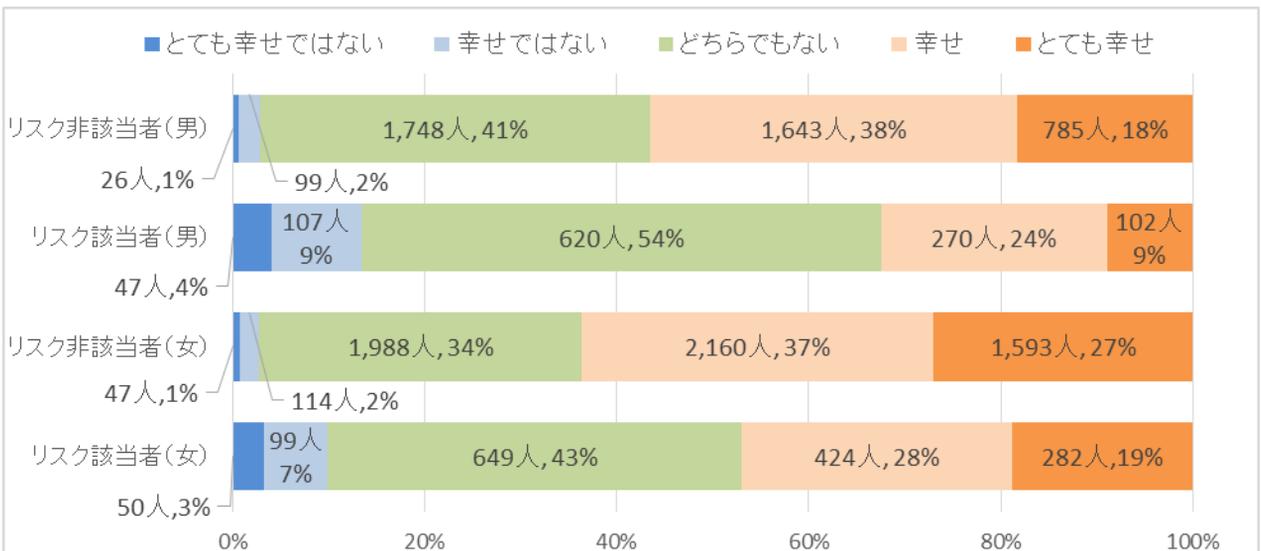
13. 週に1回以上は外出していますか→「いいえ」

14. ふだんから家族や友人と付き合いがありますか→「いいえ」

15. 体調が悪いときに、身近に相談できる人がいますか→「いいえ」

リスク非該当者よりも該当者のほうが、幸せではない、とても幸せではないと回答している人の割合が、3倍以上高い。

また、リスク該当者よりも非該当者のほうが、幸せ、とても幸せと回答している人の割合が、男性では20ポイント、女性では15ポイント以上高い。

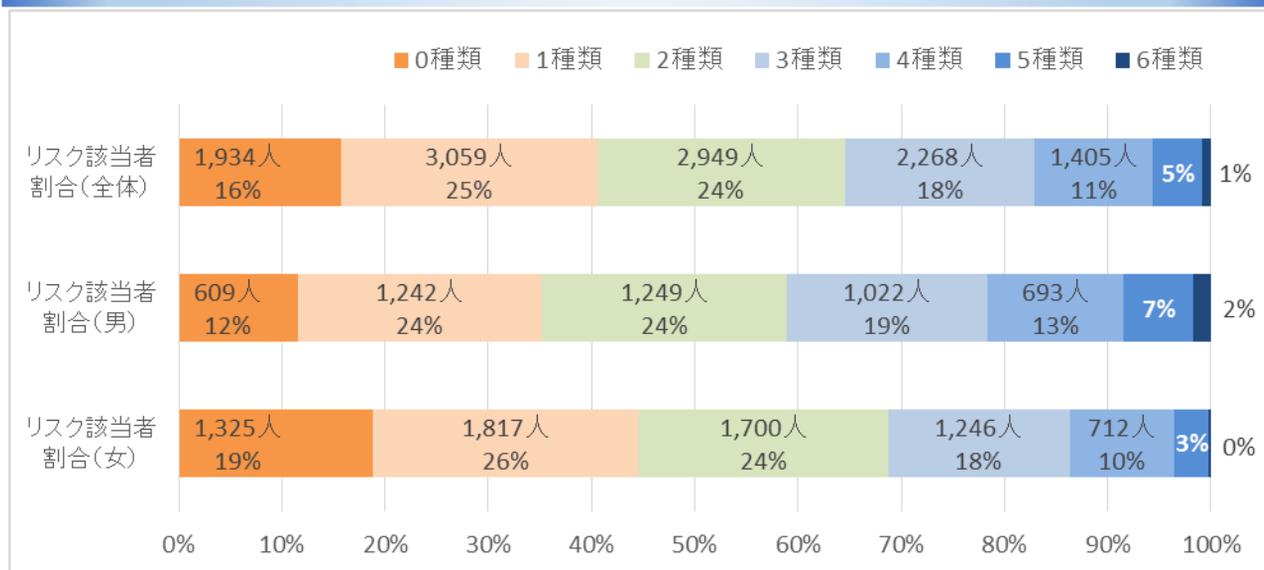


Ⅱ－G) 集計結果（幸福度）

2. 「①心身の健康状態リスク」～「⑥社会参加等リスク」におけるリスク該当数

リスク該当者数を集計すると、リスク数が0～1種類は全体で41%で、女性は男性よりも10ポイント高い。

リスク数が3種類以上の人の割合は、全体で35%で、男性は女性よりも10ポイント高い。

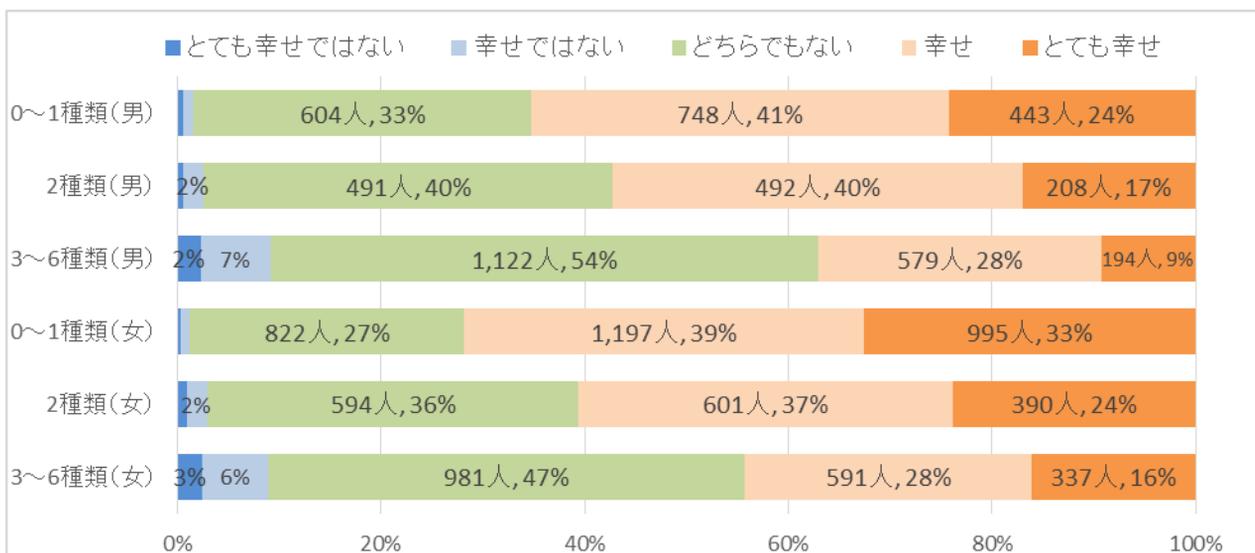


3. 「①心身の健康状態リスク」～「⑥社会参加等リスク」におけるリスク数別幸福度

リスク数が0～1種類、2種類の場合は、幸せではない、とても幸せではないと回答した人の割合が3%以下だが、3～6種類では約10%と大きく増加する。

また、幸せ、とても幸せと回答した人の割合が、3～6種類よりも2種類のほうが男性では20ポイント、女性では15ポイントと大きく増加しており、2種類よりも0～1種類のほうが男女ともに10ポイント高い。

各リスクを抑えることは、幸福度を増すことにつながると考えられる。

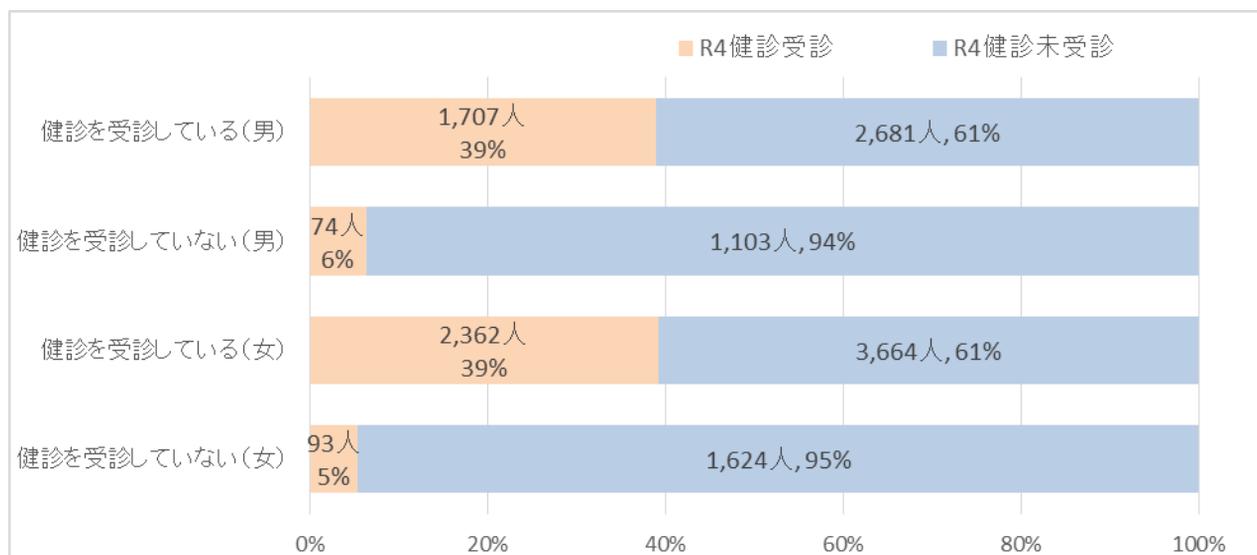


Ⅱ一H) 集計結果（その他）

1. 「18. 現在、あなたは年に1回程度、健診を受診していますか。」に回答した人の健診の受診状況（KDBシステム・令和4年度の健診結果が存在する者）

健診を受診していると回答した人の中には、高齢者健診は受診していないが、がん検診を受診している人も含まれると思われる。

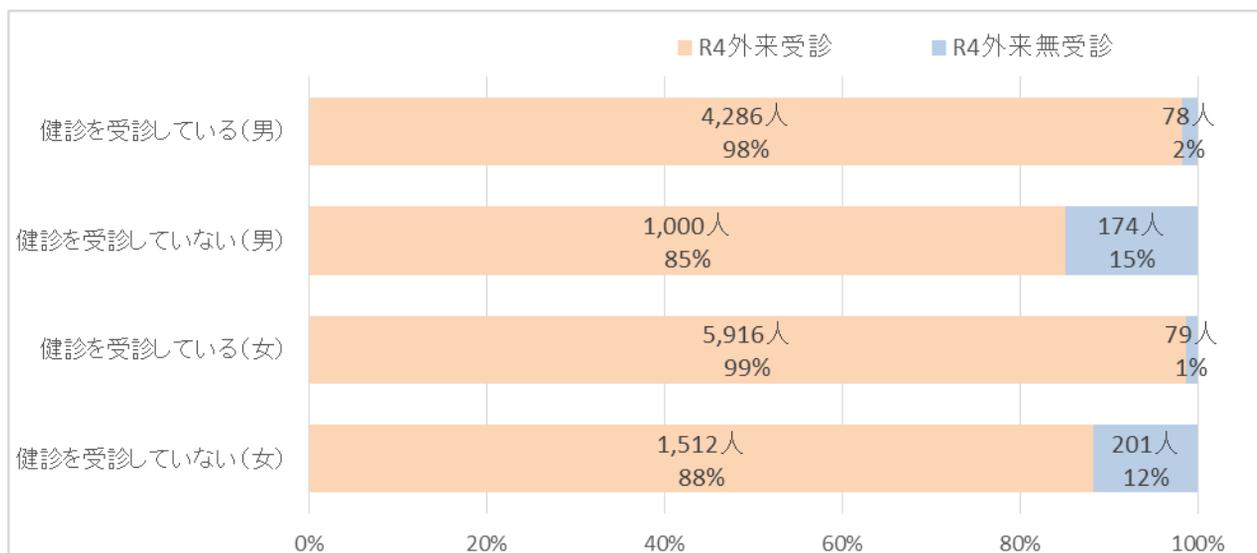
健診を受診していないと回答したものの、令和4年度に健診を受診している人の中には、高齢者健診としてではなく、人間ドックを受診している人も含まれると思われる。



2. 「18. 現在、あなたは年に1回程度、健診を受診していますか。」に回答した人の外来受診状況（KDBシステム・令和4年度の医科・外来レセプトが存在する者）

健診を受診していると回答した人の大半は、令和4年度に外来を受診している。

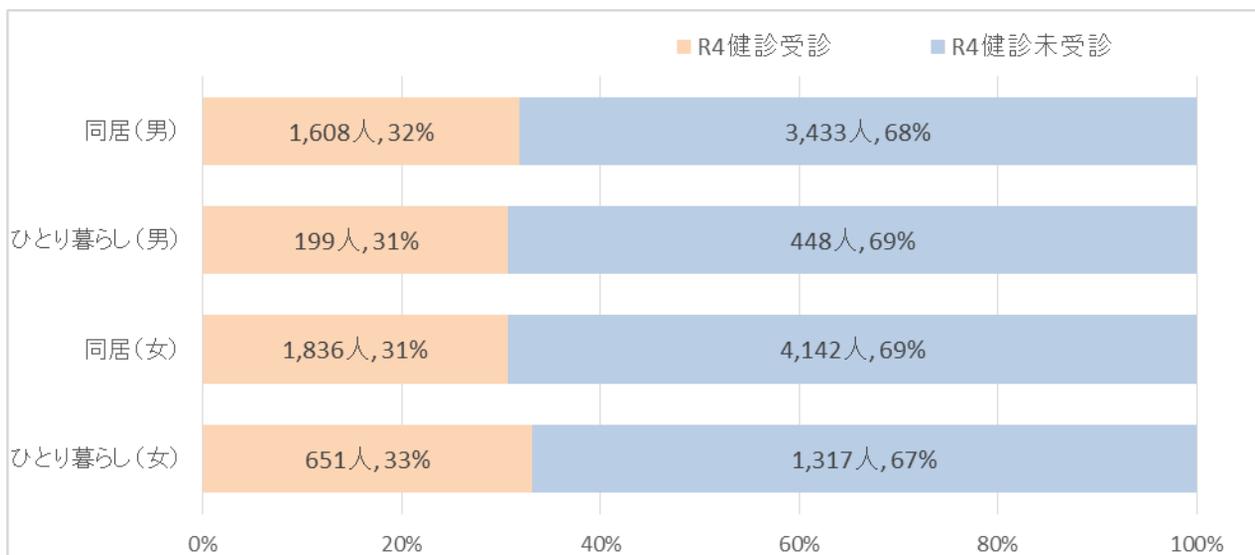
健診を受診しておらず、外来受診もない者の大半は健康状態不明者であるため、状況が判明した時にはすでに重症化した状況であるということを防ぐためにも、個別にアプローチを行うことが必要であると考えられる。



Ⅱ－H) 集計結果（その他）

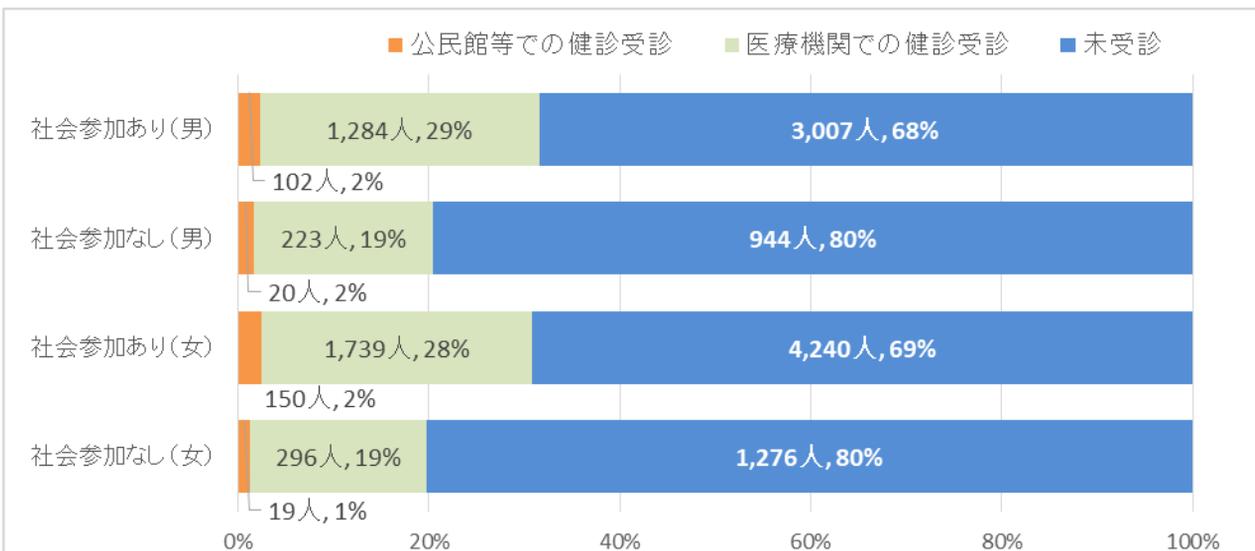
3. 「26.（1）あなたは現在、一緒に住んでいる（敷地内に住んでいる）方はいですか」に回答した人の健診の受診状況（KDBシステム・令和4年度の健診結果が存在する者）

同居の家族と一緒に健診受診することや家族から健診受診を促されるため、ひとり暮らしよりも同居の家族がいる人のほうが健診受診率が高いと考えたが、健診受診率に差が生じなかった。



4. 社会参加等の設問（13～15すべてに「はい」と回答した人を「社会参加あり」と考える）に回答した人の集団・個別健診別受診状況（KDBシステム・令和4年度の健診結果が存在する者）

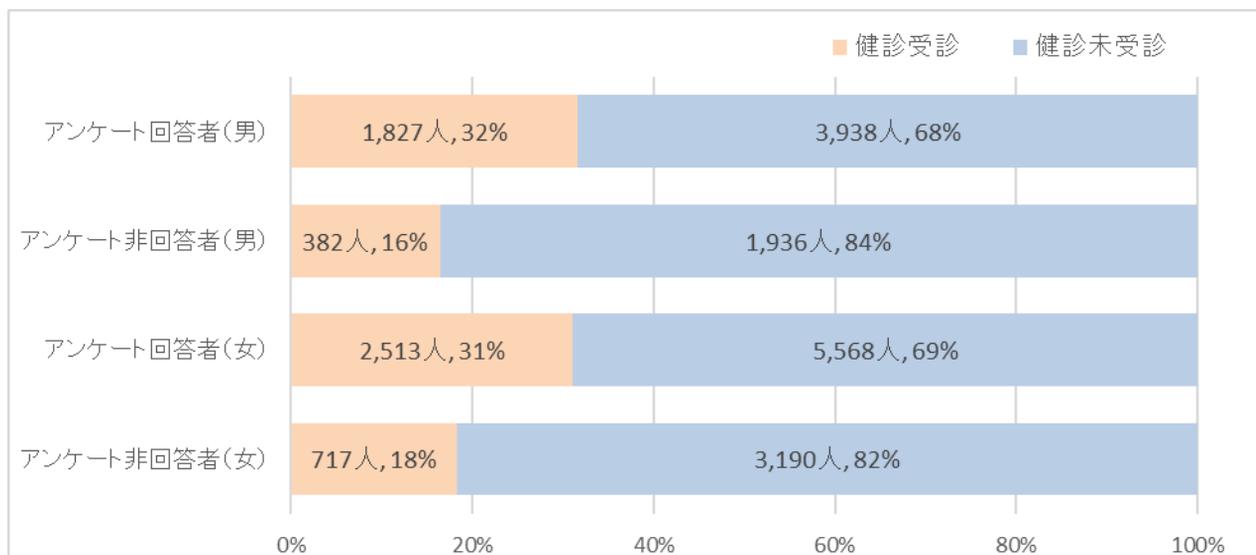
社会参加ありの人は社会参加なしの人よりも、健診受診率が10ポイント高い。
なお、社会参加の有無は、集団健診の受診率には影響を与えていないと思われる。



Ⅱ-H) 集計結果（その他）

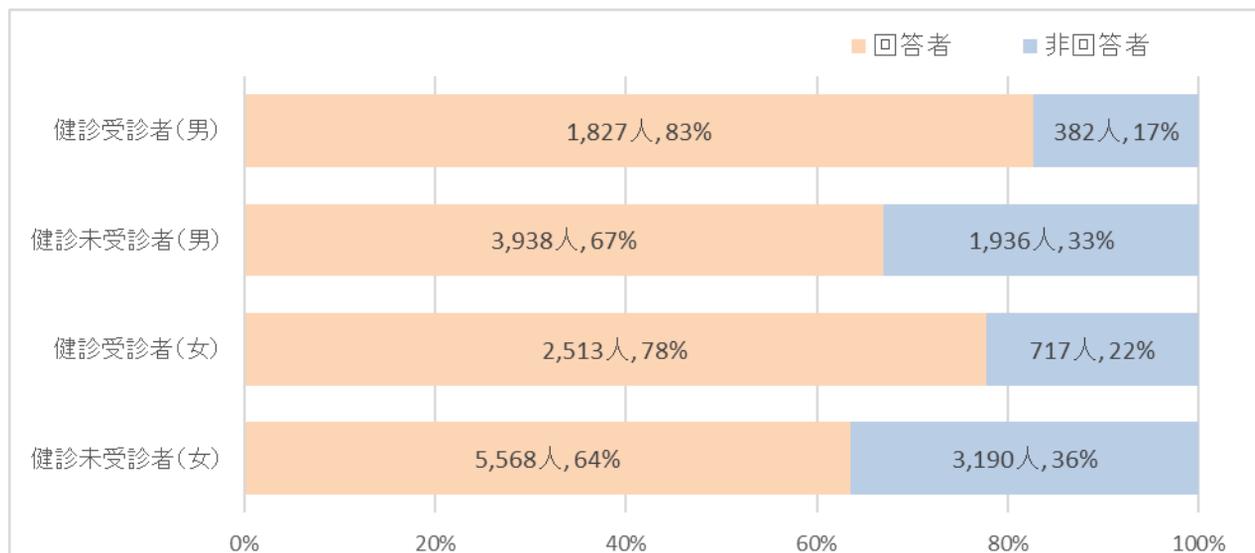
5. アンケート回答者と健診の受診状況（KDBシステム・令和4年度の健診結果）

アンケート回答者のうち健診受診者は3割であり、アンケート非回答者の2倍である。



6. 健診受診（KDBシステム・令和4年度の健診結果）の有無別アンケート回答状況

令和4年度の健診受診者の8割がアンケートに回答している。
健診を受診していない者のうち、約65%が本アンケートに回答しているため、健診における後期高齢者の質問票のみで確認できる状況よりも、さらに鳥取市の実態に近づく分析結果になると考える。

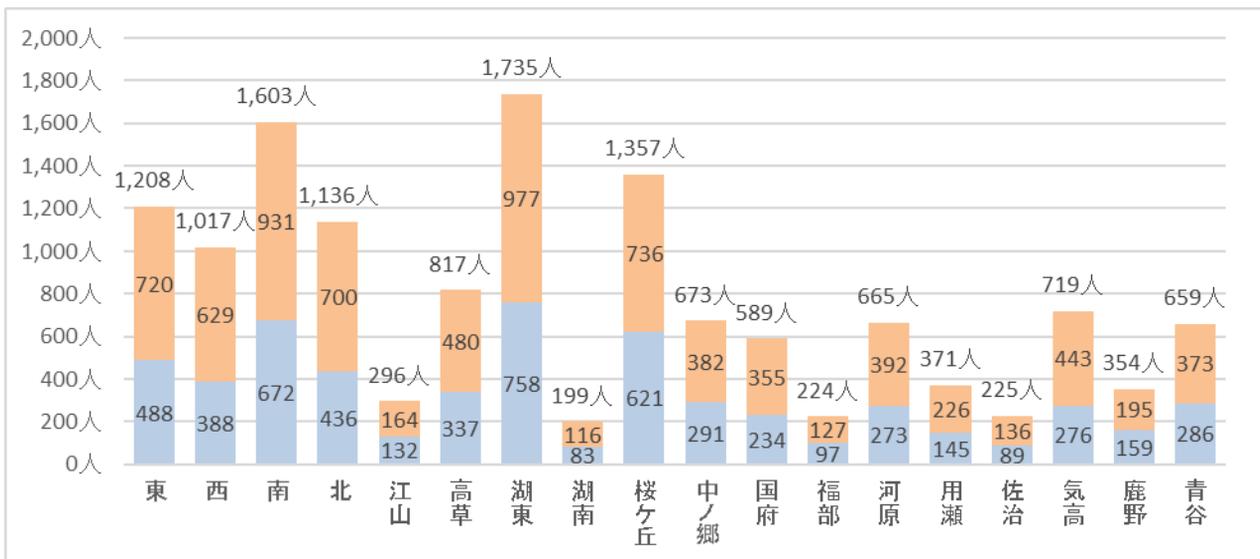


Ⅲ) 圏域別集計結果

1. 圏域別アンケート回答者数

①男女別回答者数

圏域別アンケート回答者数を男女別に集計した。
圏域別に集計したアンケート回答者数の合計は、13,847人である。

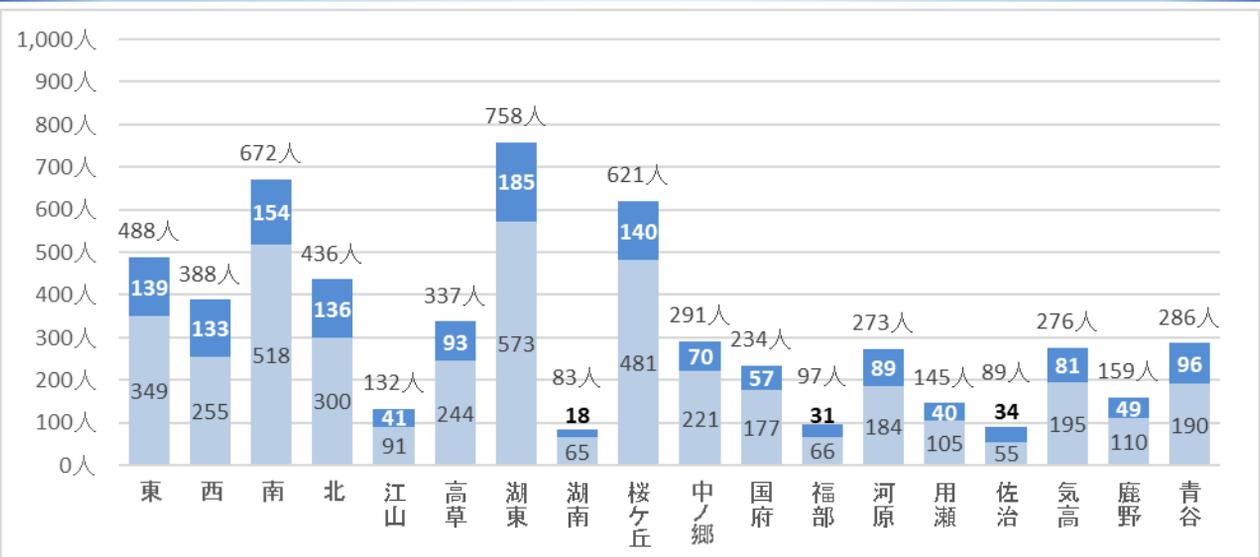


※ グラフ上に表示している人数は、上から順に男女合計人数、女性人数、男性人数を表示している。

②男性の年齢階層別回答者数

85歳以上の回答者割合は、全体で28%である。

85歳以上の割合が高いのは佐治圏域38%、西圏域、青谷圏域であり、低いのは湖南圏域22%、桜ヶ丘圏域、南圏域である。



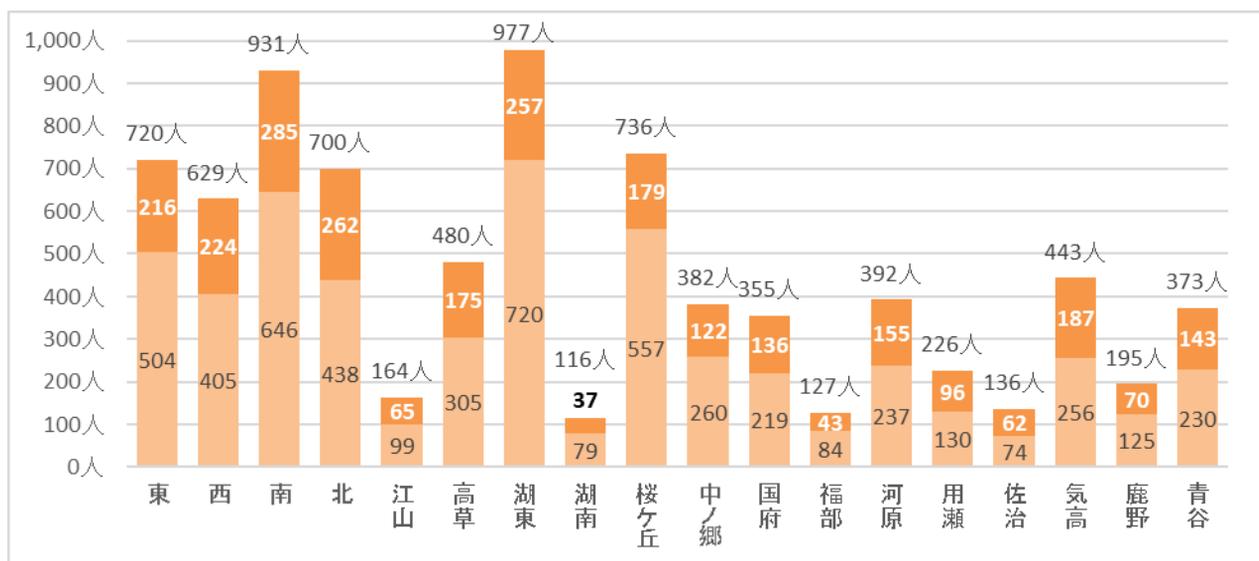
※ グラフ上に表示している人数は、上から順に合計人数、85歳以上の人数、75～84歳の人数を表示している。

Ⅲ) 圏域別集計結果

③女性の年齢階層別回答者数

85歳以上の回答者割合は、全体で34%である。

85歳以上の割合が高いのは佐治圏域46%、用瀬圏域、気高圏域であり、低いのは桜ヶ丘圏域24%、湖東圏域、東圏域である。



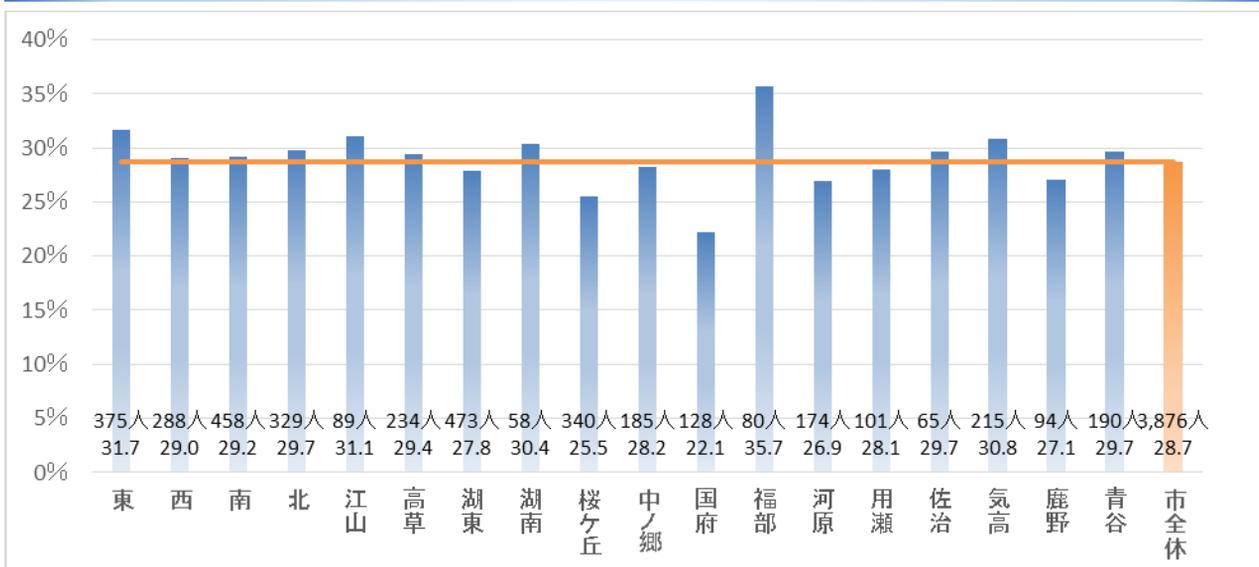
※ グラフ上に表示している人数は、上から順に合計人数、85歳以上の人数、75～84歳的人数を表示している。

2. 圏域別リスク

①心身の健康状態リスク（いずれかに該当する人）

1. あなたの現在の健康状態はいかがですか→「あまりよくない」「よくない」
2. 毎日の生活に満足していますか→「やや不満」「不満」

心身の健康状態リスクの対象者が多い圏域は、福部、東、江山圏域である。

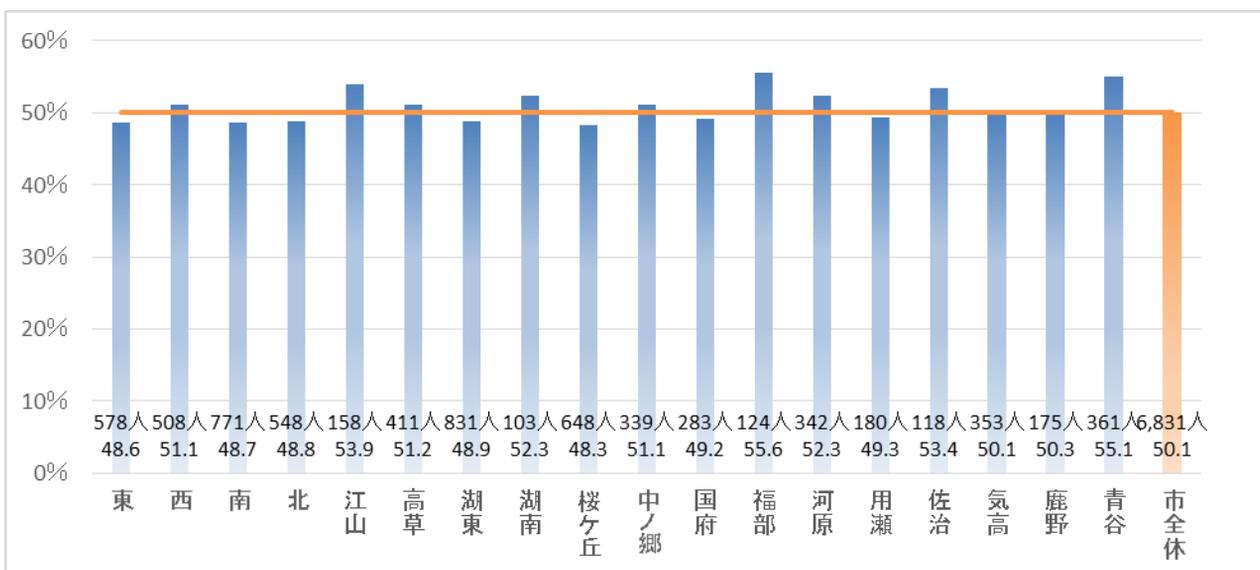


Ⅲ) 圏域別集計結果

② 口腔機能リスク (いずれかに該当する人)

4. 半年前に比べて固いもの(さきいか、たくあんなど)が食べにくくなりましたか→「はい」
5. お茶や汁物等でむせることがありますか→「はい」

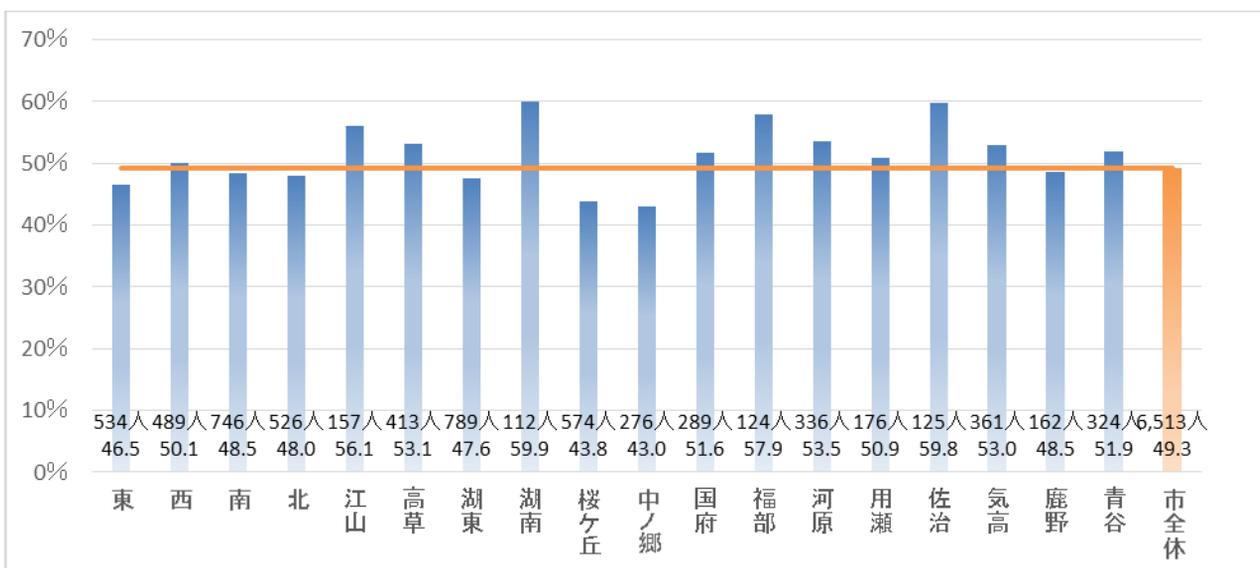
口腔機能リスクの対象者が多い圏域は、福部、青谷、江山圏域である。



③ 運動転倒リスク (以下の2項目以上に該当する人)

6. 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか→「はい」
8. この1年間に転んだことがありますか→「はい」
9. ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか→「いいえ」

運動転倒リスクの対象者が多い圏域は、佐治、湖南、福部圏域である。



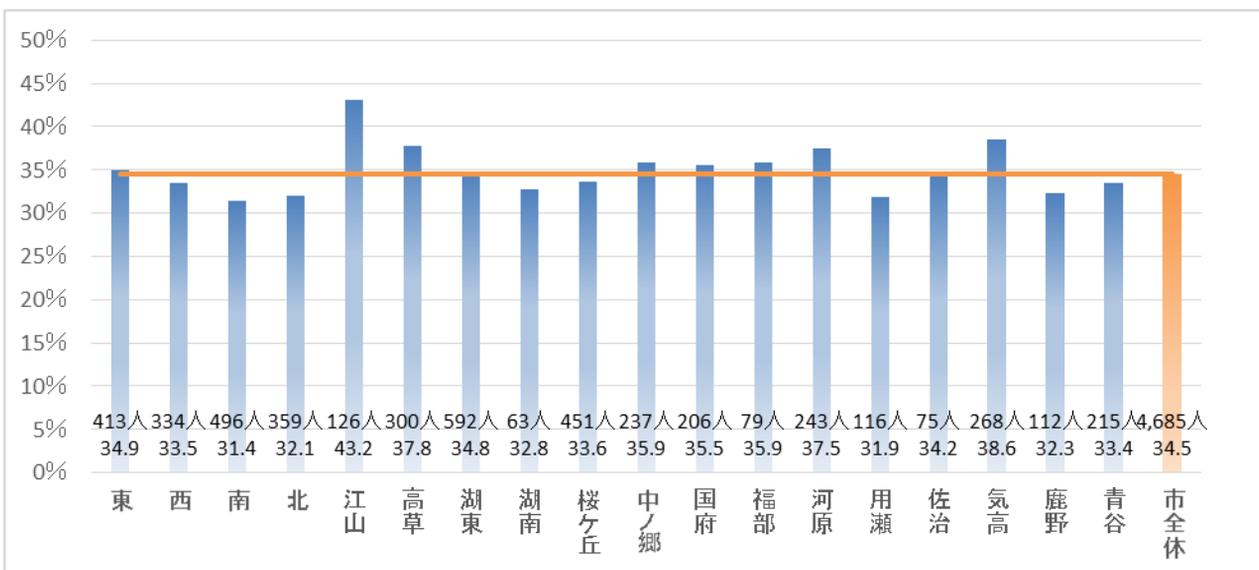
Ⅲ) 圏域別集計結果

④ 認知機能リスク (いずれかに該当する人)

10. 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとされていますか→「はい」

11. 今日が何月何日か分からない時がありますか→「はい」

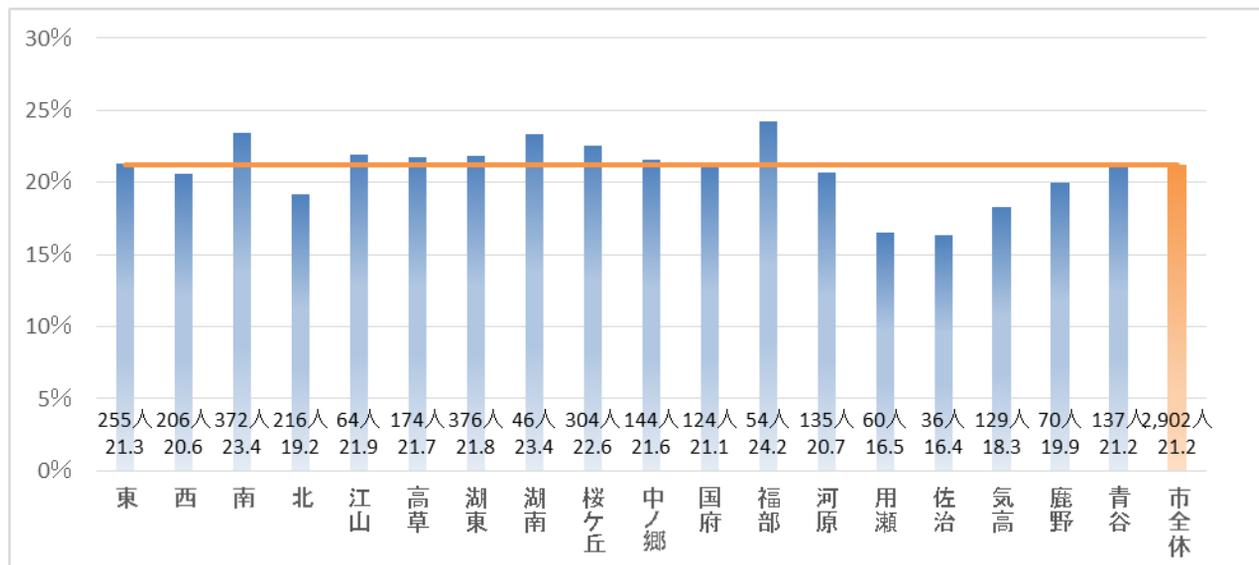
認知機能リスクの対象者が多い圏域は、江山、気高、高草圏域である。
特に江山地区は非常に高く、市全体よりも約10ポイント高い。



⑤ 喫煙リスク

12. あなたはたばこを吸いますか→「吸っている」または「やめた」

喫煙リスクの対象者が多い圏域は、福部、南、湖南圏域である。



Ⅲ) 圏域別集計結果

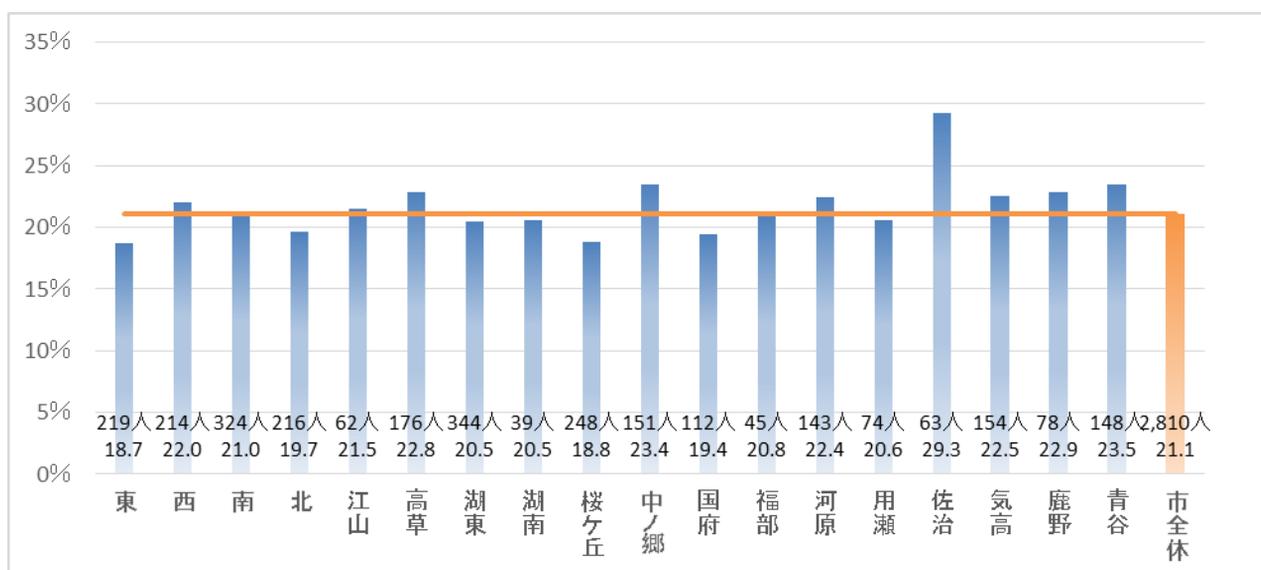
⑥ 社会参加等リスク (いずれかに該当する人)

13. 週に1回以上は外出していますか→「いいえ」

14. ふだんから家族や友人と付き合いがありますか→「いいえ」

15. 体調が悪いときに、身近に相談できる人がいますか→「いいえ」

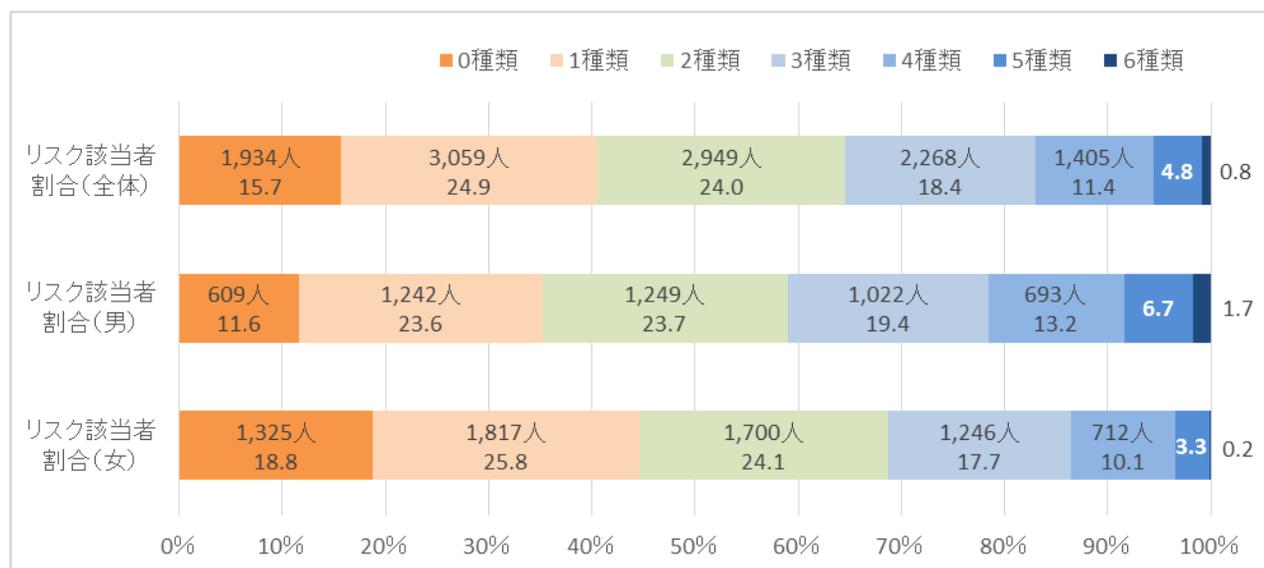
社会参加等リスクの対象者が多い圏域は、佐治、青谷、中ノ郷圏域である。
特に佐治圏域は非常に高く、市全体より8ポイント高い。



3. 「①心身の健康状態リスク」～「⑥社会参加等リスク」におけるリスク該当数

リスク該当者数を集計すると、リスク数が0～1種類は全体で約40%で、女性は男性よりも10ポイント高い。

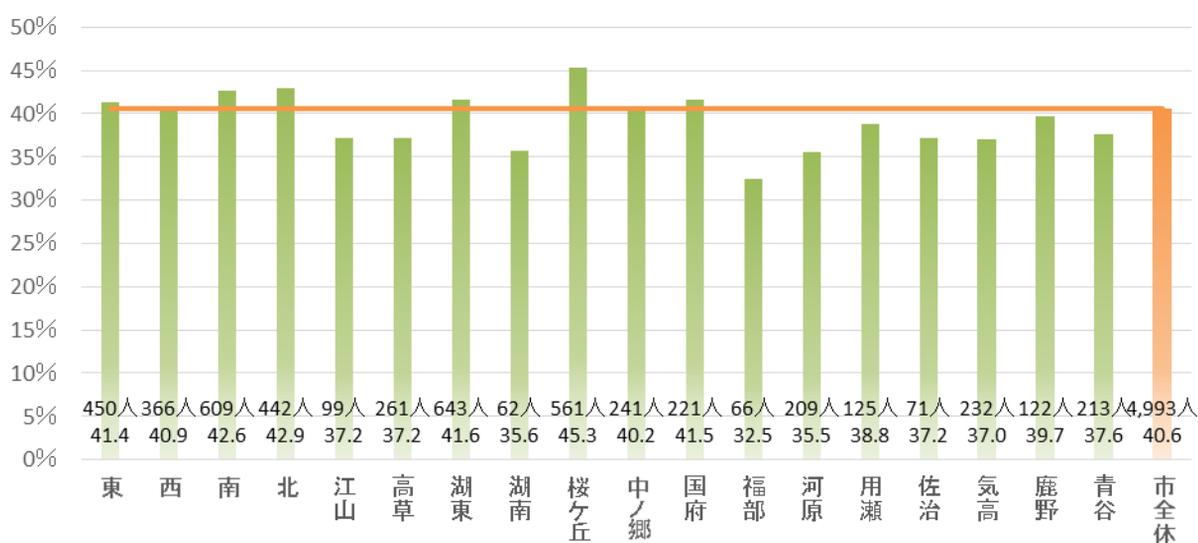
リスク数が3種類以上の人割合は、全体で約35%で、男性は女性よりも約10ポイント高い。



Ⅲ) 圏域別集計結果

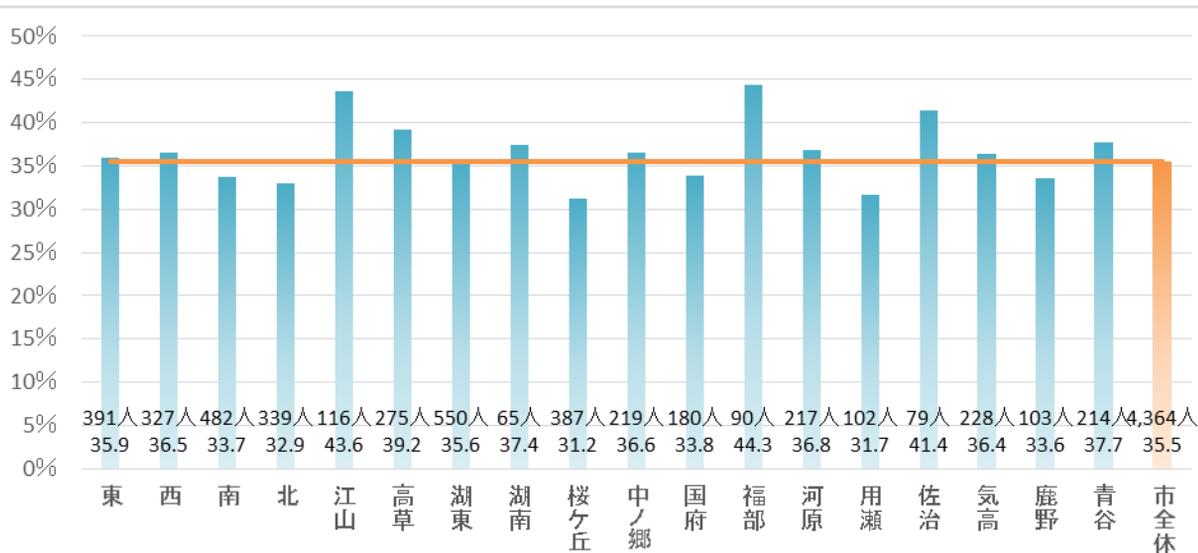
4. 「①心身の健康状態リスク」～「⑥社会参加等リスク」におけるリスク該当数が少ない（リスク数が0～1種類）人の割合

リスク該当数の少ない人の割合が高い圏域は、桜ヶ丘、北、南圏域である。
 また、リスク該当数の少ない人の割合が低く、複数のリスクを抱えている人が多い圏域は、福部、河原、湖南圏域である。
 特に福部、湖南圏域は、市全体と比較して5ポイント以上も低い。



5. 「①心身の健康状態リスク」～「⑥社会参加等リスク」におけるリスク該当数が多い（リスク数が3～6種類）人の割合

リスク該当数の多い人の割合が高く、介入する優先度が高いと考えられる圏域は、江山、佐治、福部圏域である。
 特に江山、佐治、福部圏域は、市全体と比較して5ポイント以上も高い。



Ⅲ) 圏域別集計結果

6. フレイルのハイリスク者

①判定方法について

後期高齢者の質問表のうち、フレイル関連12項目（下表の黄色項目）において、健康リスクにつながる回答（灰色項目）が4項目以上該当する人をハイリスク者とする。

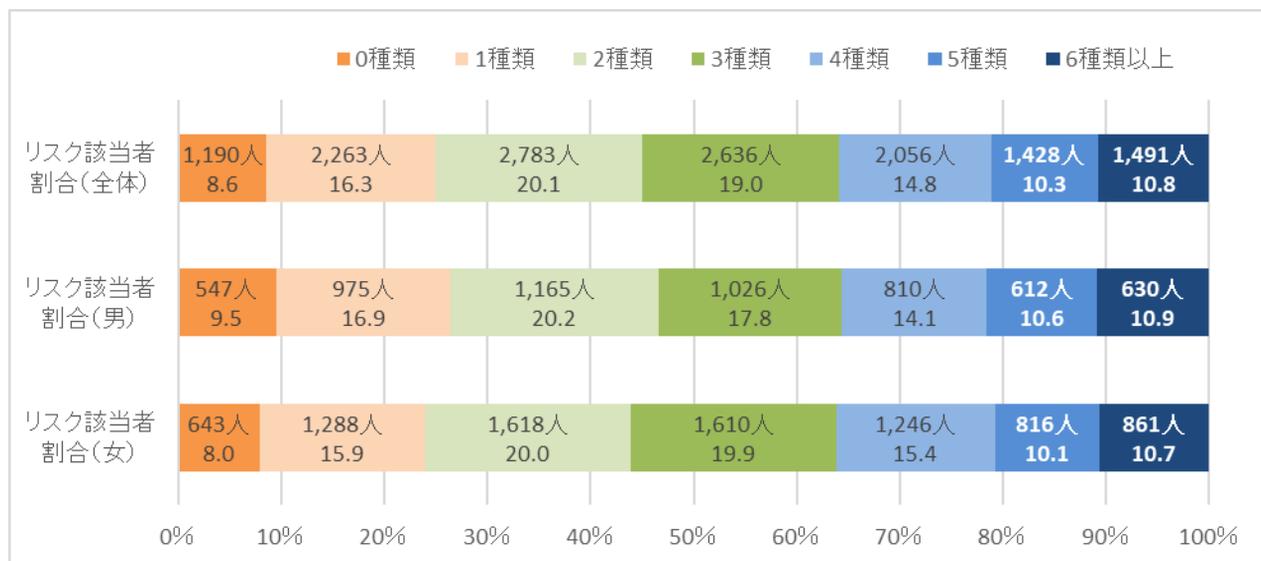
類型名	No.	質問項目	回答	
健康状態	1	あなたの現在の健康状態はいかがですか	①よい ②まあよい ③ふつう	④あまりよくない ⑤よくない
心の健康状態	2	毎日の生活に満足していますか	①満足 ②やや満足	③やや不満 ④不満
食習慣	3	1日3食きちんと食べていますか	①はい	②いいえ
口腔機能	4	半年前に比べて固いもの（※）が食べにくくなりましたか ※さきいか、たくあんなど	①はい	②いいえ
	5	お茶や汁物等でむせることがありますか	①はい	②いいえ
体重変化	6	6カ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	①はい	②いいえ
運動・転倒	7	以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか	①はい	②いいえ
	8	この1年間に転んだことがありますか	①はい	②いいえ
	9	ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか	①はい	②いいえ
認知機能	10	周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとされていますか	①はい	②いいえ
	11	今日が何月何日かわからない時がありますか	①はい	②いいえ
喫煙	12	あなたはたばこを吸いますか	①吸っている	②吸っていない ③やめた
社会参加	13	週に1回以上は外出していますか	①はい	②いいえ
	14	ふだんから家族や友人と付き合いがありますか	①はい	②いいえ
ソーシャルサポート	15	体調が悪いときに、身近に相談できる人がいますか	①はい	②いいえ

Ⅲ) 圏域別集計結果

②リスク項目数別該当者数割合

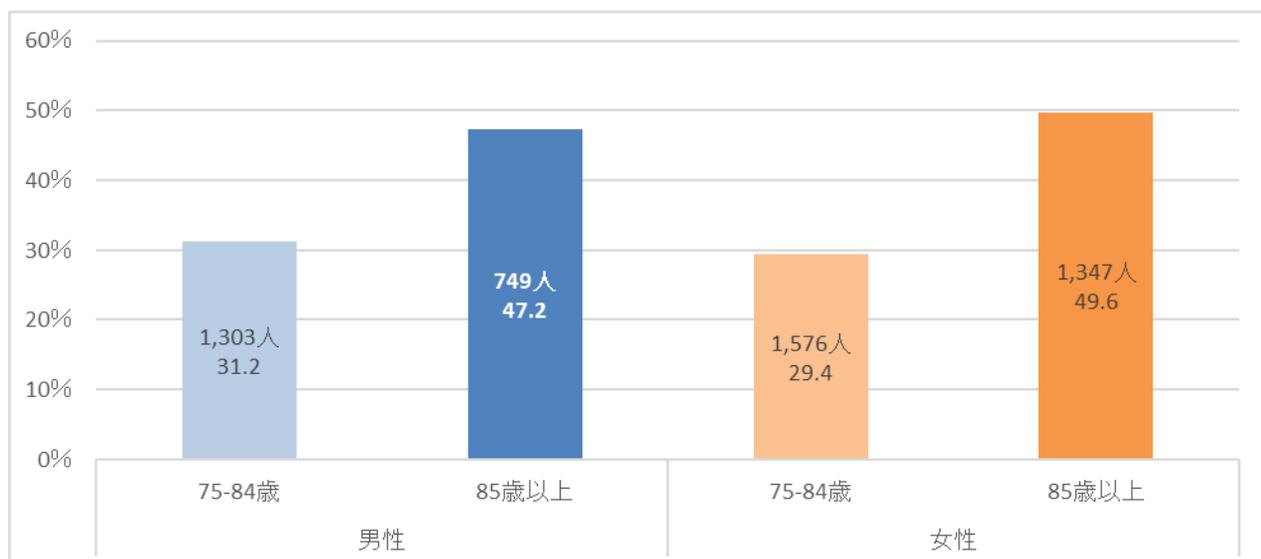
6～12種類に該当する割合が非常に少ないため、6種類以上としてまとめた。

4項目以上の場合に、フレイルの可能性が高いと言われており、全体では36%が該当しており、男女差はない。



③男女別年齢階層別ハイリスク者割合

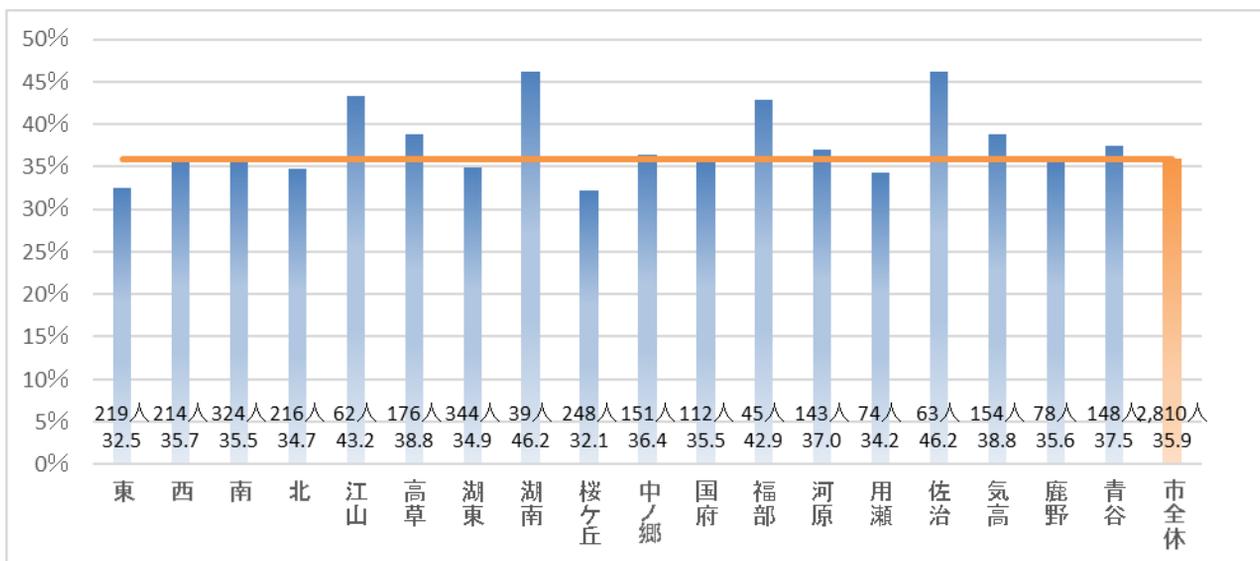
75～84歳よりも85歳以上のほうがハイリスク者割合が1.5倍以上高い。
75～84歳、85歳以上のそれぞれの年齢階層においても、男女差はない。



Ⅲ) 圏域別集計結果

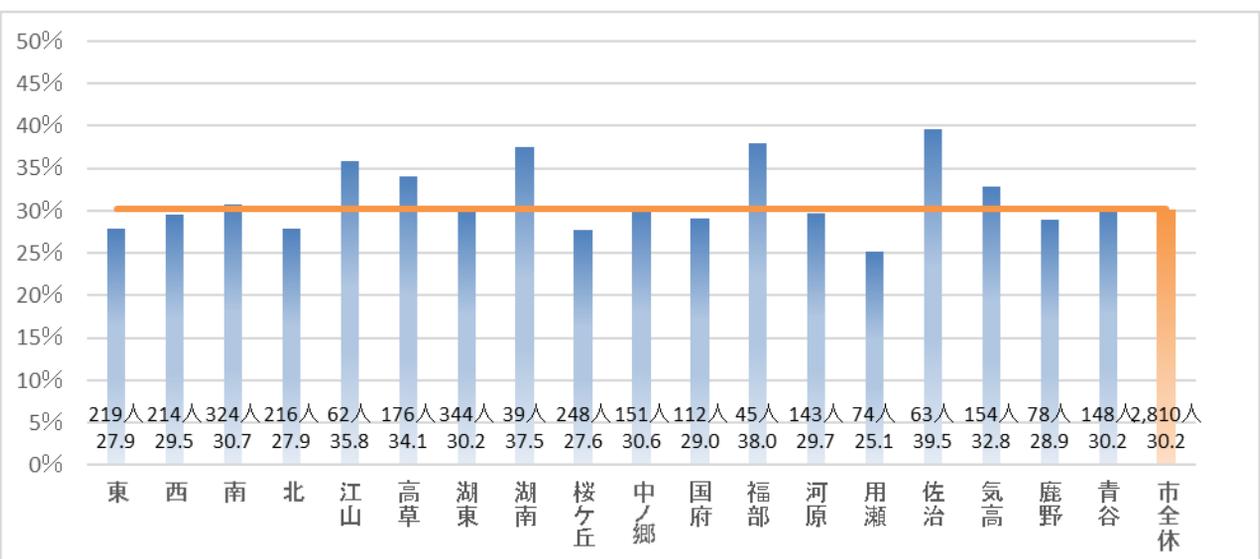
④ 圏域別ハイリスク者割合

フレイルのハイリスク者割合が高いのは湖南圏域、佐治圏域、江山圏域である。
特に湖南圏域は、市全体よりも10ポイント高い。



⑤ 圏域別ハイリスク該当者割合 (75～84歳)

75～84歳において、フレイルのハイリスク者割合が高いのは佐治圏域、福部圏域、湖南圏域である。
特に佐治圏域は、市全体よりも10ポイント高い。

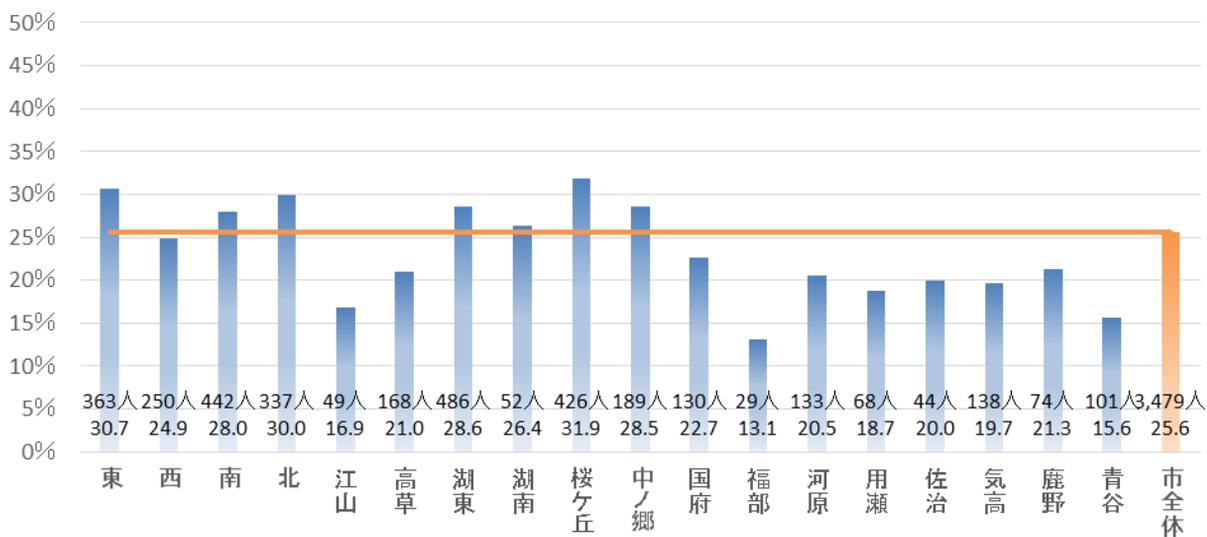


Ⅲ) 圏域別集計結果

7-1. 「25. (1) あなたはスマートフォンやパソコンを使用して、インターネットや SNS を利用していますか」において、「はい」と回答した人の割合

インターネット等の活用状況が低い圏域は、福部、青谷、江山圏域である。市全体と比較して約10ポイント低い。

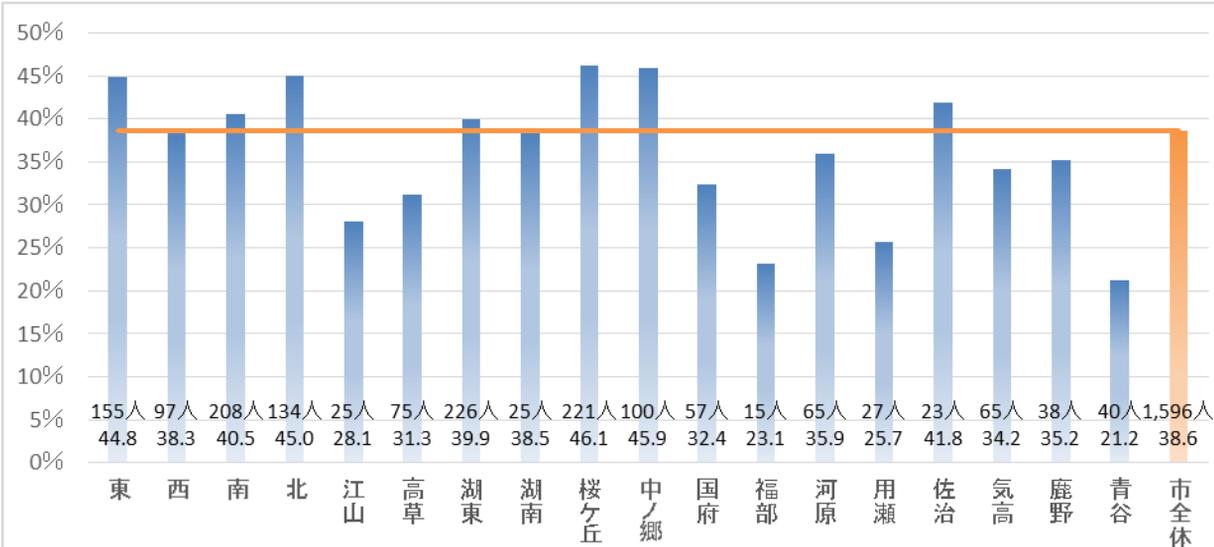
活用状況が最も低い福部圏域は、最も高い桜ヶ丘圏域よりも15ポイント以上低い。



7-2. 「25. (1) あなたはスマートフォンやパソコンを使用して、インターネットや SNS を利用していますか」において、「はい」と回答した人の割合 (75~84歳、男性)

インターネット等の活用状況が低い圏域は、青谷、福部、用瀬圏域である。市全体と比較して10ポイント以上低い。

活用状況が最も低い青谷圏域は、最も高い桜ヶ丘圏域よりも25ポイント低い。

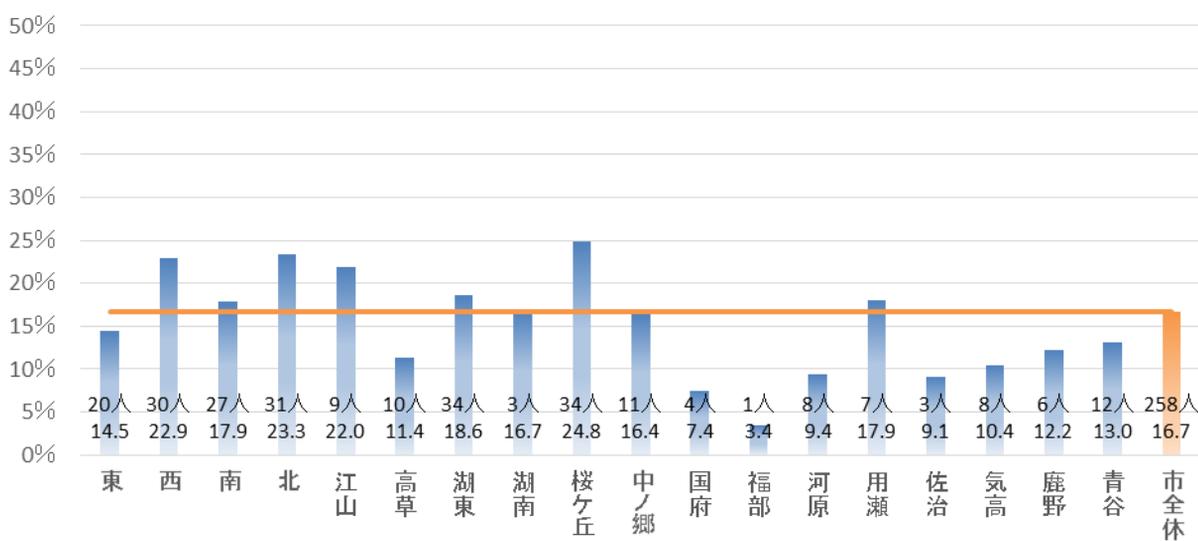


Ⅲ) 圏域別集計結果

7-3. 「25. (1) あなたはスマートフォンやパソコンを使用して、インターネットや SNS を利用していますか」において、「はい」と回答した人の割合 (85歳以上、男性)

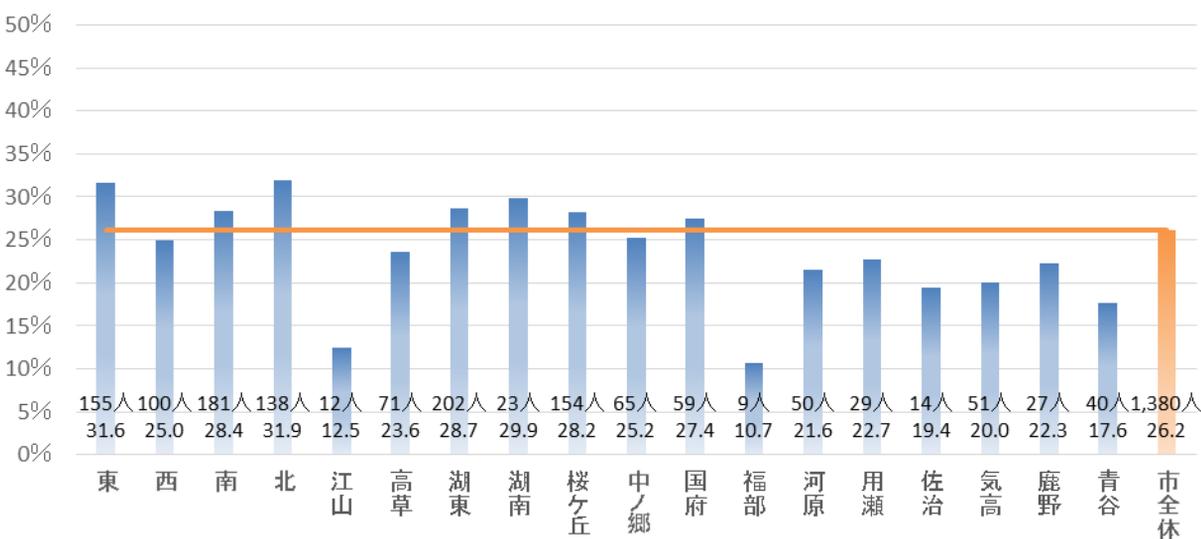
インターネット等の活用状況が低い圏域は、福部、国府、佐治圏域である。市全体と比較して5ポイント以上低い。

4圏域が20%を超えている一方、4圏域が10%未満である。



7-4. 「25. (1) あなたはスマートフォンやパソコンを使用して、インターネットや SNS を利用していますか」において、「はい」と回答した人の割合 (75~84歳、女性)

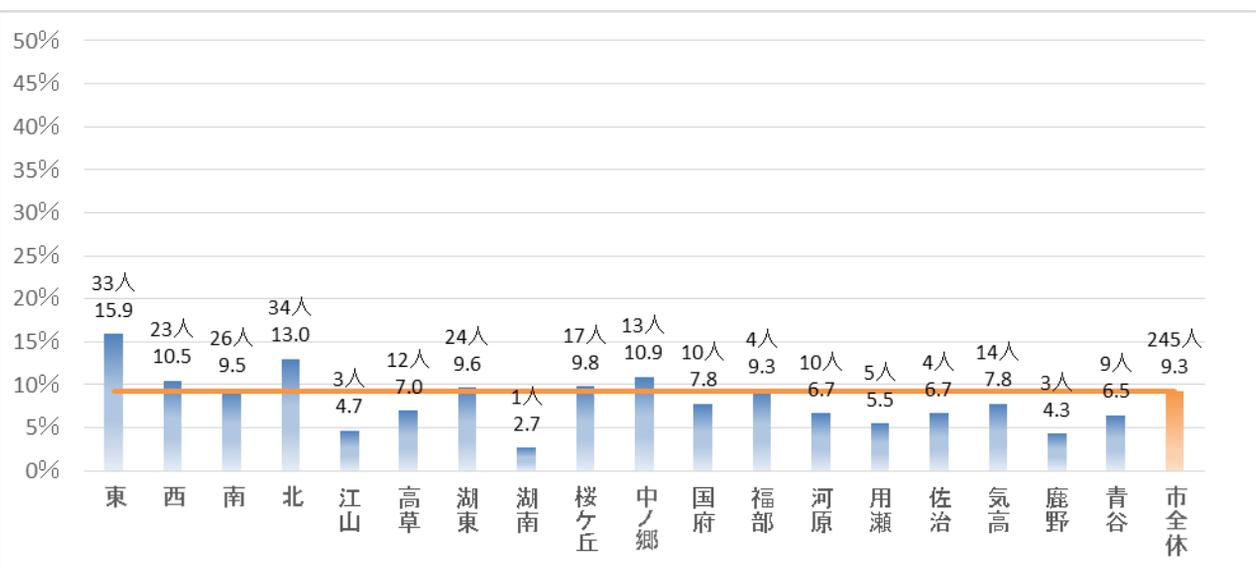
インターネット等の活用状況が低い圏域は、福部、江山、青谷圏域である。市全体と比較して10ポイント以上低く、特に江山、福部圏域の活用状況の低さが顕著である。



Ⅲ) 圏域別集計結果

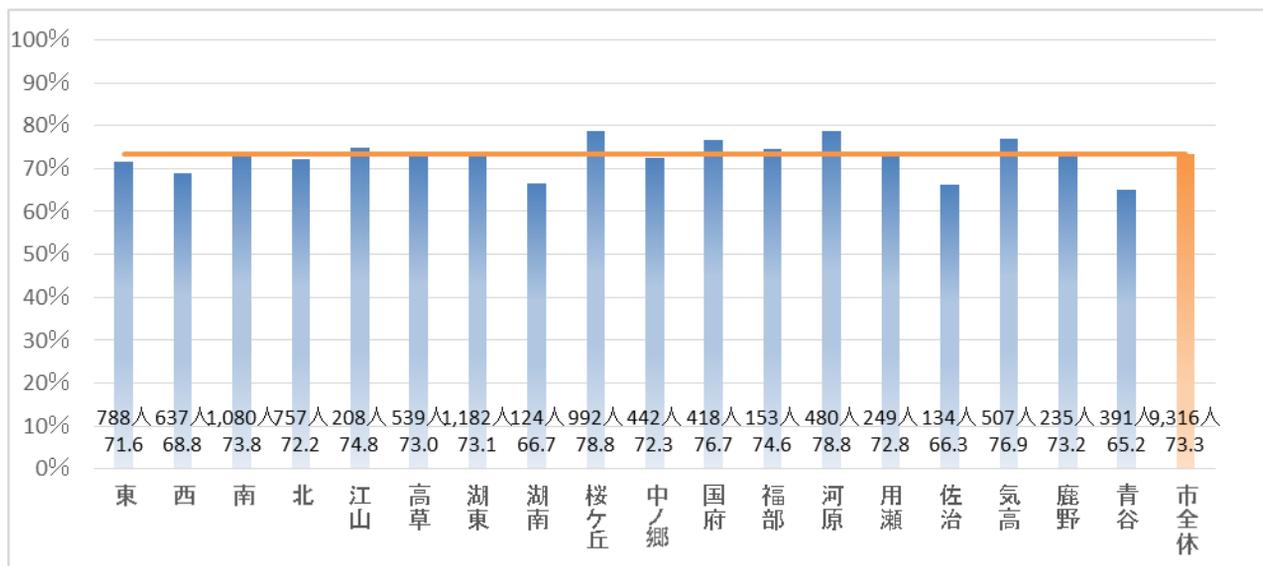
7-5. 「25. (1) あなたはスマートフォンやパソコンを使用して、インターネットや SNS を利用していますか」において、「はい」と回答した人の割合 (85歳以上、女性)

インターネット等の活用状況が低い圏域は、湖南、鹿野、江山圏域である。



7-6. 本人または同居の家族がインターネット等を利用できる人の割合

同居の家族を含む、インターネット等の利用ができる人の割合が低い圏域は、青谷、佐治、湖南圏域である。多くの圏域で70%を超えている。



IV) 地区別マップ

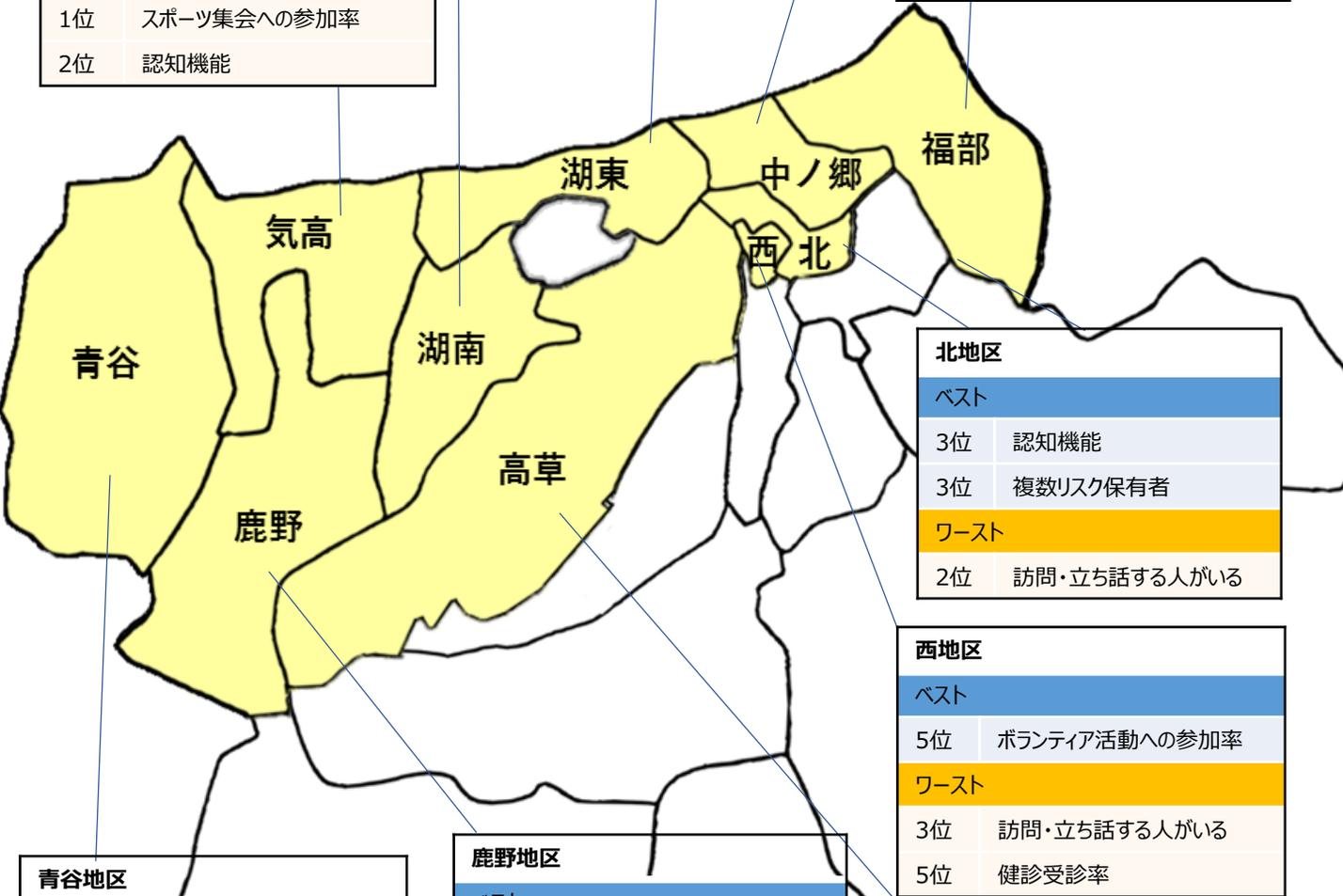
湖南地区	
ベスト	
5位	認知機能
ワースト	
1位	運動機能
2位	健診受診率
3位	喫煙率

湖東地区	
ベスト	
2位	ボランティア活動への参加率
4位	運動機能
4位	インターネット等の利用

中ノ郷地区	
ベスト	
1位	運動機能
1位	スポーツ集会への参加率
ワースト	
3位	社会参加等
4位	ボランティア活動への参加率

気高地区	
ベスト	
2位	介護予防活動への参加率
3位	喫煙率
ワースト	
1位	スポーツ集会への参加率
2位	認知機能

福部地区	
ワースト	
1位	心身の健康状態
1位	口腔機能
1位	喫煙率
1位	複数リスク保有者



北地区	
ベスト	
3位	認知機能
3位	複数リスク保有者
ワースト	
2位	訪問・立ち話する人がいる

西地区	
ベスト	
5位	ボランティア活動への参加率
ワースト	
3位	訪問・立ち話する人がいる
5位	健診受診率

青谷地区	
ベスト	
3位	健診受診率
3位	訪問・立ち話する人がいる
ワースト	
2位	口腔機能
2位	社会参加等

鹿野地区	
ベスト	
1位	ボランティア活動への参加率
4位	心身の健康状態
ワースト	
4位	健診受診率
4位	社会参加等

高草地区	
ワースト	
3位	認知機能
4位	複数リスク保有者
5位	社会参加等

Ⅳ) 地区別マップ

中学校単位(千代南中学校は用瀬地区と佐治地区に分けて集計)

江山地区	
ワースト	
1位	認知機能
2位	複数リスク保有者
3位	心身の健康状態
3位	口腔機能

南地区	
ベスト	
1位	認知機能
3位	口腔機能
ワースト	
1位	訪問・立ち話をする人がいる
2位	喫煙率

東地区	
ベスト	
1位	社会参加等
2位	口腔機能
3位	運動機能
ワースト	
2位	心身の健康状態

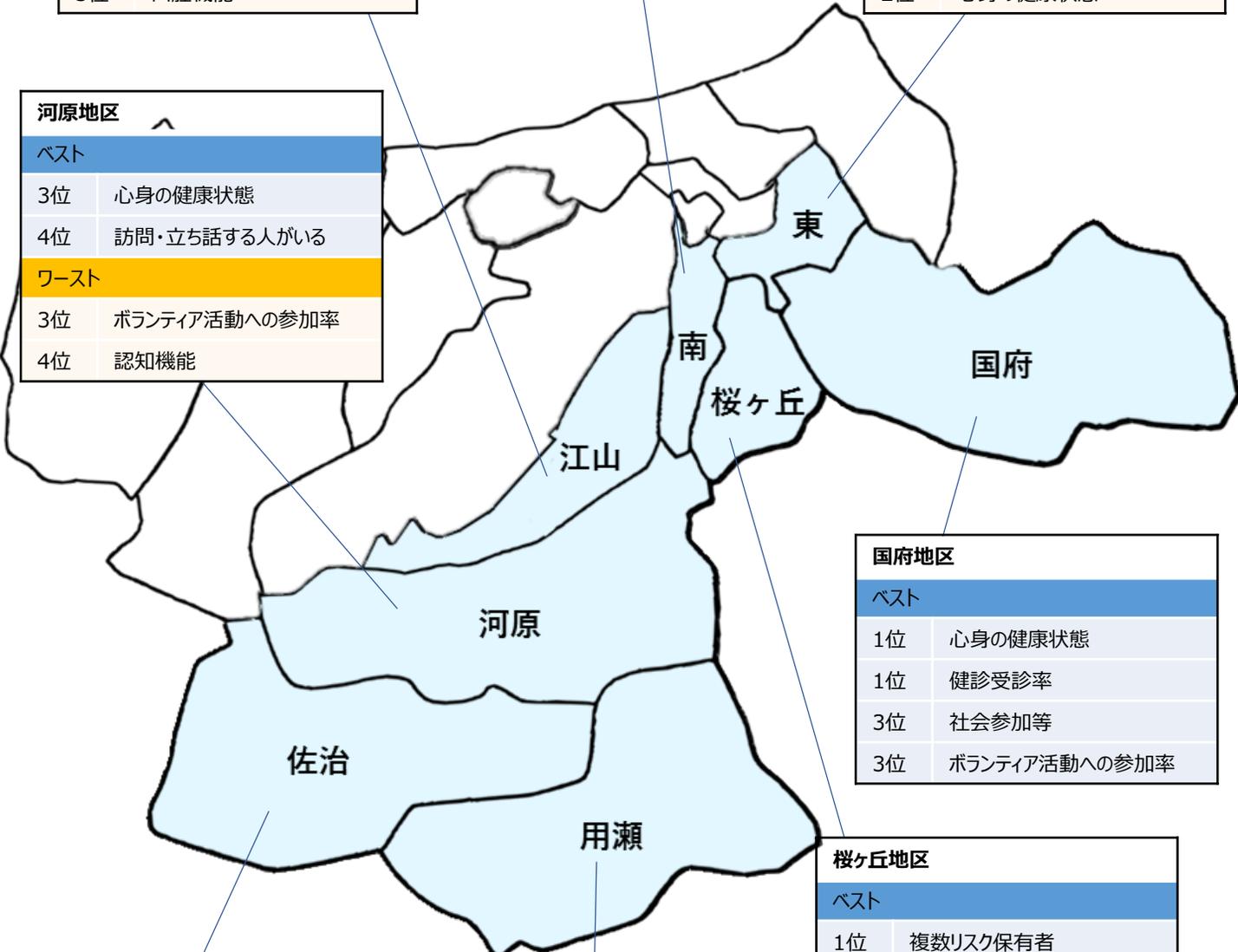
河原地区	
ベスト	
3位	心身の健康状態
4位	訪問・立ち話をする人がいる
ワースト	
3位	ボランティア活動への参加率
4位	認知機能

国府地区	
ベスト	
1位	心身の健康状態
1位	健診受診率
3位	社会参加等
3位	ボランティア活動への参加率

桜ヶ丘地区	
ベスト	
1位	複数リスク保有者
2位	口腔機能
ワースト	
4位	喫煙率

佐治地区	
ベスト	
1位	喫煙率
ワースト	
1位	社会参加等
2位	運動機能
3位	複数リスク保有者

用瀬地区	
ベスト	
2位	認知機能
2位	喫煙率
2位	複数リスク保有者
ワースト	
4位	インターネット等の利用



V) 総評

1. 鳥取市全体のまとめ

- ・バランスのよい食事を意識している人は、バランスのよくない食事になっている人よりも生活に満足している人の割合が、30ポイント高い。(p.10)
- ・「歩行速度が遅くなってきていない・1年間転んでいない」人の割合を集計すると、「運動習慣あり・タンパク質を毎日食べる」人は、「運動習慣なし・タンパク質を毎日食べない」人よりも、2倍以上高い。(p.20)
- 運動教室において、運動の方法や運動習慣の定着を説明することに加えて、タンパク質を摂取することを含む栄養バランスの良い食事についても説明することが重要であると考えられる。
- ・毎月参加する集まりがある人の方が、認知機能に問題ありと回答している人の割合が少なく、参加する集まりの種類が多いと、より少なくなっていく傾向が見られた。(p.24)
- ・認知機能が問題なしの人は問題ありの人に比べて、お互いに訪問したり、立ち話する人がいる人の割合が男性では5ポイント、女性では10ポイント以上多い。(p.26)
- ・訪問や立ち話をする相手がいる人は、つきあいなしと回答した人よりも、生活に満足していると回答した人が約20ポイント高い。
- ・口腔機能リスク、運動転倒リスク、認知機能リスクはリスク保有者よりも非保有者のほうが「幸せ」「とても幸せ」と回答した人の割合が約10ポイント高い。(p.34～36)しかし、社会参加等リスクは約20ポイント高く、他のリスクよりも大きな差が見られる。
- 集まりに参加したり、つきあいのある人のほうが、認知機能の問題を抱えている人が少なく、生活に満足している人も多い傾向にあるため、高齢者の社会参加は非常に重要である。

2. 各圏域の傾向

令和4年度の分析結果および本報告書のⅢ) 圏域別集計結果、Ⅳ) 地区別マップおよび各圏域のレーダーチャートから、各圏域の考察を行う。

【表およびレーダーチャートの説明】(例として、福部圏域を示す)

- ・各リスクは、アンケートのうち後期高齢者の質問票に該当する項目を、p.42～45の条件により集計し、健康リスクの保有者の人数および割合を集計している。
- ・標準化比とは、鳥取市全体を100としたときの当該圏域の状況を示しており、数値が100を超えている場合は市全体より対象者割合が高く、標準化比が高いほど、対象者割合が高いことを示す。
- ・レーダーチャートは、外側に出ているほど、対象者割合が高いことを示す。

リスク	人数	割合 (福部)	割合 (市全体)	標準化比 (福部)
回答者数	224人	—	—	—
心身の健康	80人	36%	29%	125
口腔機能	124人	56%	50%	111
運動機能	124人	58%	49%	118
認知機能	79人	36%	35%	104
喫煙リスク	54人	24%	21%	114
社会参加等	45人	21%	21%	99
複数リスク	90人	44%	35%	125

福部圏域 健康リスク

- 標準化比(市全体)
- 標準化比(福部)



V) 総評

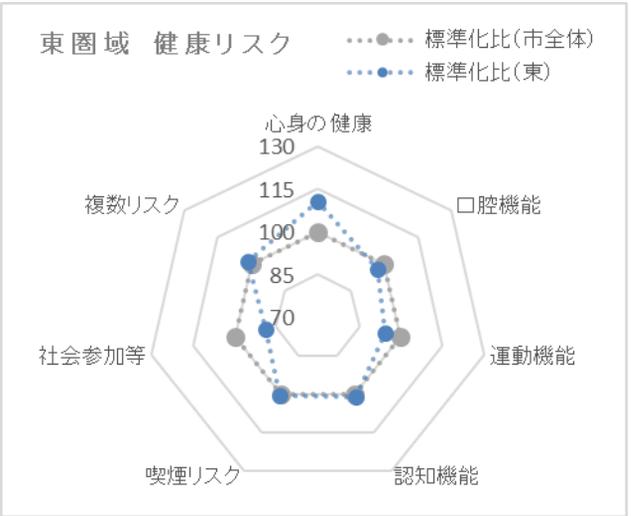
① 東圏域

各リスクを見ると、大半の項目で市全体と同じ割合またはやや低い状況の中で、心身の健康状態リスクを抱えている人の割合が高く、市内で2位であり、複数リスクを抱えている人も少なくないため、健康リスクのほとんどない人と健康リスクを複数抱えている人に分かれている可能性がある。

また、訪問、立ち話をする人がいると回答した人の割合が、市内で2番目に少ない。

そのため、複数リスクを抱えている人に対するアプローチを実施するために、健康状態不明者のうち、特に通いの場等社会とのつながりが希薄な人をアプローチすることが考えられる。

リスク	人数	割合 (東)	割合 (市全体)	標準化比 (東)
回答者数	1,183人	—	—	—
心身の健康	375人	32%	29%	111
口腔機能	578人	49%	50%	97
運動機能	534人	46%	49%	94
認知機能	413人	35%	35%	101
喫煙リスク	255人	21%	21%	101
社会参加等	219人	19%	21%	89
複数リスク	391人	36%	35%	101



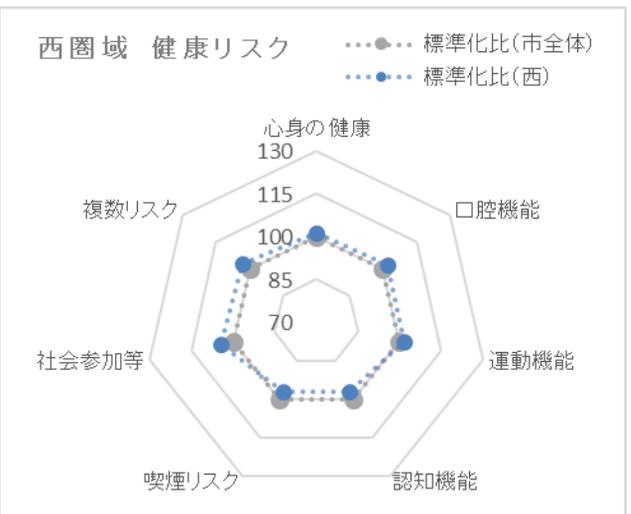
② 西圏域

口腔機能、運動機能リスクを抱えている人が多く、複数リスクを抱えている人が多い。

また、社会参加等リスクを抱えている人が多く、訪問・立ち話する人がいると回答した人の割合が低い一方で、ボランティア活動への参加率は5位と高い。

通いの場やボランティア活動などを通して、地域の活動を活発にしていくことと同時に、複数リスクを抱えている人や社会参加等のリスクを抱えている人が参加できるようにするため、初めてでも気軽に参加しやすい活動の場を設けることができると思われる。

リスク	人数	割合 (西)	割合 (市全体)	標準化比 (西)
回答者数	993人	—	—	—
心身の健康	288人	29%	29%	101
口腔機能	508人	51%	50%	102
運動機能	489人	50%	49%	102
認知機能	334人	34%	35%	97
喫煙リスク	206人	21%	21%	97
社会参加等	214人	22%	21%	104
複数リスク	327人	37%	35%	103



V) 総評

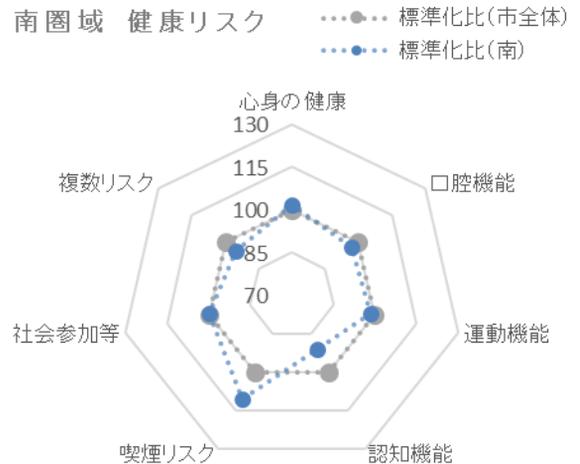
③ 南圏域

認知機能のリスクを抱えている人の割合が最も低く、口腔機能のリスクを抱えている人の割合も3番目に低い。

喫煙率が2番目に高いので、喫煙対策に取り組むことができる。

大半のリスクが比較的市全体より低いなかで、心身の健康や社会参加等のリスクを抱えている人が市全体と同水準であり、訪問・立ち話をする人がいると回答した人の割合が最も低いため、地域活動に取り組む人を増やしていくことができると思われる。

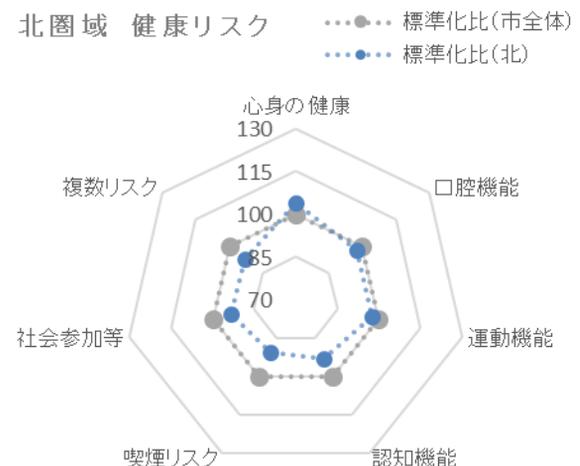
リスク	人数	割合 (南)	割合 (市全体)	標準化比 (南)
回答者数	1,570人	—	—	—
心身の健康	458人	29%	29%	102
口腔機能	771人	49%	50%	97
運動機能	746人	48%	49%	98
認知機能	496人	31%	35%	91
喫煙リスク	372人	23%	21%	110
社会参加等	324人	21%	21%	100
複数リスク	482人	34%	35%	95



④ 北圏域

大半のリスクが市全体より低く、特に認知機能リスクや複数リスクを抱えている人が3番目に低い。一方で、心身の健康や社会参加等のリスクを抱えている人が市全体よりも多く、訪問・立ち話をする人がいると回答した人の割合が2番目に低いため、地域活動に取り組む人を増やしていくことができると思われる。

リスク	人数	割合 (北)	割合 (市全体)	標準化比 (北)
回答者数	1,107人	—	—	—
心身の健康	329人	30%	29%	104
口腔機能	548人	49%	50%	97
運動機能	526人	48%	49%	97
認知機能	359人	32%	35%	93
喫煙リスク	216人	19%	21%	90
社会参加等	216人	20%	21%	93
複数リスク	339人	33%	35%	93



V) 総評

⑤ 江山圏域

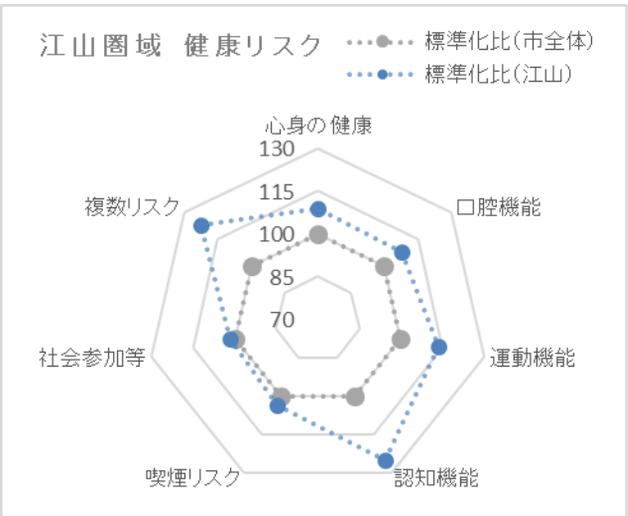
認知機能のリスクを抱えている人が最も多く、複数リスクを抱えている人も2番目に高く、市全体よりも1.2倍ほど高い。

さらに、心身の健康状態や口腔機能のリスクを抱えている人が3番目に高い。

すべてのリスクが市全体よりも高いため、重点的に取り組む必要がある圏域である。

特に、複数リスクを抱えている人が多く、市全体の1.2倍の割合となっているため、ハイリスクアプローチを実施することが考えられる。

リスク	人数	割合 (江山)	割合 (市全体)	標準化比 (江山)
回答者数	286人	—	—	—
心身の健康	89人	31%	29%	109
口腔機能	158人	54%	50%	108
運動機能	157人	56%	49%	114
認知機能	126人	43%	35%	125
喫煙リスク	64人	22%	21%	103
社会参加等	62人	21%	21%	102
複数リスク	116人	44%	35%	123



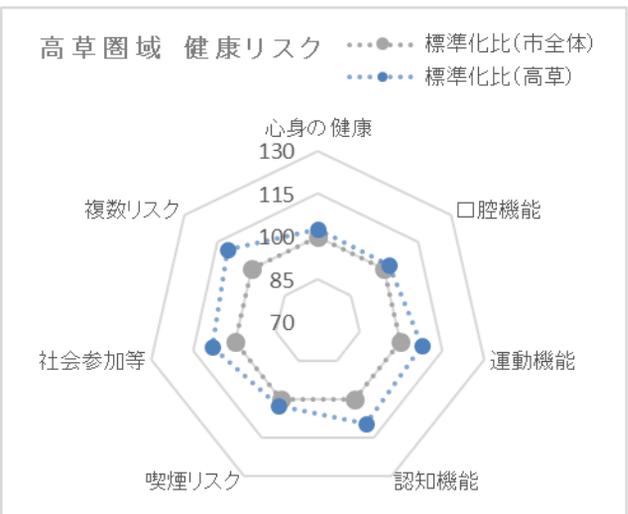
⑥ 高草圏域

認知機能のリスクを抱えている人が3番目に多く、社会参加等のリスクは5番目に多く、運動機能リスクを抱えている人が6番目に多い状況である。

そのため、運動する機会と地域のつながりを持つ機会を同時に持つ方法の一つとして、初心者でも参加できるウォーキングイベントを定期開催することができると思われる。

また、複数リスクを抱えている人の割合が4番目に多いため、ハイリスクアプローチの実施も検討することができる。

リスク	人数	割合 (高草)	割合 (市全体)	標準化比 (高草)
回答者数	797人	—	—	—
心身の健康	234人	29%	29%	102
口腔機能	411人	51%	50%	102
運動機能	413人	53%	49%	108
認知機能	300人	38%	35%	110
喫煙リスク	174人	22%	21%	102
社会参加等	176人	23%	21%	108
複数リスク	275人	39%	35%	110



V) 総評

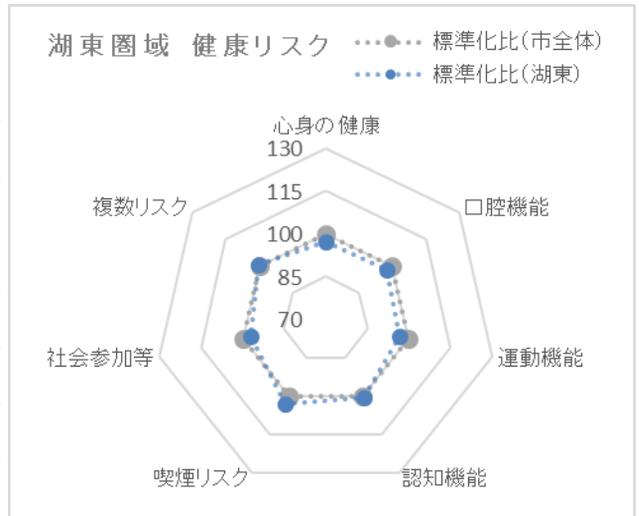
⑦ 湖東圏域

運動機能のリスクを抱えている人の割合が4番目に低く、社会参加等のリスクも市全体より低く、ボランティア活動への参加率が2番目に多い。

喫煙リスクがやや高いため、喫煙対策に取り組むことができる。

また、認知機能も市全体よりやや高いため、認知症予防に取り組むことができる。

リスク	人数	割合 (湖東)	割合 (市全体)	標準化比 (湖東)
回答者数	1,699人	—	—	—
心身の健康	473人	28%	29%	97
口腔機能	831人	49%	50%	98
運動機能	789人	48%	49%	97
認知機能	592人	35%	35%	101
喫煙リスク	376人	22%	21%	103
社会参加等	344人	20%	21%	97
複数リスク	550人	36%	35%	100

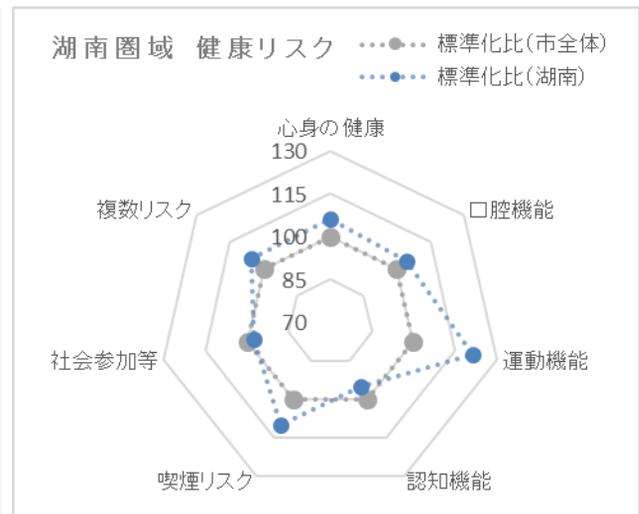


⑧ 湖南圏域

喫煙リスクを抱えている人は3番目に高く、健診受診率は2番目に低く、特に運動機能リスクを抱えている人は最も高い。

スポーツや趣味、ボランティア等の集まりに参加する人の割合も低いなかで、介護予防の集まりは市全体と同様の参加割合なので、介護予防の集まりにおいて、健診受診の重要性を説明したり、体操を近所の人や友人と一緒に行うよう勧めることができると思われる。

リスク	人数	割合 (湖南)	割合 (市全体)	標準化比 (湖南)
回答者数	191人	—	—	—
心身の健康	58人	30%	29%	106
口腔機能	103人	52%	50%	104
運動機能	112人	60%	49%	121
認知機能	63人	33%	35%	95
喫煙リスク	46人	23%	21%	110
社会参加等	39人	21%	21%	97
複数リスク	65人	37%	35%	105



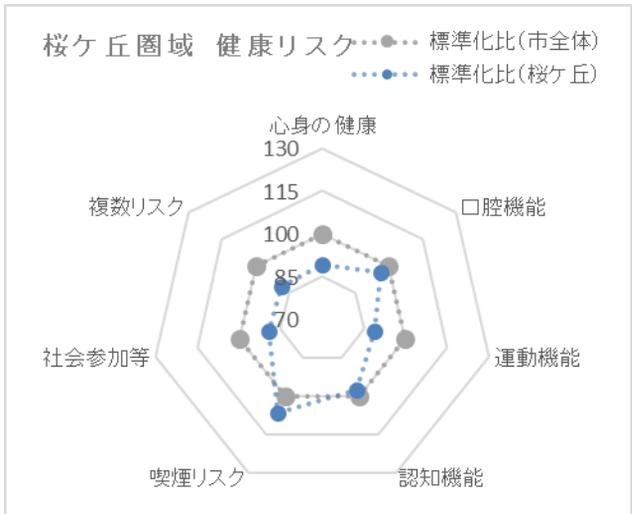
V) 総評

⑨ 桜ヶ丘圏域

大半のリスクを抱えている人の割合が低い状況の中で、喫煙リスクを抱えている人の割合が市全体より高く、4位であるため、喫煙対策が重要である。

また、複数リスクを抱えている人の割合が最も低いため、健康的な生活習慣を維持できるよう引き続きポピュレーションアプローチに取り組むことが重要である。

リスク	人数	割合 (桜ヶ丘)	割合 (市全体)	標準化比 (桜ヶ丘)
回答者数	1,333人	—	—	—
心身の健康	340人	26%	29%	89
口腔機能	648人	48%	50%	96
運動機能	574人	44%	49%	89
認知機能	451人	34%	35%	97
喫煙リスク	304人	23%	21%	106
社会参加等	248人	19%	21%	89
複数リスク	387人	31%	35%	88



⑩ 中ノ郷圏域

運動機能のリスクを抱えている人の割合が最も低く、スポーツ等の集まりへの参加率は最も高い。しかし、認知機能リスクを抱えている人の割合が5番目に高く、ボランティア活動への参加割合は4番目に低く、社会参加等のリスクを抱えている人が3番目に多い。

認知症対策やボランティア活動を推進することが考えられるが、参加人数が少なかったり、参加者が固定化する場合は、スポーツのための集まりで周知することも考えることができる。

リスク	人数	割合 (中ノ郷)	割合 (市全体)	標準化比 (中ノ郷)
回答者数	656人	—	—	—
心身の健康	185人	28%	29%	98
口腔機能	339人	51%	50%	102
運動機能	276人	43%	49%	87
認知機能	237人	36%	35%	104
喫煙リスク	144人	22%	21%	102
社会参加等	151人	23%	21%	111
複数リスク	219人	37%	35%	103



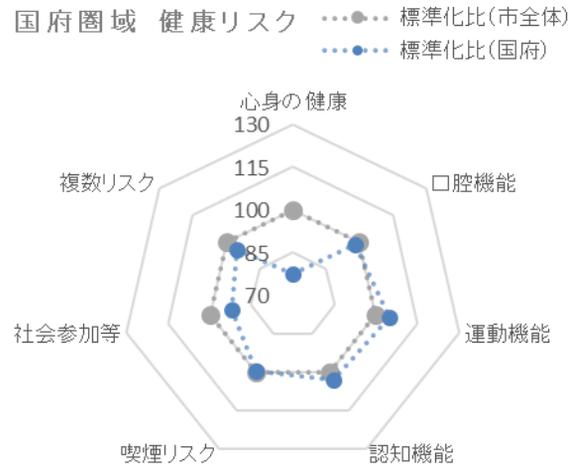
V) 総評

⑪ 国府圏域

健診受診率が最も高く、社会参加等のリスクを抱えている人の割合が3番目に少なく、ボランティア活動への参加率も3番目に高い。心身の健康のリスクを抱えている人の割合が最も低く、市全体の割合よりも2割も少ない。

介護予防等の集まりに参加する人の割合が4番目に高いが、運動機能のリスクを抱えている人および認知機能のリスクを抱えている人の割合が市全体より高いため、通いの場において自宅でも継続可能な運動・脳トレーニング方法を提供し、自主的な取組を促すことができる。

リスク	人数	割合 (国府)	割合 (市全体)	標準化比 (国府)
回答者数	578人	—	—	—
心身の健康	128人	22%	29%	77
口腔機能	283人	49%	50%	98
運動機能	289人	52%	49%	105
認知機能	206人	36%	35%	103
喫煙リスク	124人	21%	21%	100
社会参加等	112人	19%	21%	92
複数リスク	180人	34%	35%	95

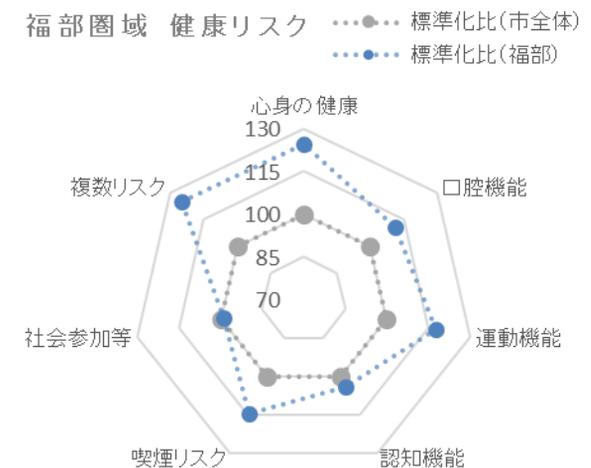


⑫ 福部圏域

社会参加等のリスクを抱えている人は市全体よりやや低い、その他の項目は市全体より高いため、重点的に取り組む必要があると考えられる。

特に、心身の健康状態、口腔機能、喫煙率が最も高く、複数リスクを抱えている人の割合も最も高い、ハイリスクアプローチにも取り組む必要が高いと思われる。

リスク	人数	割合 (福部)	割合 (市全体)	標準化比 (福部)
回答者数	224人	—	—	—
心身の健康	80人	36%	29%	125
口腔機能	124人	56%	50%	111
運動機能	124人	58%	49%	118
認知機能	79人	36%	35%	104
喫煙リスク	54人	24%	21%	114
社会参加等	45人	21%	21%	99
複数リスク	90人	44%	35%	125

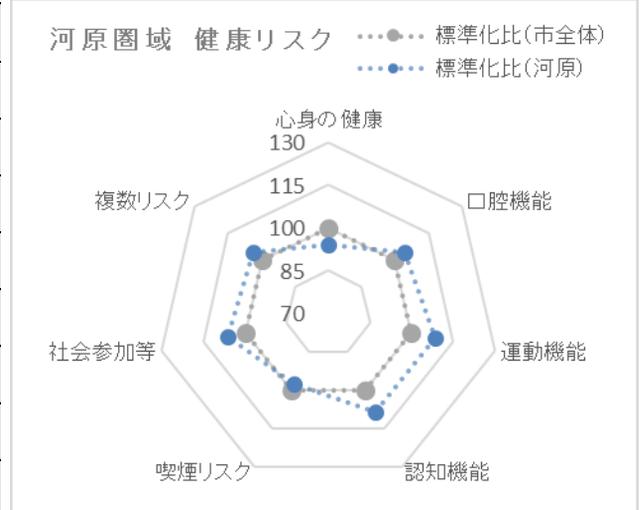


V) 総評

⑬ 河原圏域

心身の健康状態のリスクを抱えている人の割合が3番目に低い。
 訪問や立ち話をする人の割合も4番目に高い一方で、ボランティア活動への参加率は3番目に低く、社会参加等のリスクを抱えている人の割合も市全体より高い。
 介護予防のための集まりに参加する割合が4番目に少なく、運動機能リスクを抱えている人の割合が5番目に多く、認知機能リスクを抱えている人の割合が4番目に多い。
 介護予防の集まりにおいて、運動習慣の定着や認知症対策に取り組むことができると思われる。

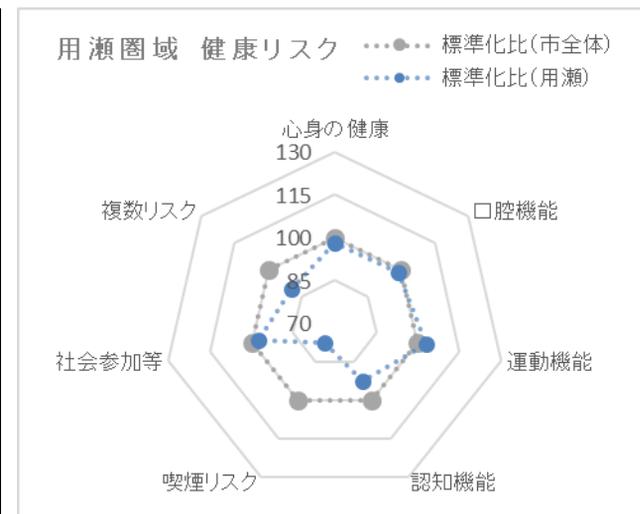
リスク	人数	割合 (河原)	割合 (市全体)	標準化比 (河原)
回答者数	647人	—	—	—
心身の健康	174人	27%	29%	94
口腔機能	342人	52%	50%	104
運動機能	336人	54%	49%	109
認知機能	243人	38%	35%	109
喫煙リスク	135人	21%	21%	98
社会参加等	143人	22%	21%	107
複数リスク	217人	37%	35%	104



⑭ 用瀬圏域

認知機能のリスクを抱えている人および喫煙率が、2番目に低い。
 また、複数リスクを抱えている人の割合も2番目に低く、介護予防の集まりに参加する割合が3番目に高いので、継続してポピュレーションアプローチに取り組むことができると思われる。
 運動機能のリスクを抱えている人の割合が市よりやや高いため、介護予防の集まりにおいて、運動習慣の定着をテーマにすることができると思われる。

リスク	人数	割合 (用瀬)	割合 (市全体)	標準化比 (用瀬)
回答者数	360人	—	—	—
心身の健康	101人	28%	29%	98
口腔機能	180人	49%	50%	98
運動機能	176人	51%	49%	103
認知機能	116人	32%	35%	92
喫煙リスク	60人	16%	21%	78
社会参加等	74人	21%	21%	98
複数リスク	102人	32%	35%	89



V) 総評

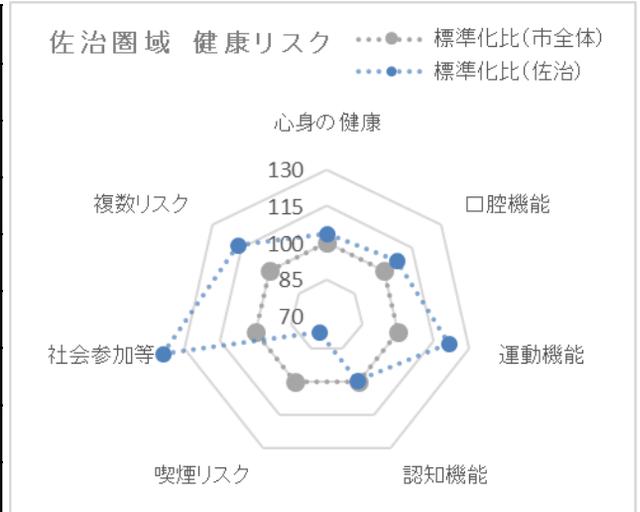
⑮ 佐治圏域

運動機能のリスクを抱えている人の割合が2番目に高く、社会参加等のリスクを抱えている人の割合が最も高い一方、介護予防等の集まりに参加する人の割合が最も高い。

そのため、介護予防の集まりにおいて、運動習慣の定着に取り組むとともに、友人や近所の人と一緒に参加するよう声を掛け合うことにより、周囲の人を誘い合って参加するよう呼びかけることで、社会参加を促すとともに、共助意識の醸成を図ることができる。

また、複数リスクを抱えている人の割合が3番目に高いため、ハイリスクアプローチも必要であると思われる。

リスク	人数	割合 (佐治)	割合 (市全体)	標準化比 (佐治)
回答者数	219人	—	—	—
心身の健康	65人	30%	29%	104
口腔機能	118人	53%	50%	107
運動機能	125人	60%	49%	121
認知機能	75人	34%	35%	99
喫煙リスク	36人	16%	21%	77
社会参加等	63人	29%	21%	139
複数リスク	79人	41%	35%	117



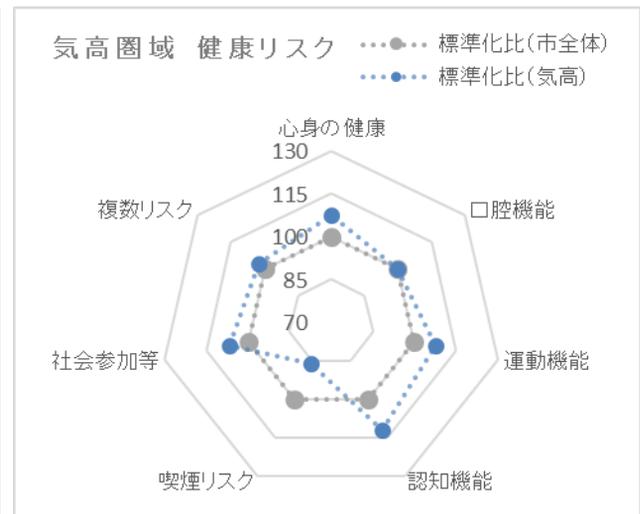
⑯ 気高圏域

認知機能リスクを抱えている人の割合が2番目に高く、心身の健康状態のリスクを抱えている人の割合が4番目に高い。

スポーツや趣味の集まりに参加する人の割合は低い、介護予防の集まりに参加する人は2番目に多い。

そのため、介護予防の集まりにおいて、認知症対策や運動習慣の定着に取り組むことができると思われる。

リスク	人数	割合 (気高)	割合 (市全体)	標準化比 (気高)
回答者数	697人	—	—	—
心身の健康	215人	31%	29%	108
口腔機能	353人	50%	50%	100
運動機能	361人	53%	49%	108
認知機能	268人	39%	35%	112
喫煙リスク	129人	18%	21%	86
社会参加等	154人	23%	21%	107
複数リスク	228人	36%	35%	103

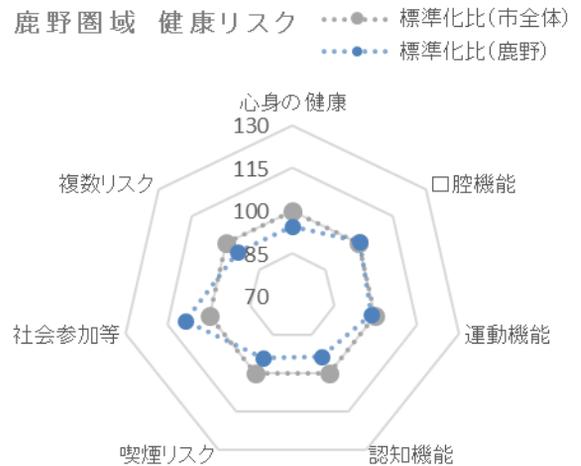


V) 総評

⑰ 鹿野圏域

ボランティア活動への参加率が最も高く、大半のリスクも低い状況である。
 介護予防、スポーツ、趣味の集まりに参加する人の割合は市全体より低く、社会参加等のリスクを抱えている人の割合が4番目に多く、健診受診率も4番目に低い。
 地域活動や通いの場などにおいて、参加してみたいくなる内容や初めてでも参加しやすい雰囲気とするよう検討することができる。

リスク	人数	割合 (鹿野)	割合 (市全体)	標準化比 (鹿野)
回答者数	347人	—	—	—
心身の健康	94人	27%	29%	95
口腔機能	175人	50%	50%	100
運動機能	162人	49%	49%	98
認知機能	112人	32%	35%	94
喫煙リスク	70人	20%	21%	94
社会参加等	78人	23%	21%	109
複数リスク	103人	34%	35%	95



⑱ 青谷圏域

健診受診率は3番目に高い。
 口腔機能リスクを抱えている人の割合が2番目に多い。
 訪問・立ち話をする人が3番目に多いが、社会参加等リスクを抱えている人の割合が2番目に多く、介護予防の集まりに参加する人が3番目に少ない。
 地域活動や通いの場などにおいて、参加してみたいくなる内容や初めてでも参加しやすい雰囲気とするよう検討することができる。

リスク	人数	割合 (青谷)	割合 (市全体)	標準化比 (青谷)
回答者数	640人	—	—	—
心身の健康	190人	30%	29%	104
口腔機能	361人	55%	50%	110
運動機能	324人	52%	49%	105
認知機能	215人	33%	35%	97
喫煙リスク	137人	21%	21%	100
社会参加等	148人	23%	21%	111
複数リスク	214人	38%	35%	106



